

一括PDF 仕事

文書化



バージョン
2024.09.24.1311

バルクPDF.DE

著作権©2024 TADELSUCHT UG (有限責任)

1 はじめに1.1 BulkPDF とは何ですか?またどのように機能しますか?。	5
1.2 機能。	6
1.3 要件。。	9
1.3.1 システム。。	9
1.3.2 データ ソース - スプレッドシート ファイル。	9
1.3.3 データ ソース - Microsoft SQL Server。。	10
1.3.4 データ ソース - Microsoft Access。	10
1.3.5 JSON。	11
1.3.6 XML	11
1.3.7 データ ソース - MySQL/MariaDB サーバー。。	12
1.3.8 PDF フォーム。	12
1.4 標準 PDF フォームのフィールド タイプと一致するデータ。	13
1.4.1 テキストボックス。。	13
1.4.2 チェックボックス。。	13
1.4.3 ラジオボタン。	14
1.4.4 リストボックス。。	14
1.4.5 コンボボックス。。	14
1.5 BulkPDF ビジネスの特殊フィールドのタイプと一致するデータ。	15
1.5.1 ハイパーリンク。。	15
1.5.2 画像。	15
1.5.3 ファイル添付。	15
1.5.4 スキャンした内容を入力するための追加ボタン フォーム。	15
1.5.5 追加の「テキストボックス」。	16
1.5.6 追加の「ラジオボタン」。。	16
1.5.7 「チェックボックスボタン」の追加。	16
1.5.8 バーコード。。	16
1.6 インストールとライセンス。。	17
1.6.1 グラフィカルなインストール。	17
1.7 サイレント インストール。	18
1.7.1 ライセンス。	19
1.7.2 マルチユーザー/ターミナル サーバー ライセンス。。	19
2 つのアプリケーション シナリオ (ステップバイステップの説明)	20
2.1 提供されるサンプル ファイル。	20
2.1.1 サンプル ファイルの詳細。。	20
2.1.2 サンプル PDF フォームに記入します。。	22
3 ユーザーインターフェースの詳細 (GUI)	32

3.7.2	ドキュメントウィンドウ。	86
3.7.3	エラーウィンドウ (例外) 。	87
3.7.4	フォントの選択とフォントの色の選択。	87
3.7.5	その他の機能。	88
4	コマンド ライン (BulkPDF ビジネス コンソール)	90
4.1	パラメータリスト。	90
4.2	コンソール アプリケーションの出力。	92
5	つの設定ファイル	96
5.1	相対パス。	96
5.2	設定ファイルの例の抜粋。	97
5.2.1	NormalFields。	98
5.2.2	特殊フィールド。	99
5.2.3	グローバルオプション。	99
5.2.4	ファイル名ジェネレーター。	100
5.2.5	電子メール。	102
6	つのヒントとコツ	103
6.1	PDFescape を使用して PDF フォームを作成または修復します。	103
6.2	LibreOffice/OpenOffice Writer を使用して PDF フォームを作成します。	103
6.2.1	テキストフィールドの例 (テキストボックス) 。	104
6.2.2	ラジオボタンの例 (ラジオボタン) 。	105
6.2.3	チェックボックス。	106
6.2.4	リストボックス。	107
6.2.5	コンボボックス。	108
6.3	署名を作成します。	108
6.4	日付のフォーマット。	108
6.5	接続文字列。	111
6.6	ドキュメントの同時印刷。	111
7	よくある質問 (FAQ)	112
7.1	BulkPDF Business のシステム要件は何ですか? 。	112
7.2	BulkPDF をインストールできません。 [Windows SmartScreen] 。	112
7.3	私のファイルやデータはアップロードされますか、それともそのまま残されますか? どういわけか私のコンピューター? 。	113
7.4	プログラムは Mac OS でも利用できますか? 。	113
7.5	ライセンスを同時に使用できるユーザーは何名ですか? は? 。	113
7.6	1 つのライセンスは何台のコンピューターで使用できますか? 。	113

7.7 「ライセンス キーは現在使用されています」というメッセージが表示されます すでにいくつかのデバイスで使用されています。」それはどういう意味ですか？。。。。	113
7.8 PDF プレビューでフォームフィールドが正しく表示されない 正しい位置に表示されるか、ずれて表示されます。	114
7.9 BulkPDF Business114 に PDF フォーム フィールドが表示されない	
7.10 Acrobat Reader で Unicode 文字が正しく表示されない (中国語、キリル文字、アラビア語など)。	114
7.11 Windows は常に間違った PDF ビューアを開くか、 PDF ファイルを開覧するための Web ブラウザ (Chrome,Edge)。。。。	115
7.12 System.InvalidCastException: データを boolean に変換できませんでした。。	116
7.13 System.IndexOutOfRangeException: "グループ内の X 個のラジオ ボタンのみ 見つかった。選択されたインデックスは Y でした。"	116
7.14 System.InvalidOperationException: 'Microsoft.ACE.OLEDB.12.0' プロバイダーがローカル マシンに登録されていません。。	116
7.15 Excel ファイルでデータが認識されません。。	116
7.16 日付フィールドも 00:00:00 として指定されます。どのようにして それは削除されるのですか？。。。。	116
7.17 データ ソース ファイル (Excel,CSV など) または PDFファイルを移動しました。私のBulkPDFビジネスはまだ機能していますか? 設定ファイル?。。。。	117
7.18 バッチスクリプト経由でコンソールアプリケーションを呼び出す場合、 ドイツ語のウムラウトなどの文字が正しく送信されない	117
7.19 フィールドの複数の列の組み合わせ。。。。	117
7.20 データとプレビューに従って「チェックボックス」または「ラジオボタン」が入っている必要があります XFA PDF では選択できますが、Acrobat Reader では選択できません。。。。	117
7.21 生成された PDF の数値形式を修正するにはどうすればよいですか? テーブルに設定されている形式は維持されません。どのようにして たとえば、小数点以下 2 桁の数値と EUR 記号 最後に?。。。。	118
参考文献8件	119

1

導入

1.1 BulkPDF とは何ですか?またどのように機能しますか?

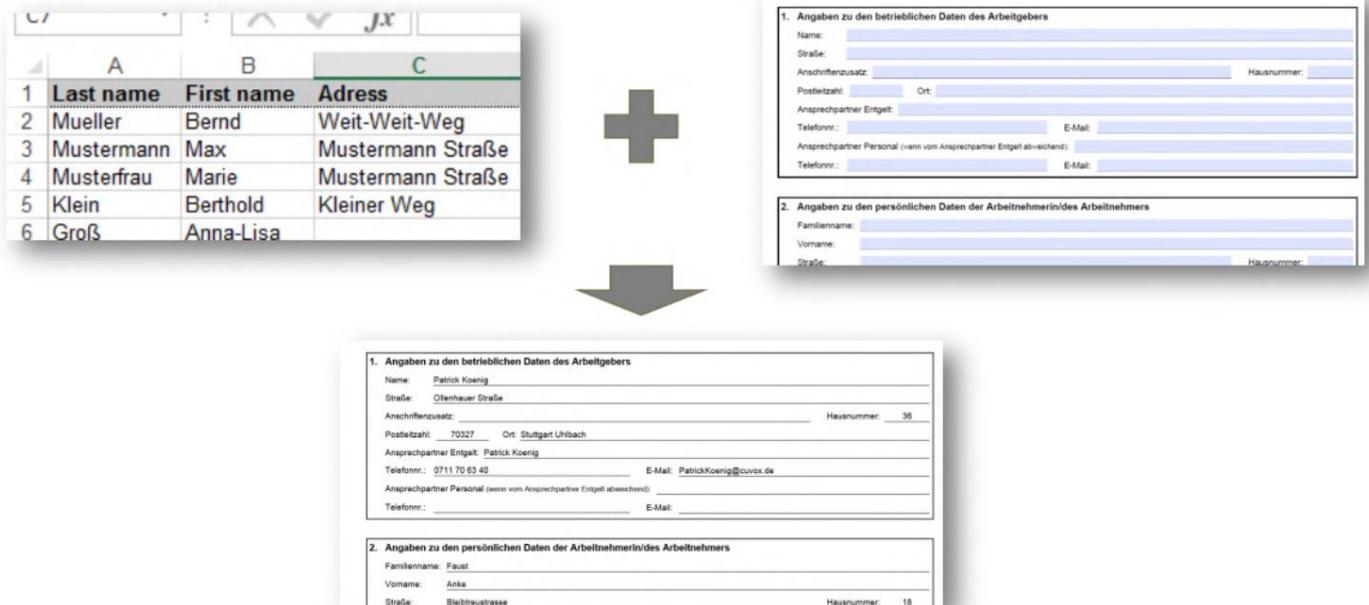
つまり、BulkPDF は、利用可能なデータを自動的に検出します。

選択した表形式のデータ ソース (Excel、SQL データベースなど) の

見つかった列名は、フォーム フィールドに手動または自動で割り当てることができます。充填が開始された後、

ソフトウェアはテーブルを 1 行ずつ調べて、セルの値を PDF 形式に挿入します。PDF ファイルはテーブルのデータとともに保存されます。

選択したファイル名が保存されます。その結果、すぐに送信できる完成済みの PDF フォームが届きます。



1.2 特徴

以下は、プログラムの機能の簡単な概要と詳細なリストです。

簡単な概要

使い方は簡単専門知識がなくても、わかりやすく簡単に使用できます。

将来に向けた最適化一度作成した PDF 構成はすぐに実行できます
また使われる。

データ ソースのサポートさまざまなデータ ソースがサポートされています (例: Excel、CSV、SQL データベースなど)。

クラウドを使わないデータ保護。データをアップロードせずに。欧州のデータ保護規制に準拠しています。ドイツ製。

アップデートプログラムは常に開発されており、新しい機能が追加されています
装備されています。

わずか数ステップで自動化

- 1. データソースの選択

- 2. 手動または自動で PDF フォームフィールドにデータを割り当てる

テーブル

- 3. ファイル名を選択します

一度に何百もの PDF ドキュメントを作成ワンクリックで、完成した PDF ドキュメントをいくつでも同時に作成できます。

バーコードさまざまなバーコードがサポートされています。(例: QR、データ マトリックス、PDF417、EAN8、EAN13、Codabar、Code11、Code39、Code93、Code128[A、B、C]、GS1-128、UPC)

その他の機能

- AcroForm および XFA のサポート
- PDF 署名
- データに依存するファイル名
- 書き込み保護
- 画像とハイパーリンク
- PDFファイル

詳細な機能リスト

- ソフトウェアライセンス: プロプライエタリ
- PDF フォームに自動的に入力する
- ウォーターマークなし (デモ外)
- 無制限の数の PDF ファイル
- モダンで明確なインターフェイス
- 積極的な開発
- ライブ PDF プレビュー
- PDF ファイルに署名
- Microsoft Excel
- リプレオフィス/オープンオフィス

- Microsoft SQLサーバー
- MySQL / マリアDB
- 動的な PDF ファイルの命名
- PDF圧縮
- 日付の形式
- 写真
- ハイパーリンク
- 電子メールの下書きジェネレーター
- 一次元バーコード (Codabar、Code11、Code128A、Code128、Code128B、Code128C、Code39、Code93、CodeUpc、Ean13、Ean8、GS1Code128)
- 二次元バーコード (Pdf417、DataMatrix_Barcode、QR)
- ドキュメント: はい、ただしまだ開発中です。
- インターネットなしで使用可能 (オフライン): はい、1 回のオンラインアクティベーション後は可能です。
- BulkPDF フリーウェア設定ファイルをサポート
- BulkPDF ビジネス設定ファイルをサポート
- コンソール アプリケーション (バッチ スクリプト統合)
- さまざまな書記体系 (Unicode) のサポート
- さまざまな言語の見栄えの良いフォントの選択、または
筆記システム: 開発中。
- カスタムフォント
- アクロフォーム
- XFA: はい。ただし、一部の XFA ドキュメントはサポートされない場合があります。
- Windows
- Mac OS: いいえ、ただし仮想マシンでは使用できます (例:
パラレル デスクトップ、VirtualBox)
- Linux: いいえ、ただし仮想マシンで使用できます (例: Vir-
tualBox)

1.3 要件

1.3.1 システム

Windows 7、Windows 8、Windows 10、および Windows 11 と互換性があります。

インストールには約 500 MB のストレージ容量が必要です。このプログラムでは、ライセンスのアクティベーションのために 1 回限りのインターネット接続が必要です。

1.3.2 データソース - スプレッドシートファイル

スプレッドシート ファイルのデータを使用するには、特定の

データの正しい形式を指定する必要があります。最初の行は基本的に属します

列名。これらには明確でわかりやすい名前が必要です

これらはプログラム内で目的のデータセットを選択するために使用されるためです。

なる。BulkPDF は、空のセルが見つかるまで列名をチェックします。したがって、たとえば、最初の列の最初の行は空であってはなりません。空でない場合、

追加のデータを見つけることができます。次に、プログラムは最大値を決定します。

テーブル内の行数。これを行うために、プログラムは行ごとに処理を実行し、

行が完全に空のセルで構成されている場合にのみ停止します。

たとえば、有効なテーブルは次のようになります。

ファーストネーム	姓の住所	...
ミューラー	ベルント	はるか遠く
ドウ・マックス		ドウ通り...
モデル女性マリー		ドウ通り...
...

別の例として、付属のサンプル スプレッドシート ファイルを使用します。

考慮する必要があります (2.1.1 を参照)。

さらに、スプレッドシート ファイルから読み取ることができる別のデータ ソースがあり、列と行の動作が交換されるため、たとえば次のテーブルも使用できます (詳細についてはセクションを参照)

3.2.9):

名前ベルント	マックス	メアリー	...
姓 : ミューラー	ムスターマン	モデルの女性	...
住所	はるか遠く	Doe Doe ストリート	Doe Doe ストリート...
...

Excel で Excel 関数を使用することは注目に値します。

データ ソースがサポートされており、データを取得する便利な方法が提供されます。

PDF フォームフィールドに挿入する前に処理および準備するため
なる。

このプログラムでは、次のスプレッドシート ファイル形式がサポートされています[7]。

ファイル タイプ	コンテナ形式	ファイル形式.xlsx OpenXml 2007 以	Excel のバージョン
降	ZIP、CFB+ZIP		
.xlsb	郵便番号、CFB	OpenXml 2007 以降	
.xls	CFB	BIFF8	97,2000,XP,2003 98,2001,vX,2004 (Mac)
.xls	CFB	BIFF5	5.0,95
.xls	-	BIFF4	4.0
.xls	-	BIFF3	3.0
.xls	-	BIFF2	2.0,2.2
.csv	-	CSV	(全て)

1.3.3 データソース - Microsoft SQL Server

Microsoft SQL Server からのデータを使用する場合のデータ取得には、いくつかのバリエーションがあります。

一方では、「接続文字列」を入力するだけで、それぞれのデータベースで使用可能なすべての接続文字列が自動的に
入力されるオプションを選択できます。

テーブルが表示されます。これらのテーブルの 1 つを選択して、データ ソースとして機能させることができます。

有効な「接続文字列」の例については、「」を参照してください。

セクション6.5 を参照してください。

2 番目のオプションは、「接続文字列」に加えて、プレーンなオプションです。

をクリックして、必要なデータを返す SQL クエリを入力します。これ

このオプションにより、Microsoft SQL 上で T-SQL のすべての機能が使用可能になります。

BulkPDF 内のデータ ソースとしてサーバーを使用します。

1.3.4 データソース - Microsoft Access

「Microsoft Access」サーバーからのデータを使用するには、いくつかのオプションがあります。

データ取得用のバリエーションも用意されています。

一方では、データベース ファイル (.accdb または .mdb) を選択するだけで、それぞれのデータベースで使用可
可能なすべてのテーブルが自動的に表示されるオプションを選択できます。これらのテーブルから次のことを行う
ことができます

データ ソースとして機能するものを 1 つ選択できます。

2 番目のオプションは、ファイルの横に SQL クエリを入力する機能です。

これにより、必要なデータが得られます。このオプションでは、完全な

データ ソース用の Microsoft Access データベース上の SQL の機能

BulkPDF 内。

場合によっては、「Microsoft Access データベース エンジン 2010 再頒布可能 64 ビット バージョン」など、不足している依存関係をダウンロードしてインストールする必要がある場合があります (ポイント7.14 を参照)。

1.3.5 JSON

JSON ファイルのデータを使用するには、データが特定の形式である必要があります。次の JSON 構造は完全な状態になります。

例: BulkPDF で読み取り可能:

```
1  {
2    "テーブル": [
3      {
4        "姓": "ミューラー",
5        "名": "ベルント",
6        "住所": "はるか遠く",
7        "チェックボックスの値": "はい",
8        "ラジオボタンの値": "2",
9        "Combobox_Value": "ケーキ"
10     },
11    {
12      "last_name": "雌鹿",
13      ...
14      "Combobox_Value": "テスト"
15    },
16    ...
17  ]
18 }
```

1.3.6 XML

XML ファイル内のデータを使用できるようにするには、データが特定の形式である必要があります。次の XML 構造は完全な状態になります。

例: BulkPDF で読み取り可能:

```

1  <?xml バージョン="1.0" エンコーディング="UTF-8"?>
2  <ルート>
3    <行>
4      <Last_name>ミュラー</Last_name>
5      <First_name>ベルント</First_name>
6      <アドレス>はるか遠く</アドレス>
7      <Checkbox_Value>はい</Checkbox_Value>
8      <Radio_button_value>2</Radio_button_value>
9      <Combobox_Value>ケーキ</Combobox_Value>
10   </行>
11   <行>
12     <Last_name>ジョン・ドウ</Last_name>
13     ...
14     <Combobox_Value>テスト</Combobox_Value>
15   </行>
16   ...
17 </root>

```

1.3.7 データソース - MySQL / MariaDB サーバー

MySQL または MariaDB サーバーからのデータの BulkPDF への統合
いくつかの方法で実装できます。

オプションの 1 つは、「接続文字列」の入力を必要とします。

関連するデータベースの使用可能なテーブルが自動的にリストされます。このリストからテーブルをデータ ソースとして選択できます。有効な「接続文字列」形式の例については、次を参照してください。

セクション6.5 を参照してください。

もう 1 つの方法は、必要なデータを提供する「接続文字列」に加えて SQL クエリを直接作成することです。この方法を使用すると、MySQL または MariaDB 上のあらゆる SQL 関数を使用できます。

サーバーを使用して、BulkPDF 内でデータ ソースを構成できます。

エレン。

1.3.8 PDF フォーム

PDF フォームは、Acro 形式のフォーム要素を含む PDF ファイルです。

フォームまたは XFA。このようなフォーム要素は次のように認識できます。

Acrobat Reader で、たとえばテキストフィールドをクリックしてテキストを入力した場合

できる。テキストを入力するために最初に Acrobat Reader のテキストフィールドのフレームをドラッグする必要がある場合は、次の操作を行ってください。

本当の意味での PDF フォームではなく、PDF フォームです。

フォームを表すファイル。この表現は、スキャンされた画像、または目に見える文字 (下線付きなど) でマークされたフォームにすぎず、印刷版では手動でのみ記入できます。このようなドキュメントは、BulkPDF Business によって追加の「テキストボックス」、「ラジオ ボタン」、および「チェックボックス」特殊フィールド タイプを使用して非常に二次的なレベルでのみサポートされます。

実際の PDF フォームでは、これらのフォーム フィールドにはすべて名前があり、すでに値または標準値が設定されている場合もあります。BulkPDF を使いやすくするには、PDF ファイル内のフォーム フィールド名をわかりやすいものにする必要があります。

これらは、BulkPDF でデータを割り当てるときに簡単に識別できます。

有効な例については、プログラムに付属のサンプル フォームまたはセクション2 を参照してください。

1.4 標準 PDF フォームのフィールド タイプと一致するデータ

このサブ章では、PDF フォームに表示できるすべてのフィールド タイプについて説明します。さらに、BulkPDF Business が正しい入力を期待するデータについても説明します

フィールド。

1.4.1 テキストボックス

「テキストボックス」フィールドには、実装に応じて単一行または複数行のテキストが含まれます。さらに、そのようなフィールドにはフォント、フォント サイズ、書き込み保護を設定できます。選んだフォントから始める

考えられるすべての文字がサポートされています。

TEXTFELD-BEISPIEL (TEXTBOX):

Vorname:

Nachname:

1.4.2 チェックボックス

「チェックボックス」フィールドは選択または選択解除できます。

MARKIERFELD (CHECKBOX):

Umweltfreundliche Verpackung:

このフィールド タイプを入力するには、次の値を使用できます。

「X」が選択されました	未選択
×	
1	0
真実	false.false
の上	オフ
y	n
はい	いいえ
はい	いいえ
ウイ	非
シ	

1.4.3 ラジオボタン

「ラジオ ボタン」は実際には選択可能な「チェックボックス」のようなフィールドのグループですが、これらの要素のうち 1 つだけを選択できます。のためにこのフィールド タイプに値を入力するには、要素のインデックスに対応する数値を指定する必要があります。次の例では、「男性」は値「1」、「女性」は値「2」、「多様」は値「3」になります。

OPTIONSFELD-BEISPIEL (RADIOBOX):

Geschlecht: Männlich Weiblich Divers

1.4.4 リストボックス

「リストボックス」は、PDF フォームの設定に応じて、リストから 1 つ以上の値を選択できるリスト フィールド タイプです。のために PDF フォームの作成者が指定した値を入力できます。定数値を介して取得されるか、データ ソースを介して動的に取得されます。動的バリエーションでは、選択されるテキストは次のようにする必要があります。PDF フォームを書き出す必要があります。

LISTENFELD (LISTBOX):

Zugehörige Branche: IT
Industrial
Cake-Factory
Tax

1.4.5 コンボボックス

「コンボ ボックス」は、ほぼ「リスト ボックス」と同様に動作しますが、このフィールド タイプを対象としており、事前定義されたものではなく独自のフィールドを作成できる点が異なります。

値、使用できます。

KOMBINATIONSFELD (COMBOBOX):

Derzeitige Tätigkeit:

1.5 BulkPDF Business の特殊フィールド タイプと一致するデータ

1.5.1 ハイパーリンク

ハイパーリンクは、テキストとリンク先の URL という 2 つのコンポーネントで構成されます。両方の値をフィールドの位置の隣に設定する必要があります
なる。ハイパーリンクのフォントを設定することもできます。

1.5.2 画像

画像には、位置と希望のサイズに加えて、値としてファイル パスが必要です。次のファイル タイプがサポートされています。

- 1.BMP
- 2.JPEG
- 3.GIF
- 4.PNG
- 5.TIFF
6. ICOとアイコン

1.5.3 ファイル添付

添付ファイルは、システム上のファイルへのパスを値として受け取ります。ファイルの説明はファイル名で、MIME タイプはファイル拡張子に基づいて自動的に決定されます。

1.5.4 スキャンしたフォームに記入するための追加ボタン

本当の意味でのPDF形式ではなく、

フォームの画像だけを含む PDF などというものは存在しません

実際の PDF と同様にフォームフィールドを編集する機能

フォームフィールドがこれに該当します。 BulkPDF Business では、フィールドを追加できます

その上に貼り付けて、もちろんデータを入力します。 PDF ファイルに表示されているフォーム フィールドは、次の手順で視覚的にオーバーレイできます。

その上に、さらに詳しく解説する「テキストボックス」「ラジオボタン」「チェックボックスボタン」が配置されています。

1.5.5 追加の「テキストボックス」

追加の「テキストボックス」は読み取り専用の「テキストボックス」に対応し、実際の「テキストボックス」フィールドが存在しなくても、BulkPDF を使用して PDF ドキュメントに追加できます。通常必要な設定に加えて、フィールドの位置とサイズも必要です。

1.5.6 追加の「ラジオボタン」

追加の「ラジオ ボタン」は読み取り専用の「ラジオ ボタン」に対応し、実際の「テキストボックス」フィールドが存在しなくても、BulkPDF を使用して PDF ドキュメントに追加できます。通常必要な設定に加えて、フィールドの位置とサイズも必要です。

フィールドは 1 つの「ラジオ ボタン」であるため、要素のグループが必要な場合は、これらの特別なフィールドタイプをいくつか追加する必要があります。

1.5.7 追加の「チェックボックスボタン」

追加の「チェックボックス ボタン」は読み取り専用の「チェックボックス ボタン」に対応し、PDF ドキュメント内に実際の「チェックボックス ボタン」フィールドが存在しなくても、BulkPDF を使用して PDF ドキュメントに追加できます。通常必要な設定に加えて、フィールドの位置とサイズも必要です。

1.5.8 バーコード

バーコード フィールドは、個々の PDF フォームのデータに基づいて動的に生成でき、フォーム内の適切に選択された位置に画像として挿入されます。以下は、サポートされているすべてのバーコード タイプを含む 2 つのバーコードグループのリストです。

二次元バーコード

1. PDF417: <https://en.wikipedia.org/wiki/PDF417>
2. データマトリックス: https://en.wikipedia.org/wiki/Data_Matrix
3. QR: https://en.wikipedia.org/wiki/QR_code

一次元バーコード

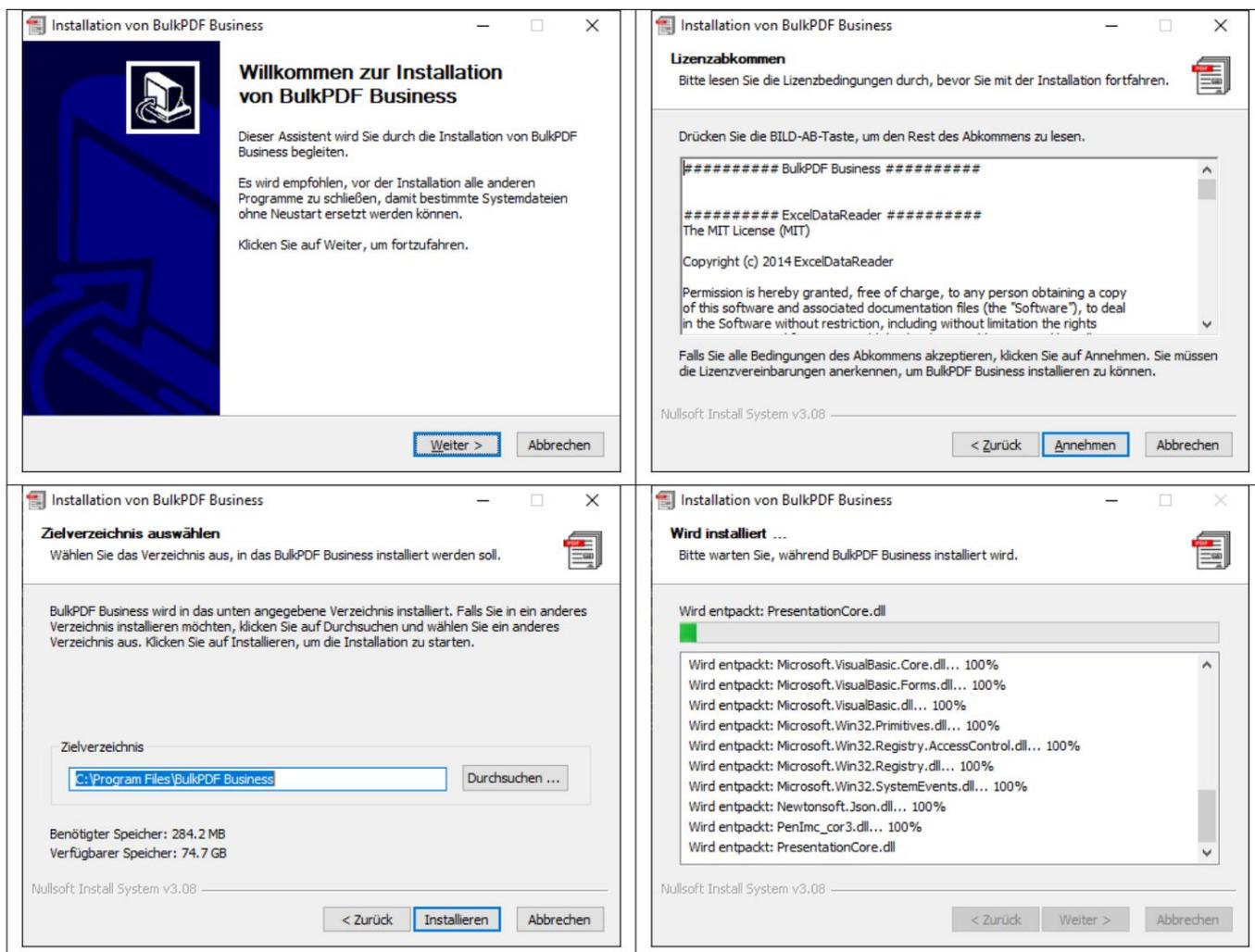
1. Codabar: <https://en.wikipedia.org/wiki/Codabar>
2. コード 11: https://en.wikipedia.org/wiki/Code_11
3. コード 128、コード 128A、コード 128B 、コード 128C: https://en.wikipedia.org/wiki/Code_128
4. コード 39: https://en.wikipedia.org/wiki/Code_39
5. コード93: https://en.wikipedia.org/wiki/Code_93
6. CodeUpc: https://en.wikipedia.org/wiki/Universal_Product_Code
7. Ean8、Ean13: https://en.wikipedia.org/wiki/International_Article_
番号
8. GS1Code128: <https://en.wikipedia.org/wiki/GS1-128>

1.6 インストールとライセンス供与

以下は、インストールの種類とライセンスの種類に関する情報です。

1.6.1 グラフィカルなインストール

インストールに必要な手順をスクリーンショットで示します。



1.7 サイレントインストール

インストールは、「/S」パラメータを使用して無人で実行できます。インストールパスを指定する場合は、/D=C:\NewInstallDir\パラメータを使用して実行できます。このタイプの設置では、

ライセンスの場合、%appdata%\BulkPDF フォルダー内の「Licenseconfirmation」または、システム上のインストールパスにコピーされます。この「LicenseConfirmation」は、プログラム内のアクティベーションまたは経由でどのシステムでもアクティベートできます。

「BulkPDF-Business-terminal-Licensor」が作成されている必要があります。マルチユーザーライセンスです。これはアクティベーションの種類によって異なります。%appdata%\BulkPDF フォルダーまたはシステム上のインストールパスにあります。これはシングルユーザーライセンスでは不可能です。

には固定のハードウェア ID が含まれており、起動時にそれが依然として一致するかどうかチェックされます。システム一致を実行しています。

1.7.1 ライセンス

通常のライセンス認証は、ホームページ上のプログラムを通じて実行されます。

(第3.1.2 章を参照)

1.7.2 マルチユーザー/ターミナルサーバーライセンス

ターミナル サーバーのライセンスを取得するには、インストール フォルダにある「BulkPDF-Business-terminal-Licenser.exe」を昇格された権限で呼び出す必要があります。有効なマルチユーザー/ターミナル サーバー ライセンス キーを入力してアクティブ化すると、このアプリケーションはインストール フォルダ自体にライセンス ファイルを作成します。このライセンス ファイルは、後で BulkPDF Business によってターミナル サーバー ユーザーのライセンス検証に使用されます。



アプリケーションシナリオ (ステップバイ 手順説明)

次のアプリケーション シナリオでは、
ソフトウェア。

2.1 付属のサンプルファイル

プログラムを開始すると、プログラムの最初のページにある情報テキストを介してサンプル ファイルをロードできます。さらに、サンプル ファイルを直接ロードすることもできます (セクション2.1.1 を参照)。

2.1.1 サンプルファイルの詳細

サンプル ファイルは、設定「ProcessExample.BulkPDF」で構成されています。
データ ソース「ProcessExample.xlsx」と、インストール フォルダー(「C:\Program Files\BulkPDF Business」)にある PDF フォーム「ProcessEx-ample.pdf」からダウンロードします。
ただし、インストール中にインストール パスを変更されなかった場合に限りです。

BulkPDF ビジネス構成: 「ProcessExample.BulkPDF」この BulkPDF ビジネス構成ファイルには、前の手順で必要なすべての情報が含まれています。
セッションと、データ ソース (「ProcessExample.xlsx」) や PDF フォーム (「ProcessExample.pdf」) などの個々のファイルへの参照が設定されました。これ

構成は何度でもロードできるため、すべての設定を再度行う必要はありません。このファイルは JSON 形式 [5] でエンコードされており、人間が十分に読み取ることができ、必要に応じてテキスト エディタを使用して手動で編集できます。これは、ファイル パスを手動で調整する場合に特に必要になる場合があります。

データソース (Excelファイル) : 「ProcessExample.xlsx」

スプレッドシート ファイルはテーブルで構成されます。テーブル 「Table1 (顧客構成例で選択した「dendaten)」とテーブル 「表2 (信用度)」を選択します。

1	Nachname (Textbox)	Vorname	Straße	Hausnummer	Postleitzahl	Ort	Geschlecht (Radio Button / Radiobox)	Umweltfreundliche Verpackung (Checkbox)	Zugehörige Branche (Listbox)	Derzeitige Tätigkeit (ComboBox)
2	Mueller	Bernd	Weit-Weit-Weg	23	10178	Berlin	1	1	IT	Angestellter
3	Mustermann	Max	Mustermann Straße	5	80331	München	1	0	Industrial	Ehrenamtlicher
4	Musterfrau	Marie	Mustermann Straße	7	31515	Wunstorf	2	2	Cake-Factory	Freelancer
5	Klein	Berthold	Kleiner Weg	3	70173	Stuttgart	3	3	Tax	König von Deutschland
6	Groß	Anna-Lisa	Blumenweg	13	40210	Düsseldorf	3	3	Top secret	Ehrenamtlicher
7	蛋糕	蛋糕	饼干	17	34117	Kassel	2	2	Industrial	Ehrenamtlicher
8	топт	нежене		2	39104	Magdeburg	1	1	Cake-Factory	Angestellter
9	ř, ů, ě, č	הקליטה	יהודה	37	24103	Buam	1	1	IT	Angestellter
10										
11										
12										
13										

	A	B	C
1	Nachname (Textbox)	Vorname	Kreditwürdig
2	Mueller	Bernd	Yes
3	Mustermann	Max	y
4	Musterfrau	Marie	x
5	Klein	Berthold	oui
6	Groß	Anna-Lisa	sí
7	蛋糕	蛋糕	是
8	топт	топт	да
9	ř, ů, ě, č	הקליטה	true
10			

PDF形式 : 「ProcessExample.pdf」

PDF フォームの例には、プログラムのテスト時に 1 回だけ入力できるように、すべての標準 PDF フォーム要素が含まれています。

Beispiel-Bestell-Formular

[Company Name]
[Street Address, City, ST ZIP Code]
[Phone]
[Email]
[Website]

TEXTFELD-BEISPIEL (TEXTBOX):

Vorname: <input type="text"/>	Nachname: <input type="text"/>
Straße: <input type="text"/>	Hausnummer: <input type="text"/>
Postleitzahl: <input type="text"/>	Ort: <input type="text"/>

OPTIONSFELD-BEISPIEL (RADIOBOX):

Geschlecht: Männlich Weiblich Divers

MARKIERFELD (CHECKBOX):

Umweltfreundliche Verpackung:

LISTENFELD (LISTBOX):

Zugehörige Branche: IT
 Industrial
 Cake-Factory
 Tax

KOMBINATIONSFELD (COMBOBOX):

Derzeitige Tätigkeit:

2.1.2 サンプル PDF フォームの記入

以下では、実行される手順を簡単に説明し、サンプル PDF フォームにサンプル スプレッドシート ファイルのデータを入力します。

ホームページ

プログラムを起動すると、プログラムの「ホームページ」が開きます。これにより、このドキュメントへの参照となる短いウェルカム テキストが提供されます。

設定例とフィードバック ページへのリンクを読み込みます。

Startseite | Datenquelle | PDF-Formular | Optionen | Fertigstellung

BulkPDF Business

Vielen Dank, dass Sie sich für die Nutzung von BulkPDF Business entschieden haben. Die Software, welche automatisiertes Ausfüllen von PDF-Formularen benutzerfreundlich und datenschutzgerecht für jeden Verfügbar macht. In den nächsten Schritten wird Sie das Programm zur Auswahl einer Datenquelle, der Zuweisung der Daten zu PDF-Formular Felder, der Dateinamenseinstellungen sowie der Ausgabe Ihrer PDF-Formular-Dateien führen. Klicken Sie nun bitte, um zu dem nächsten Schritt zu gelangen, auf die Schaltfläche unten in der rechten Ecke.

Bitte nehmen Sie sich die Zeit einmal in den FAQ (häufig gestellte Fragen) und in die Dokumentation hineinzuschauen. [Klicken Sie hier, um die Dokumentation zu öffnen.](#)

Für einen schnellen Überblick über das Programm steht auch Beispiel-Konfiguration zur Verfügung. [Klicken Sie hier, um die Beispiel-Konfiguration zu laden.](#)

Falls Sie Kritik, Wünsche an die weitere Entwicklungen oder allgemeines Feedback gegeben möchten, [klicken Sie bitte hier.](#)

Software-Lizenz

Software-Lizenz-Code: Lizenz aktivieren

Lizenz-Status: Verfallsdatum:

Software-Version

Installiert: 2021.12.30.811 Verfügbar: 2021.12.30.0811

Versionskanal: Auf neue Version aktualisieren

Optionen

Sprache:

Support Konfiguration: Laden Speichern Weiter ->

右下隅の「次へ」ボタンをクリックすると、「データソース」ページに移動します。

データソース

このステップでは、最初にデータソースタイプ「Excel」が選択され、次に Excel ファイル自体が選択されます。

BulkPDF Business [DEMO]

Startseite Datenquelle PDF-Formular Optionen Fertigstellung

Datenquelle

↑

Wählen Sie eine Datenquelle.

BulkPDF Business

PDF

2021.12.30.811

Dokumentation

Rechtliches

Copyright © 2021 Julien Bartels

Support Konfiguration: Laden Speichern Zurück Weiter

BulkPDF Business [DEMO]

Startseite Datenquelle PDF-Formular Optionen Fertigstellung

Datenquelle Tabellenkalkulation / Excel

Tabellenkalkulation

Tabellenkalkulation-Datei: Auswählen...

Tabelle:

↑

Wählen Sie eine Tabellenkalkulationsdatei und eine Tabelle aus.

BulkPDF Business

PDF

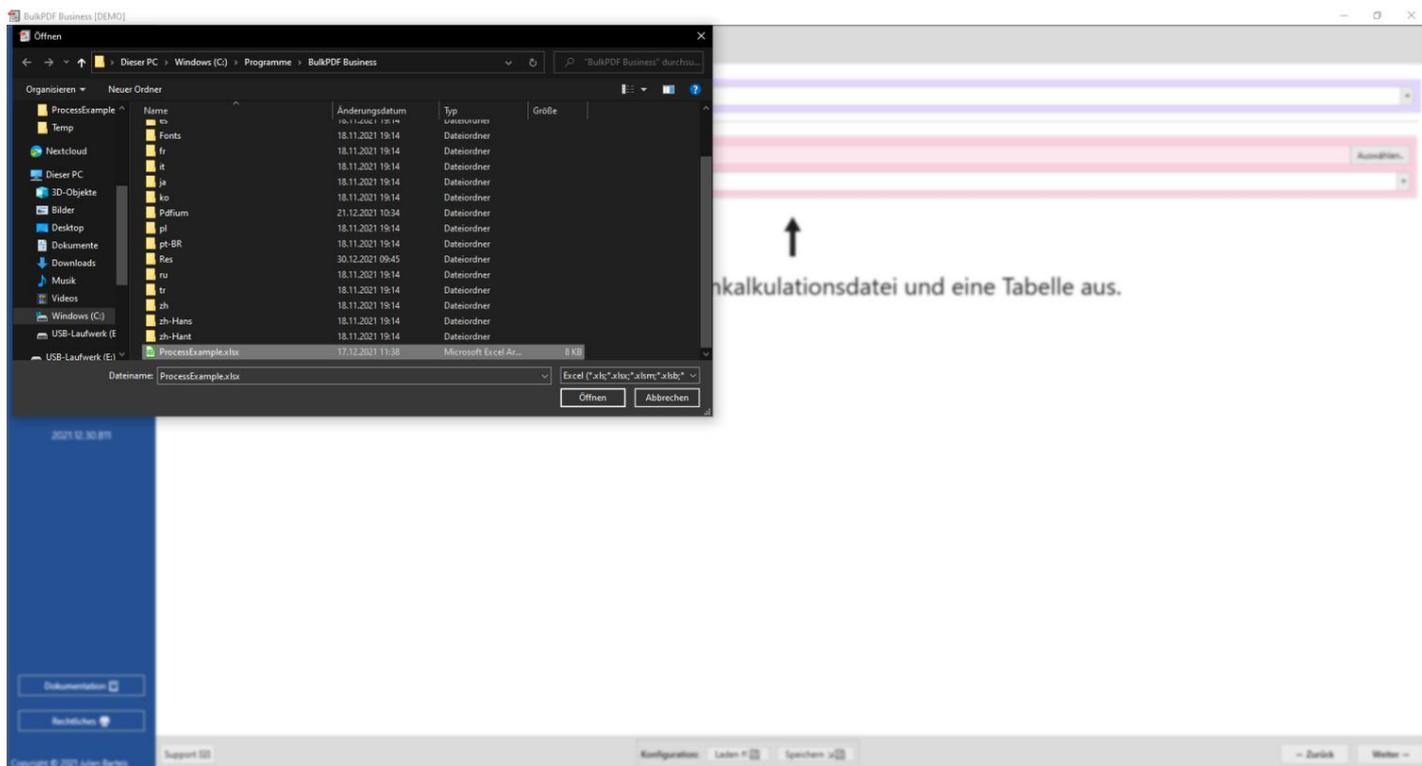
2021.12.30.811

Dokumentation

Rechtliches

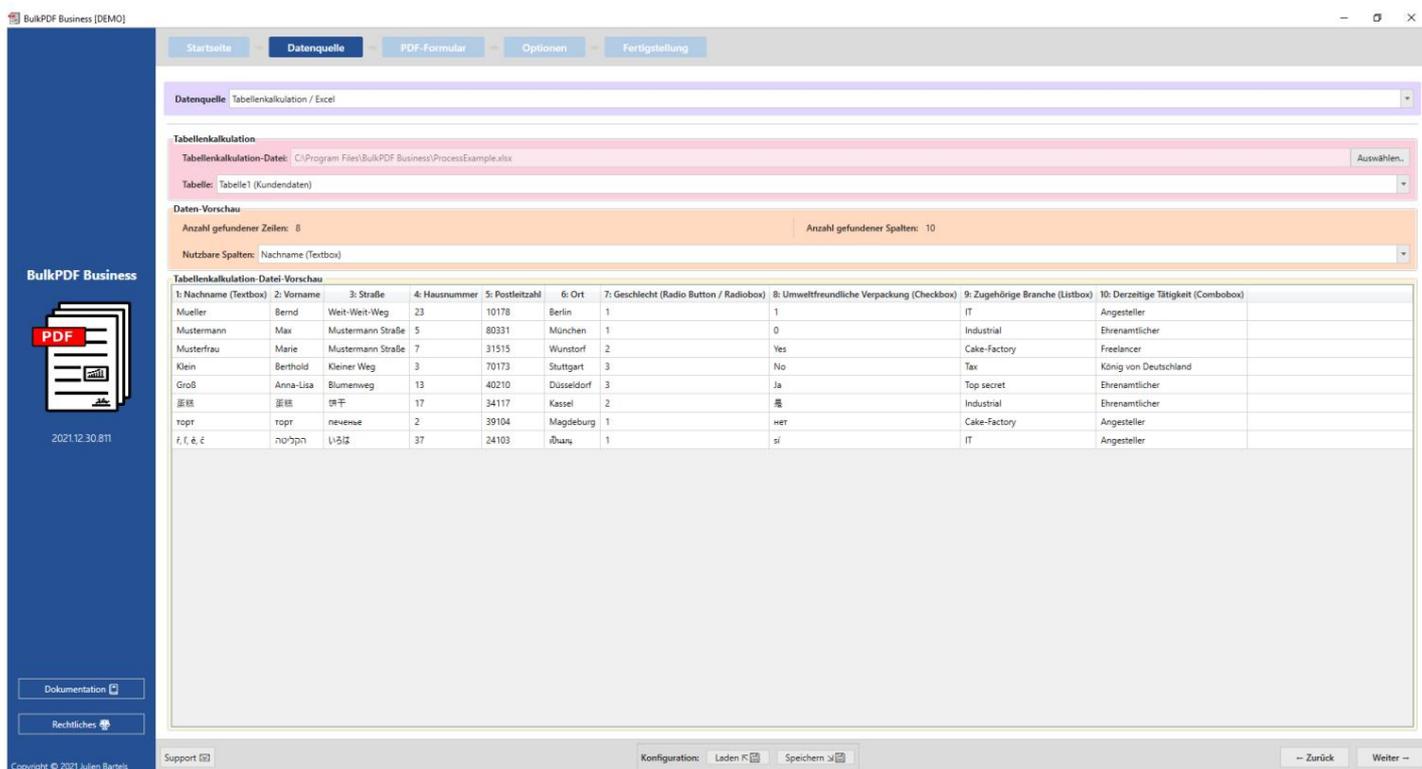
Copyright © 2021 Julien Bartels

Support Konfiguration: Laden Speichern Zurück Weiter



Excel ファイルがロードされたら、そのファイルに含まれるテーブルの 1 つを選択できます。このテーブル内のデータのプレビューが表示されます。

BulkPDF の正しい形式で、見つかったデータのみが表示されます。



もう一度「続行」をクリックすると、「PDF」ページに移動します。形状。

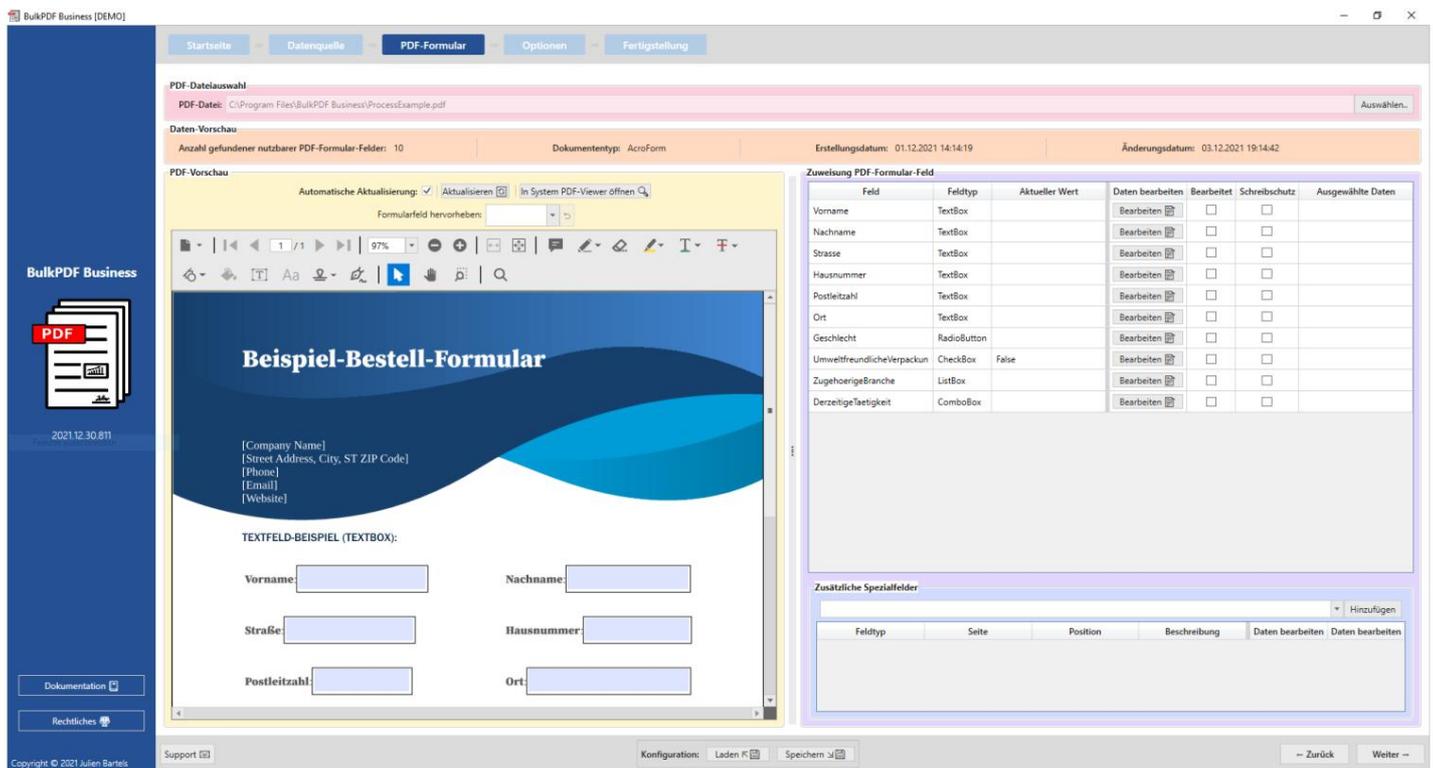
PDFフォーム

このページでは、まず PDF フォーム ファイルを選択する必要があります。

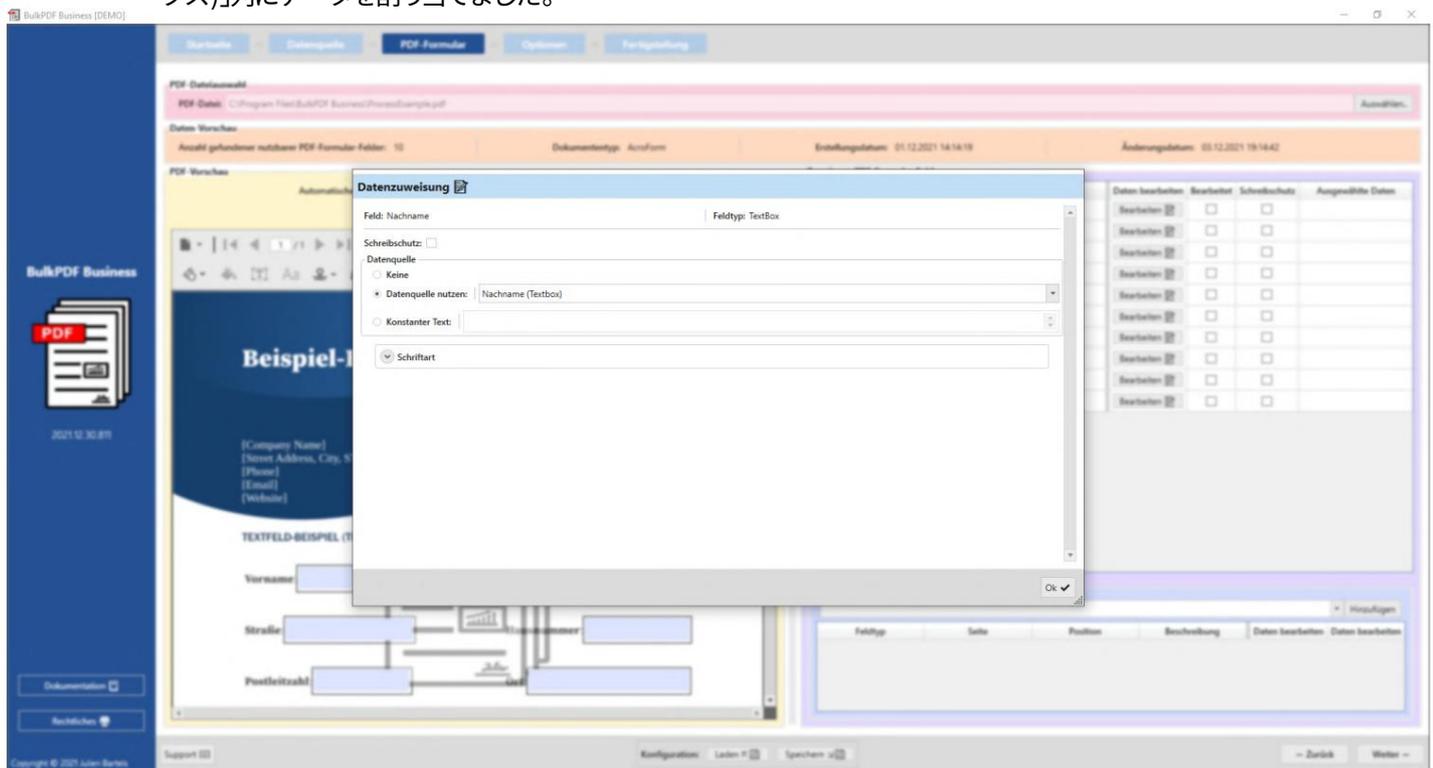
The screenshot shows the BulkPDF Business software interface. The main window has a pink highlighted area for selecting a PDF file. Below this area, an arrow points to the text "Wählen Sie ein PDF-Formular aus." An "Offnen" (Open) file dialog is overlaid, showing a list of files with "ProcessExample.pdf" selected. The dialog table includes columns for Name, Änderungsdatum, Typ, and Größe.

Name	Änderungsdatum	Typ	Größe
de	18.11.2021 19:14	Verzeichnis	
Fonts	18.11.2021 19:14	Dateiodner	
fr	18.11.2021 19:14	Dateiodner	
it	18.11.2021 19:14	Dateiodner	
ja	18.11.2021 19:14	Dateiodner	
ko	18.11.2021 19:14	Dateiodner	
Pdfium	21.12.2021 10:34	Dateiodner	
pl	18.11.2021 19:14	Dateiodner	
pt-BR	18.11.2021 19:14	Dateiodner	
Res	30.12.2021 09:45	Dateiodner	
ru	18.11.2021 19:14	Dateiodner	
tr	18.11.2021 19:14	Dateiodner	
zh	18.11.2021 19:14	Dateiodner	
zh-Hans	18.11.2021 19:14	Dateiodner	
zh-Hant	18.11.2021 19:14	Dateiodner	
ProcessExample.pdf	03.12.2021 20:14	Adobe Acrobat-D...	44 KB

PDF ファイルを選択すると、そのファイルに関する一般的なデータのコレクション、PDF プレビュー、および「データ ソース」のデータを PDF フォームの個々のフィールドに割り当てるためのテーブルが表示されます。



ここでは、「編集」ボタンを使用して「姓」フィールドを開き、データソースから「姓(テキストボックス)」列にデータを割り当てました。



編集ウィンドウを閉じると、データソースの最初の行がフォームに入力する例として使用され、「姓(テキストボックス)」列の最初の行の値が入力されたことがプレビューに表示されます。「姓」データソース。

PDF-Dateiauswahl
PDF-Datei: C:\Program Files\BulkPDF Business\ProcessExample.pdf

Daten-Vorschau
Anzahl gefundener nutzbarer PDF-Formular-Felder: 10 Dokumententyp: AcroForm Erstellungsdatum: 01.12.2021 14:14:19 Änderungsdatum: 03.12.2021 19:14:42

Zuweisung PDF-Formular-Feld

Feld	Feldtyp	Aktueller Wert	Daten bearbeiten	Bearbeitet	Schreibschutz	Ausgewählte Daten
Vorname	TextBox		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
Nachname	TextBox		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Nachname (Textbox)
Straße	TextBox		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
Hausnummer	TextBox		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
Postleitzahl	TextBox		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
Ort	TextBox		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
Geschlecht	RadioButton		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
Umweltfreundliche Verpackung	CheckBox	False	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
Zugehörige Branche	ListBox		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
Derzeitige Tätigkeit	ComboBox		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

他のすべてのフィールドには、データ ソースとして適切な列が割り当てられました。

PDF-Dateiauswahl
PDF-Datei: C:\Program Files\BulkPDF Business\ProcessExample.pdf

Daten-Vorschau
Anzahl gefundener nutzbarer PDF-Formular-Felder: 10 Dokumententyp: AcroForm Erstellungsdatum: 01.12.2021 14:14:19 Änderungsdatum: 03.12.2021 19:14:42

Zuweisung PDF-Formular-Feld

Feld	Feldtyp	Aktueller Wert	Daten bearbeiten	Bearbeitet	Schreibschutz	Ausgewählte Daten
Vorname	TextBox		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Vorname
Nachname	TextBox		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Nachname (Textbox)
Straße	TextBox		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Straße
Hausnummer	TextBox		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Hausnummer
Postleitzahl	TextBox		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Postleitzahl
Ort	TextBox		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Ort
Geschlecht	RadioButton		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Geschlecht (Radio Button /
Umweltfreundliche Verpackung	CheckBox	False	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Umweltfreundliche Verpac
Zugehörige Branche	ListBox		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Zugehörige Branche (Listb
Derzeitige Tätigkeit	ComboBox		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Derzeitige Tätigkeit (Comb

データをフィールドに割り当てたら、「次へ」ボタンをクリックして最終設定ステップに進むことができます。

オプション

このステップでは、データソースの列のデータ、日付/時刻などの書式設定要素を追加することでファイル名をコンパイルできます。

ファイル名ジェネレーターに渡されます。これらの書式設定要素を変更するたびに、最初の3つのファイル名に基づいて、以下のプレビューで変更によって何が行われるかをすぐに確認できます。

The screenshot shows the 'Optionen' (Options) tab in the BulkPDF Business software. It features a table for defining filename components, a list of formatting elements on the right, and a preview section showing the resulting filenames. The interface is in German and includes various settings for output options like font and signature.

見た目の良いファイル名に加えて、出力ディレクトリも

同じ方法で作成されたすべてのファイルが配置される場所が選択されます。

Copyright © 2021 Julien Bartels

最後のステップは「次へ」をクリックして続きます。

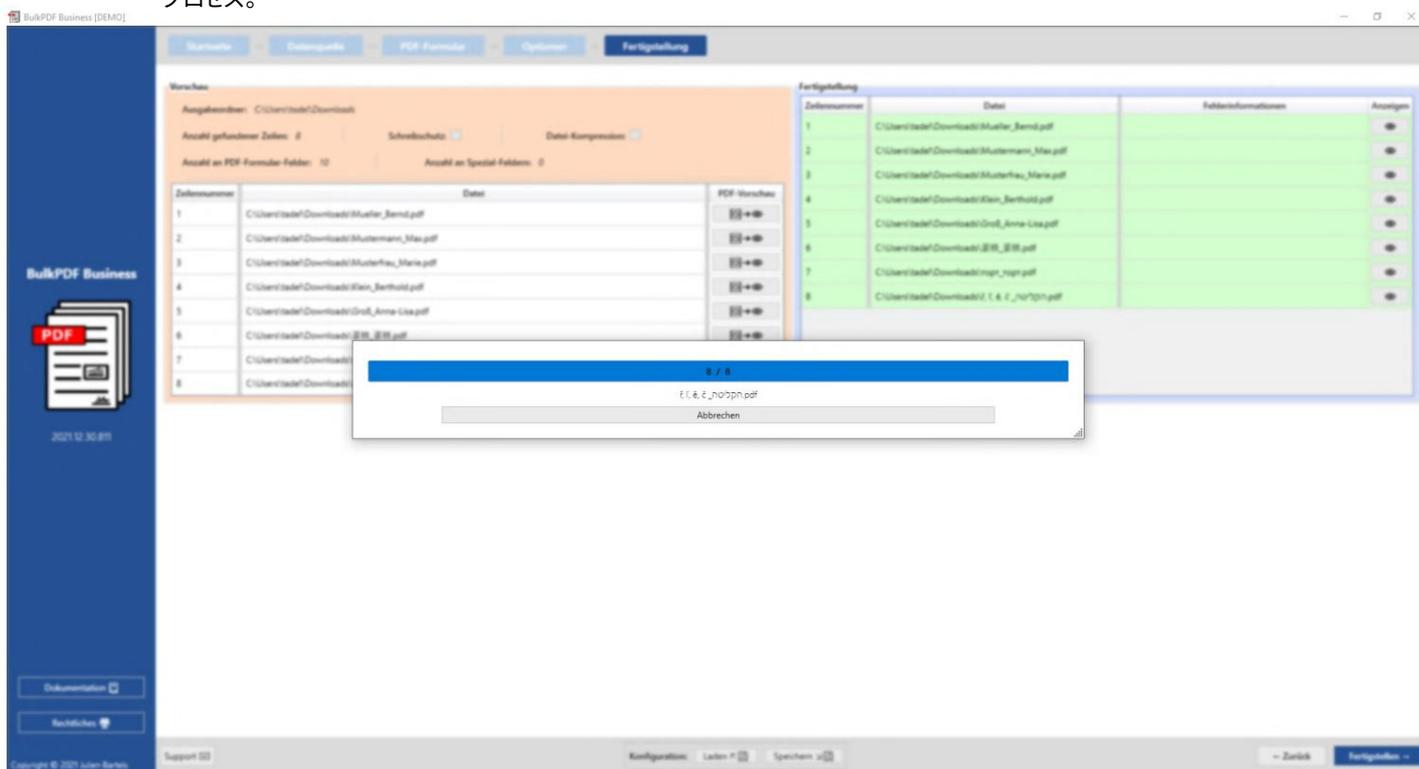
完了このステップ

では設定オプションは提供されなくなり、行われた設定の概要としてのみ機能します。

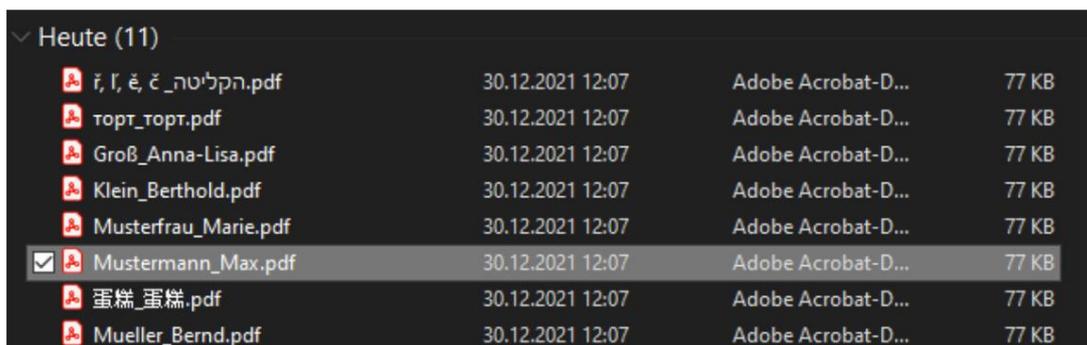
Copyright © 2021 Julien Bartels

右下の「完了」ボタンをクリックすると、充填プロセスが始まります。

プロセス。



すべてのファイルが作成されると、作成されたファイルが含まれる出力フォルダーが自動的に開きます。



作成した設定は最後に保存する必要があります。これにより、後で再度設定することなくすぐにアクセスできるようになります。

3

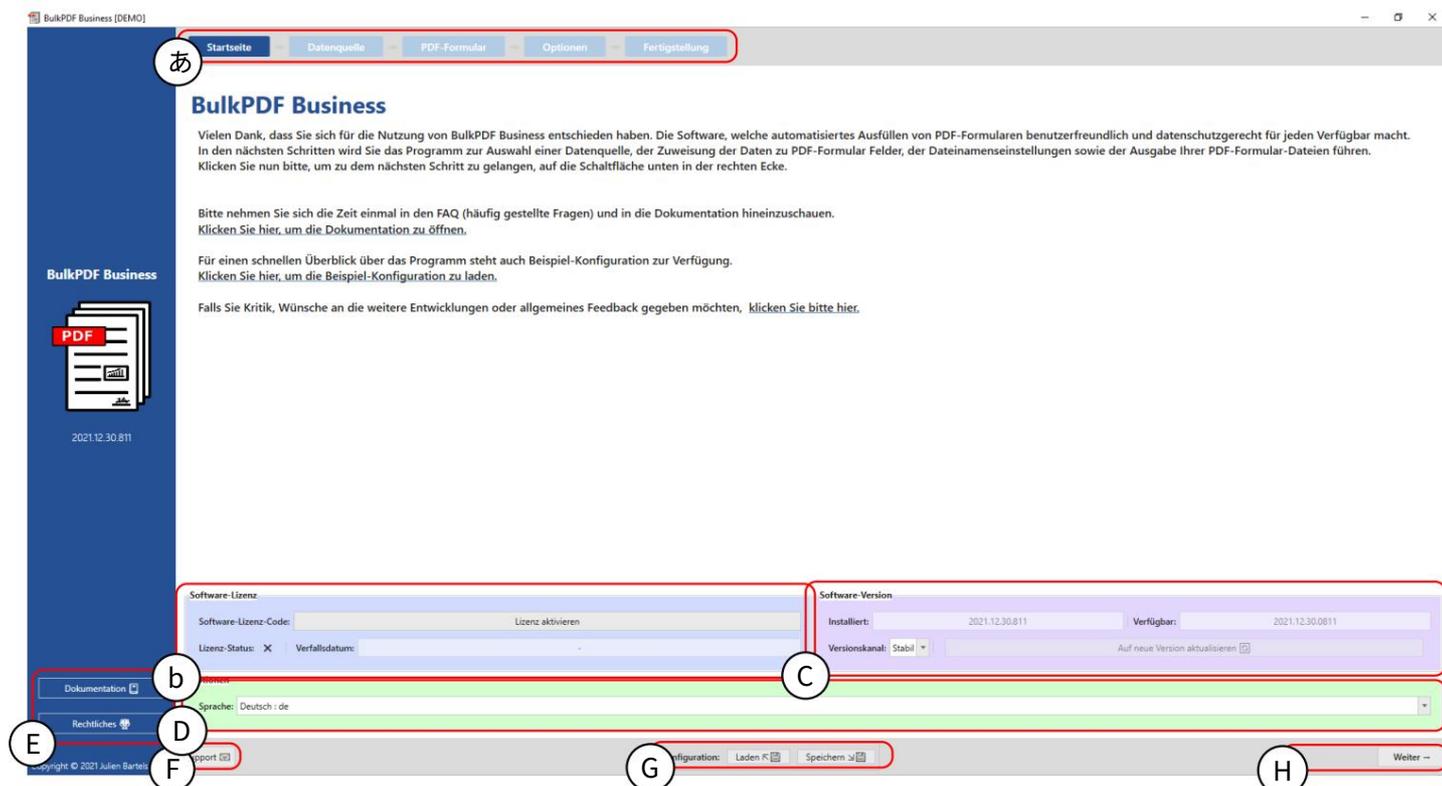
ユーザーインターフェイスの 詳細 (GUI)

以下では、アプリケーションの各ウィンドウのすべての要素について説明します。
この章は、「ステップバイステップ」のアプリケーション ガイドを目的としたものではありません。
ただし、内部の未知または不明瞭な機能の参考資料として
プログラムの。この章では、アプリケーションの機能全般の概要についても説明します。アプリケーシ
ョン自体の使用を開始するには、第2章を参照してください。

3.1 ホームページ

ホームページには、次の基本設定、ソフトウェアライセンスが表示されます。
関連、アップデート機能およびプログラムに関する情報。

3.1.1 概要



ページ タイトル:アプリケーションのすべてのページがこのバーに表示されます。の
 現在アクティブなページは、濃い青色の背景で強調表示されます。
 他のすべてのページは水色の背景で表示されます。(
 バーは、個々の項目をクリックしてクイック ナビゲーションに使用することもできます。
 ページタイトルをクリックします。)

B ライセンス:この要素グループには、ライセンスの現在のステータス、有効期限、ライセンスをアクティブ化するためのボタンが含まれています(「ライセンスをアクティブ化する」を参照)。

3.1.2章を参照)。ライセンスのアクティベーションと検証が成功すると、ライセンスのステータスがチェック マーク付きで表示されます。代わりにクロスの場合
 チェックマークが表示されている場合は、アクティブなライセンスがないか、有効なライセンスがありません。
 の。

C ソフトウェア バージョン:現在インストールされているソフトウェア バージョン、最新のものです。
 利用可能なバージョンとソフトウェアを更新するボタンが表示されます。
 アップデートチャンネルを選択するボタンもあります。で
 現在テストされている最新のバージョンは「安定版」チャンネルにあります。
 最新バージョンは「ベータ」チャンネルにありますが、まだ知られていない可能性があります。
 バグは含まれていますが、最新の機能を提供します。

D オプション:この要素グループは現在、必要なプログラム言語の選択のみを提供します。

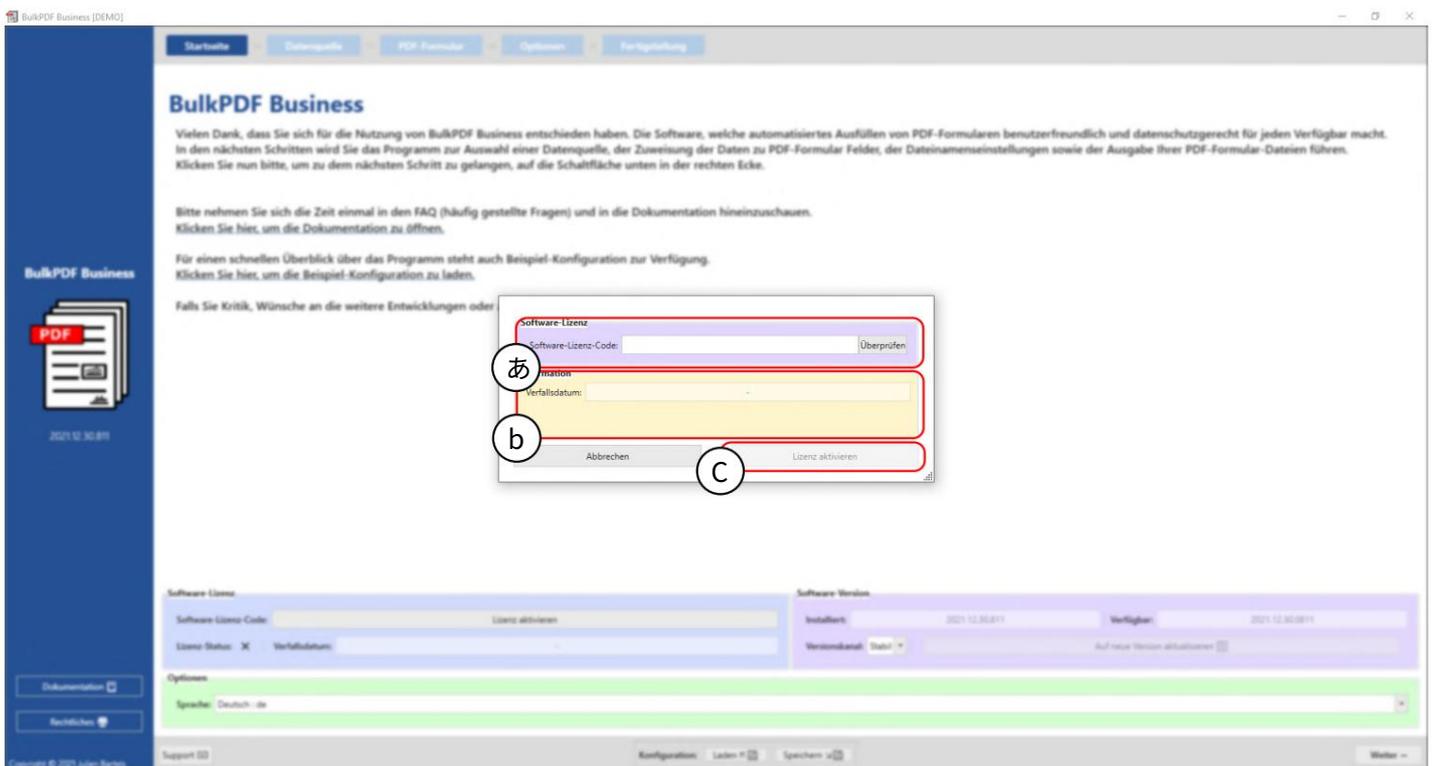
E サイド パネル:ドキュメント ウィンドウ (第3.7.2 章を参照)およびソフトウェア ライセンス テキストなどの法的情報にここからアクセスできます。

F サポート:このボタンからサポート ウィンドウにアクセスできます (3.7.1 章を参照)。

G 構成:要素グループでは、現在の構成 (プログラム セッションの開始以降にロード、設定、および変更されたすべてのもの) を保存したり、既に作成された古い構成を再ロードしたりできます。(詳細については 3.1.3 を参照してください)

H ナビゲーション ボタン:この領域には、プログラム内の 1 つのプログラム ページを前後に移動するためのボタンが含まれています。最後のステップでは、「次へ」ボタンが「完了」になり、最終的に PDF ファイルが作成されます (完了ページ3.5 を参照)。

3.1.2 ライセンスのアクティベーション

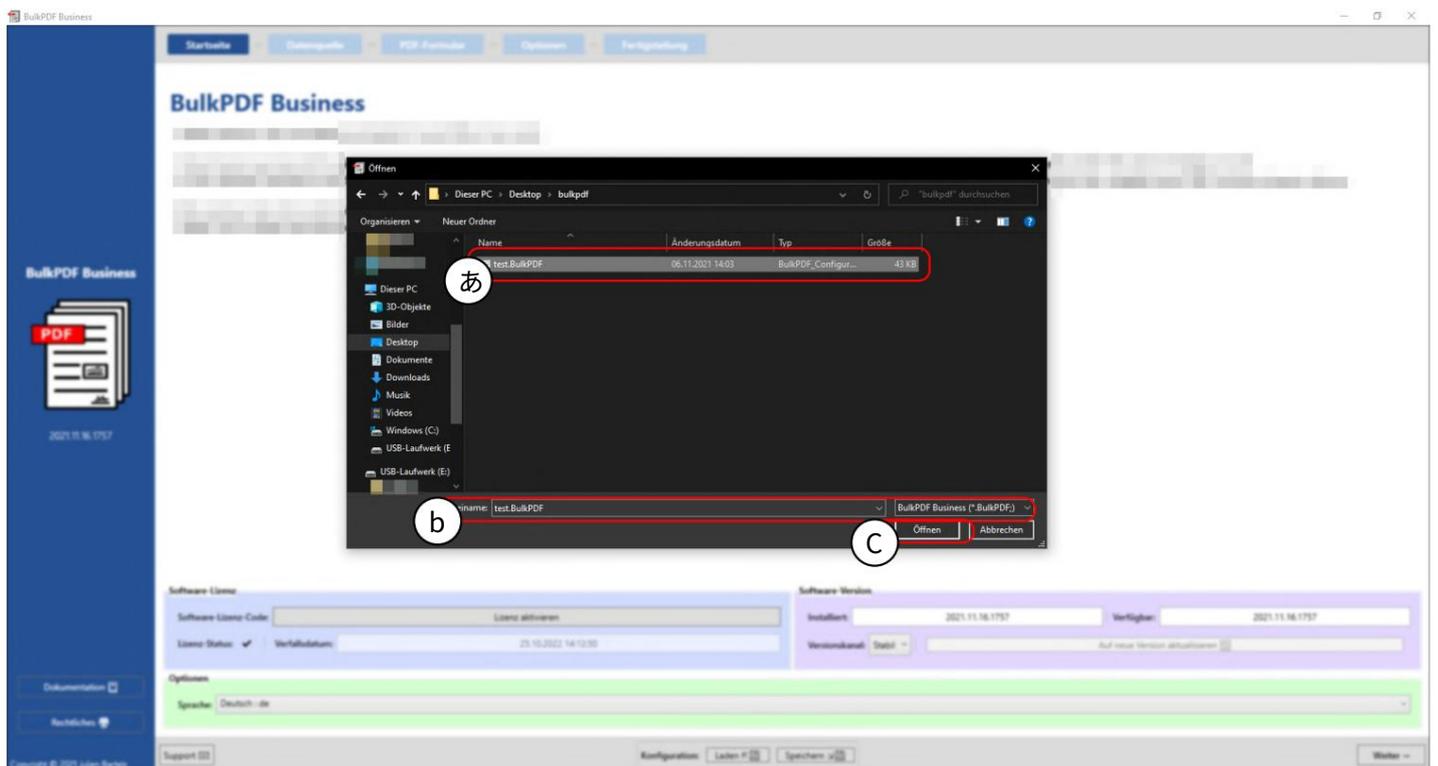


ソフトウェア ライセンス:ソフトウェア ライセンス コードをここに入力します (例: F0-OB-EX-55)。入力後「確認」ボタンを押すと、ライセンスサーバーの有効性の確認とプログラムキーの有効期限が表示されます。

B ライセンス情報: 「確認」ボタンを使用してロードされたプログラム キーに関する情報がここで確認できます。

C ライセンスのアクティブ化:ライセンスが存在し、有効で、有効期限がまだ切れていない場合は、このボタンを押してシステム上に暗号化されたライセンス ファイルを作成できます。これにより、オフラインであっても、プログラム内のすべての有料機能が有効であることが検証されます。使用済み。

3.1.3 設定: 保存とロード



Aすでに保存されている BulkPDF 構成。

B BulkPDF 構成のファイル名とファイル拡張子。

C現在の BulkPDF 構成をここに保存できます。

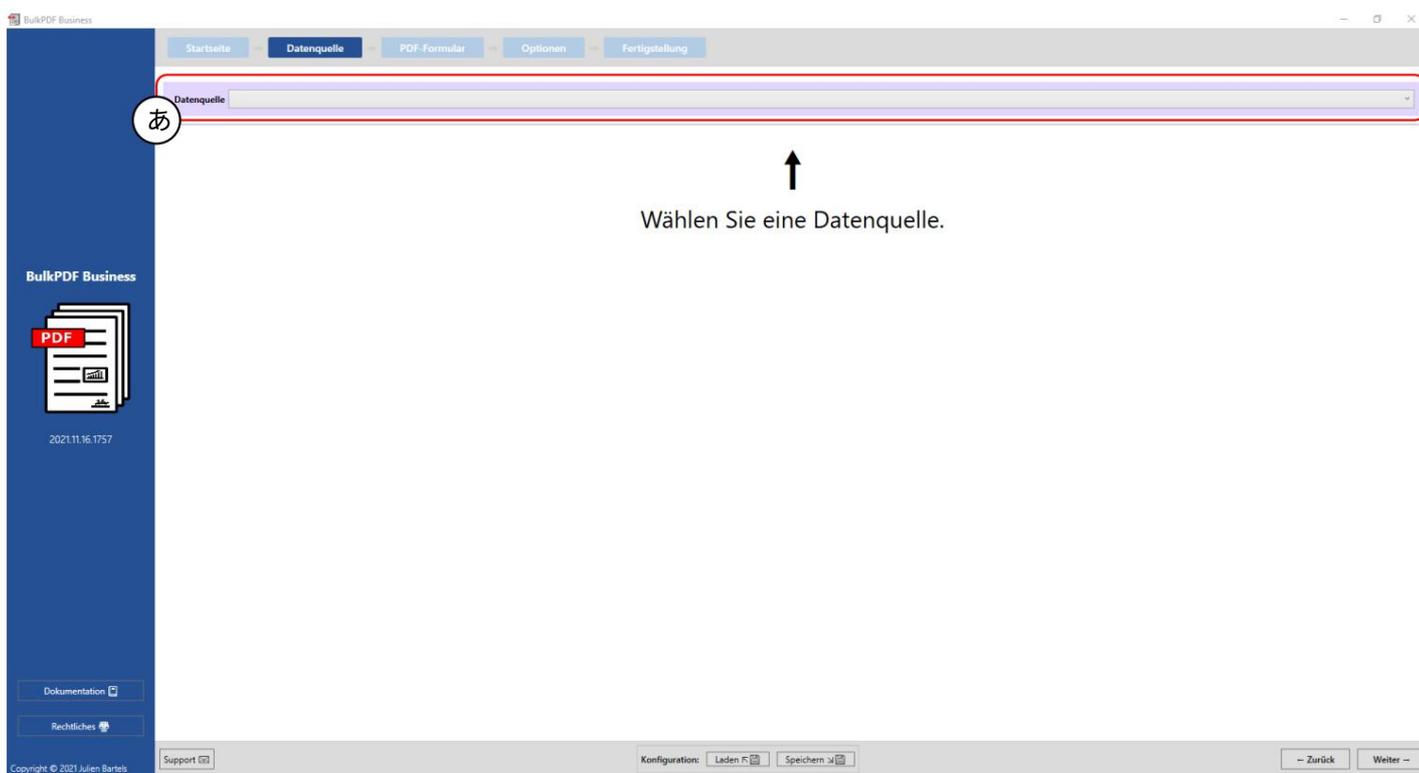
暗号化署名またはデータ接続のパスワードを構成とともに保存する場合、この構成は暗号化して保存する必要があります。この目的のために、構成を保存するときにファイル拡張子「.BulkPDFEncrypted」を選択でき、パスワードを指定した後に暗号化された形式でファイルが作成されます。

「.BulkPDFEncrypted」設定をロードする場合、ロード用のパスワードが再度要求されます。

3.2 データソース

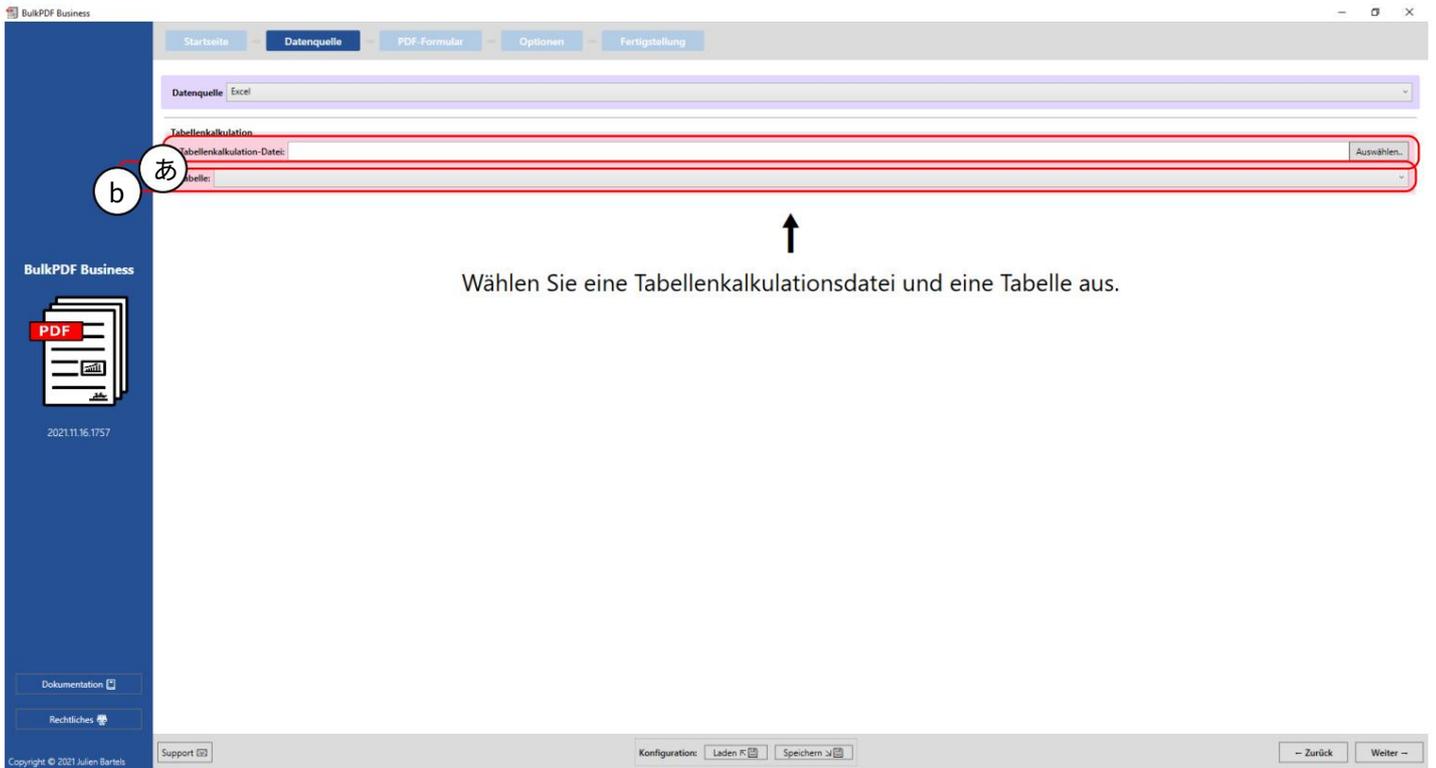
このステップでは、Excel、Microsoft SQL Server などのデータソースを選択するように求められます。各データソースの種類には、考慮する必要がある独自の設定オプションとポイントがあります。このセクションと個々のデータソースタイプについては、以下で説明します。

3.2.1 概要



Aこのボタンを使用すると、Excel、Microsoft SQL Server など、現在サポートされているデータソースタイプの1つを選択できます。

3.2.2 Excel/スプレッドシートファイル

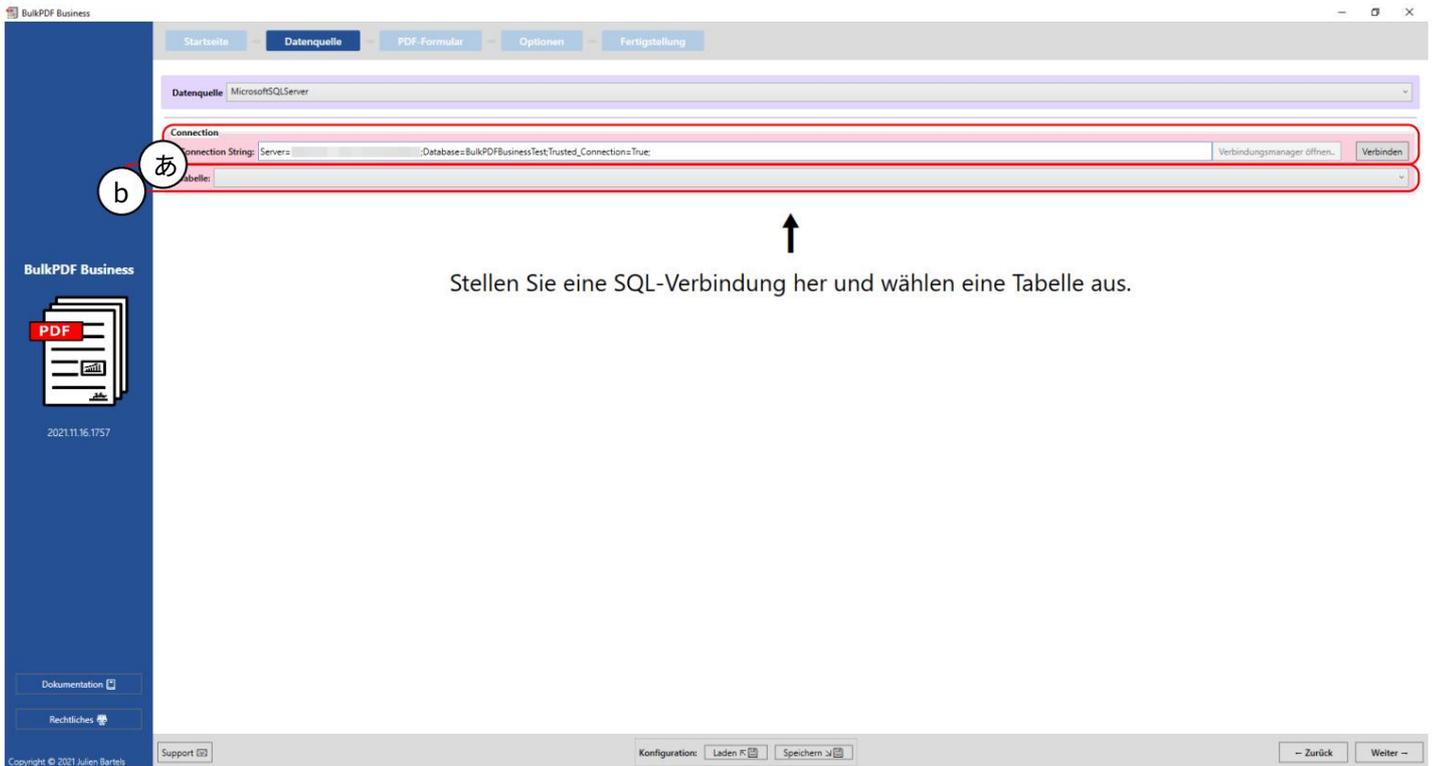


Aこの時点でスプレッドシート ファイルをロードできます。サポートされているファイル形式の詳細については、第1.3.2 章を参照してください。

Bスプレッドシート ファイルに含まれるテーブルの 1 つをここで選択する必要があります。

選ばれる。1 つのテーブルに格納できるのは 1 つのテーブルのデータのみです
表計算ファイルも同時に使用できます。

3.2.3 Microsoft SQL サーバー



↑
Stellen Sie eine SQL-Verbindung her und wählen eine Tabelle aus.

接続文字列:ここでは、「Server=SERVER ADDRESS;Database=BulkPDFBusinessTest;Trusted_Connection=True;」の例の「接続文字列」です。表示されます。このデータソースの場合、選択したデータベースのテーブルのみがリストされるため、「接続文字列」の「データベース」セクションが重要です。
の。

B 「接続文字列」で選択したデータベースからのテーブルの選択。このデータソースを使用するプログラムでは、1つのテーブルのデータのみを同時に使用できます。

The screenshot shows the BulkPDF Business application interface. The main window is titled 'Datenquelle' and displays a preview of data from a Microsoft SQL Server. The data is presented in a table with 6 columns and 8 rows. The columns are labeled as follows: 1: Lastname, 2: Firstname, 3: Adress, 4: CheckboxValue, 5: Radiobutton_value, 6: ComboboxValue. The data rows are as follows:

1: Lastname	2: Firstname	3: Adress	4: CheckboxValue	5: Radiobutton_value	6: ComboboxValue
Mueller	Bernd	Weit-Weit-Weg	Yes	1	Kuchen
Mustermann	Max	Mustermann Straße	No	2	Test
Musterfrau	Marie	Mustermann Straße	Yes	3	Keks
Klein	Berthold	Kleiner Weg			
Groß	Anna-Lisa		No	4	
蛋糕	蛋糕	neue	No	4	
topr	topr	饼干	Yes	3	Keks
1, 1, 1, 1	1, 1, 1, 1	1, 1, 1, 1			

The interface also shows a sidebar with a PDF icon and a top navigation bar with tabs for 'Startseite', 'Datenquelle', 'PDF-Formular', 'Optionen', and 'Fertigstellung'. The status bar at the bottom indicates 'Konfiguration: Laden' and 'Speichern'.

A 「接続文字列」と選択したテーブル「例」が表示されます。

B見つかった行数と列数が要素グループに表示されます。見つかった列のリストも表示されます。これは、データを選択するときの次のステップで概要を示し、ファイルが正しくロードされていることを確認するために使用できます。

C SQL テーブルの認識された最初の 1000 行がこの時点で表示されるため、希望どおりにロードされ、データが認識されたかどうかを確認できます。

3.2.4 Microsoft SQL Server カスタム クエリ

Verbindung

Connection String: Verbindungsmanager öffnen.

SQL Query:

Ausführen

Geben sie eine Connection-String sowie eine SQL-Query und drücken folgend auf "Ausführen".

Hinweise zum Datenquellen-Typ

Für den die Nutzung von Daten von einem Microsoft SQL Server stehen mehrere Varianten zur Datenbeschaffung zur Verfügung.

Zum einen kann die Option gewählt werden, bei der man schlicht einen „Connection-String“ eingibt und dann für die jeweilige Datenbank automatisch alle verfügbaren Tabellen angezeigt werden. Von diesen Tabellen kann dann eine ausgewählt werden, die als Datenquelle fungiert. Für für gültige „Connection-String“-Beispiele schauen Sie sich bitte die Dokumentation an.

Die zweite Option ist die Möglichkeit, neben dem „Connection-String“, schlicht eine SQL-Abfrage einzugeben, die einem die gewünschten Daten ausgibt. Diese Option erlaubt damit die volle Funktionalität von T-SQL auf dem Microsoft SQL Server für die Datenquelle innerhalb von BulkPDF zu nutzen.

Aここでは「接続文字列」を指定します。

B SQL クエリはこの時点で記述されます。

Verbindung

Connection String: Server: ; Database=BulkPDFBusinessTest; Trusted_Connection=True; Verbindungsmanager öffnen.

SQL Query: `SELECT CONCAT(First_name, ' ', Last_name) AS [Fullname] * FROM Example;`

Ausführen

Daten-Vorschau

Anzahl gefundener Zeilen: 8

Anzahl gefundener Spalten: 7

Nutzbare Spalten: Fullname

Tabellenkalkulation-Daten-Vorschau

1: Fullname	2: Lastname	3: Firstname	4: Adress	5: CheckboxValue	6: Radiobutton_value	7: ComboboxValue
Bernd Mueller	Mueller	Bernd	Weit-Weit-Weg	Yes	1	Kuchen
Max Mustermann	Mustermann	Max	Mustermann Straße	No	2	Test
Marie Musterfrau	Musterfrau	Marie	Mustermann Straße	Yes	3	Keks
Berthold Klein	Klein	Berthold	Kleiner Weg			
Anna-Lisa Groß	Groß	Anna-Lisa		No	4	
蛋糕 蛋糕	蛋糕	蛋糕	neuese	No	4	
topr topr	topr	topr	饼干	Yes	3	Keks
f, l, e, d, f, l, e, d	f, l, e, d	f, l, e, d	f, l, e, d			

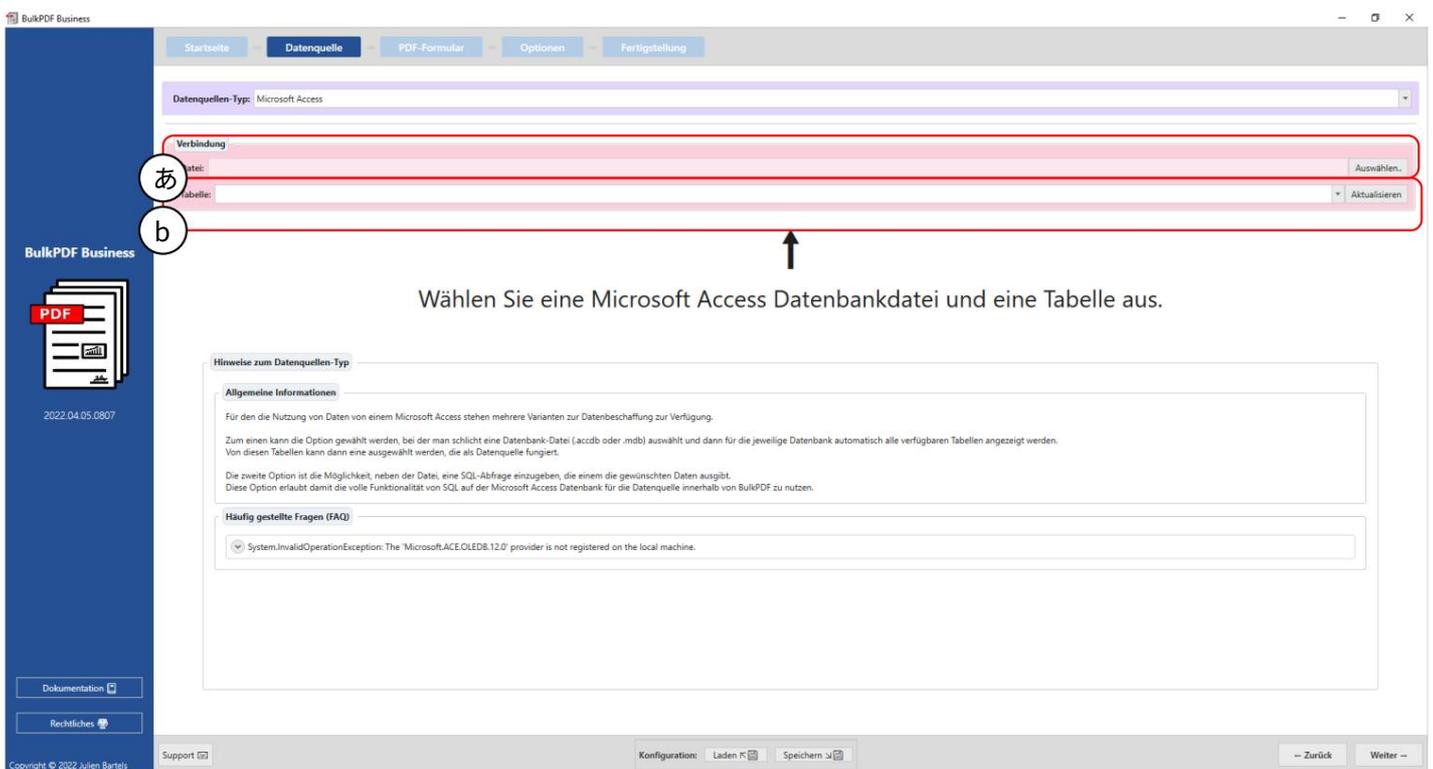
接続文字列:ここでは、「Server=SERVER ADDRESS;Database=BulkPDFBusinessTest;Trusted_Connection=True;」の例の「接続文字列」です。表示されます。このデータソースの場合、選択したデータベースのテーブルのみがリストされるため、「接続文字列」の「データベース」セクションが重要です。

B SQL クエリはここで確認できます。

C見つかった行数と列数が要素グループに表示されます。見つかった列のリストも表示されます。これは、データを選択するときの次のステップで概要を示し、ファイルが正しくロードされていることを確認するために使用できます。

Dファイルが希望どおりにロードされ、データが認識されたかどうかを確認できるように、この時点で SQL クエリの認識された最初の 1000 行が表示されます。

3.2.5 Microsoft Access



Aこの時点で Microsoft Access データベース ファイルをロードできます。

B 選択した Microsoft Access データベース ファイルからのテーブルの選択。

このデータ ソースを使用するプログラムでは、1 つのテーブルのデータのみを同時に使用できます。

Verbindung

Datenquellen-Typ: Microsoft Access

Datei: .MSAccess\Database1.accdb Auswählen...

Tabelle: Tabelle1 (Kundendaten) Aktualisieren

Daten-Vorschau

Anzahl gefundener Zeilen: 8 Anzahl gefundener Spalten: 11

Anzahl Spalten: 11

Tabellenkalkulation-Datei-Vorschau

1: ID	2: Nachname (Textbox)	3: Vorname	4: Straße	5: Hausnummer	6: Postleitzahl	7: Ort	8: Geschlecht (Radio Button / Radiobox)	9: Umweltfreundliche Verpackung (Checkbox)	10: Zugehörige Branche (Listbox)	11: Derzeitige Tätigkeit (Combobox)
1	Mueller	Bernd	Weit-Weit-Weg	23	10178	Berlin	1	1	IT	Angestellter
2	Mustermann	Max	Mustermann Straße	5	80331	München	1	0	Industrial	Ehrenamtlicher
3	Musterfrau	Marie	Mustermann Straße	7	31515	Wunstorf	2	Yes	Cake-Factory	Freelancer
4	Klein	Berthold	Kleiner Weg	3	70173	Stuttgart	3	No	Tax	König von Deutschland
5	Groß	Anna-Lisa	Blumenweg	13	40210	Düsseldorf	3	Ja	Top secret	Ehrenamtlicher
6	蛋糕	蛋糕	饼干	17	34117	Kassel	2	是	Industrial	Ehrenamtlicher
7	торт	печенье	печенье	2	39104	Magdeburg	1	нет	Cake-Factory	Angestellter
8	ի, է, ը, շ	החלקים	ירות	37	24103	אזור	1	si	IT	Angestellter

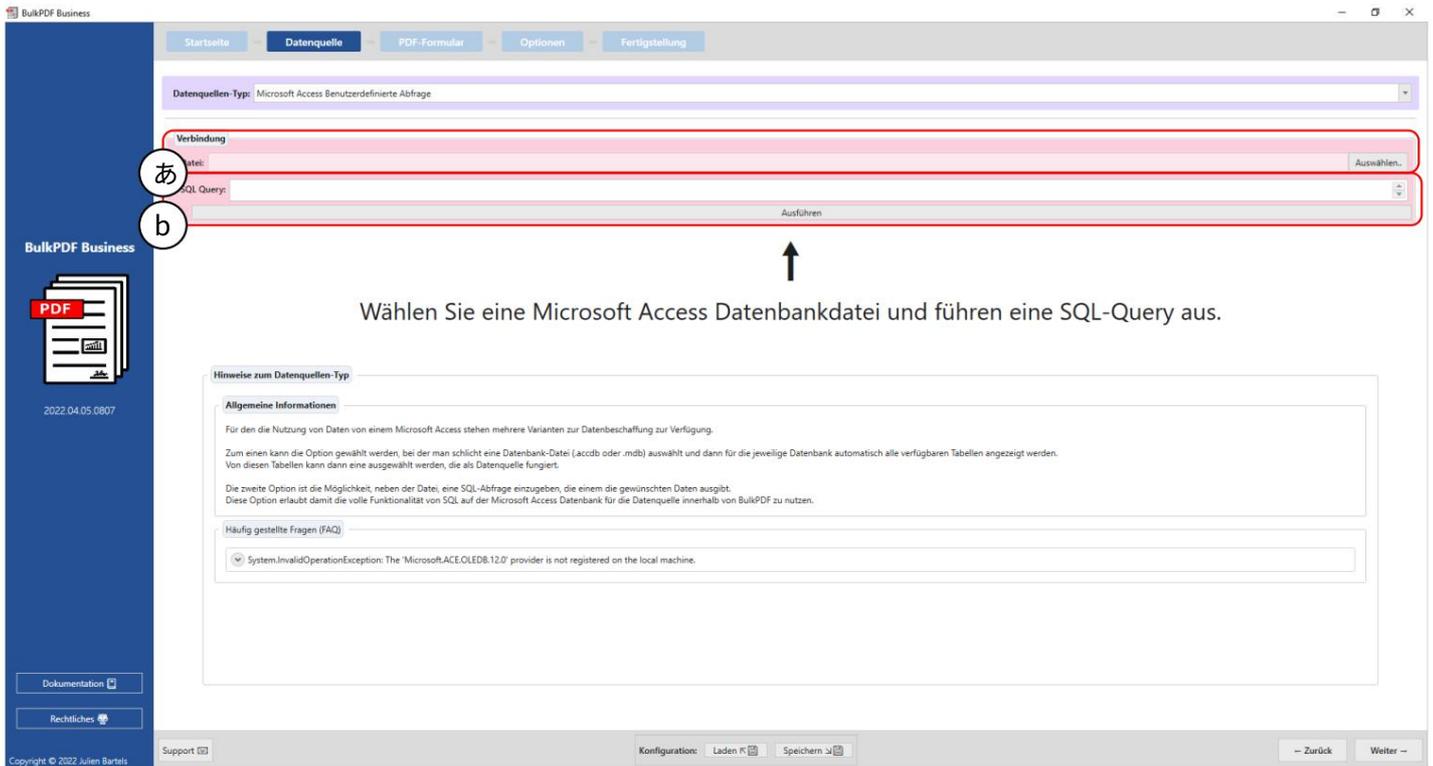
Navigation: Dokumentation, Rechtliches, Support, Konfiguration: Laden, Speichern, Zurück, Weiter

A 選択した Microsoft Access データベース ファイルと選択したテーブル「テーブル1 (顧客データ)」が表示されます。

B 見つかった行数と列数が要素グループに表示されます。見つかった列のリストも表示されます。これは、データを選択するときの次のステップで概要を示し、ファイルが正しくロードされていることを確認するために使用できます。

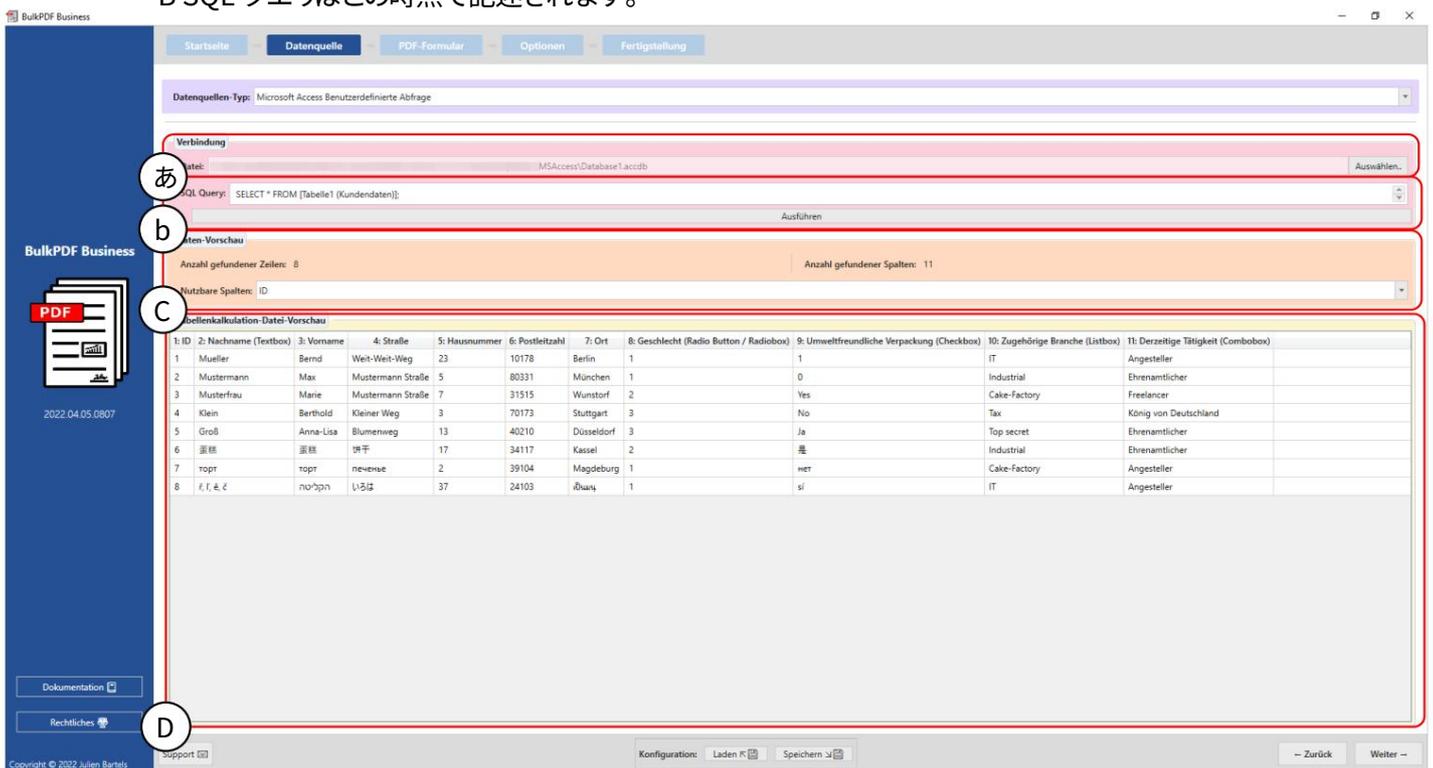
C この時点でテーブルの最初の 1000 行が表示されるので、希望どおりにロードされ、データが認識されたかどうかを確認できます。

3.2.6 Microsoft Access カスタム クエリ



Aこの時点で Microsoft Access データベース ファイルをロードできます。

B SQL クエリはこの時点で記述されます。



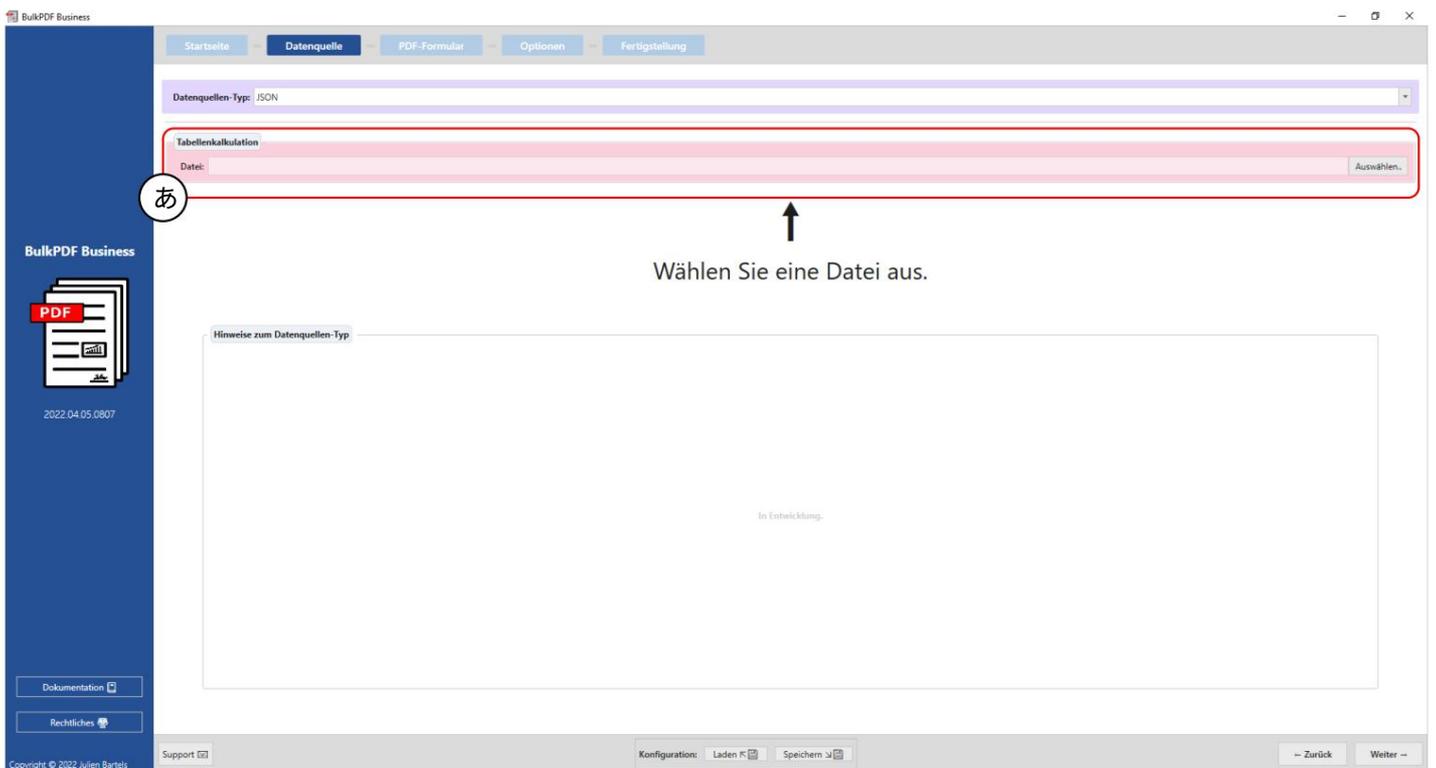
A 選択した Microsoft Access データベース ファイルが表示されます。

B SQL クエリはここで確認できます。

C 見つかった行数と列数が要素グループに表示されます。見つかった列のリストも表示されます。これは、データを選択するときの次のステップで概要を示し、ファイルが正しくロードされていることを確認するために使用できます。

D この時点で、ファイルが希望どおりにロードされたかどうか、およびデータがロードされたかどうかを確認できるように、SQL クエリの認識された最初の 1000 行が表示されます。
認識されました。

3.2.7 JSON



A この時点で JSON ファイルをロードできます。

Startseite Datenquelle PDF-Formular Optionen Fertigstellung

Datenquellen-Typ: JSON

Tabellenkalkulation

Datei: .../JSON/DocExample.json Auswählen...

Anzahl gefundener Zeilen: 8 Anzahl gefundener Spalten: 6 Änderungsdatum: 05.04.2022 13:06:43

Nutzbare Spalten: Last_name

Tabellenkalkulation-Datei-Vorschau

1: Lastname	2: Firstname	3: Address	4: CheckboxValue	5: Radiobutton_value	6: ComboboxValue
Mueller	Bernd	Weit-Weit-Weg	Yes	2	Kuchen
Mustermann	Max	Mustermann Straße	No	1	Test
Musterfrau	Marie	Mustermann Straße	Yes	3	Keks
Klein	Berthold	Kleiner Weg			
Groß	Anna-Lisa		No	4	
蛋糕	蛋糕	neverse	No	4	
toprt	toprt	饼干	Yes	3	Keks
£, £, £	£, £, £	£, £, £			

Dokumentation Rechtliches

Copyright © 2022 Julien Bartels

Konfiguration: Laden Speichern Zurück Weiter

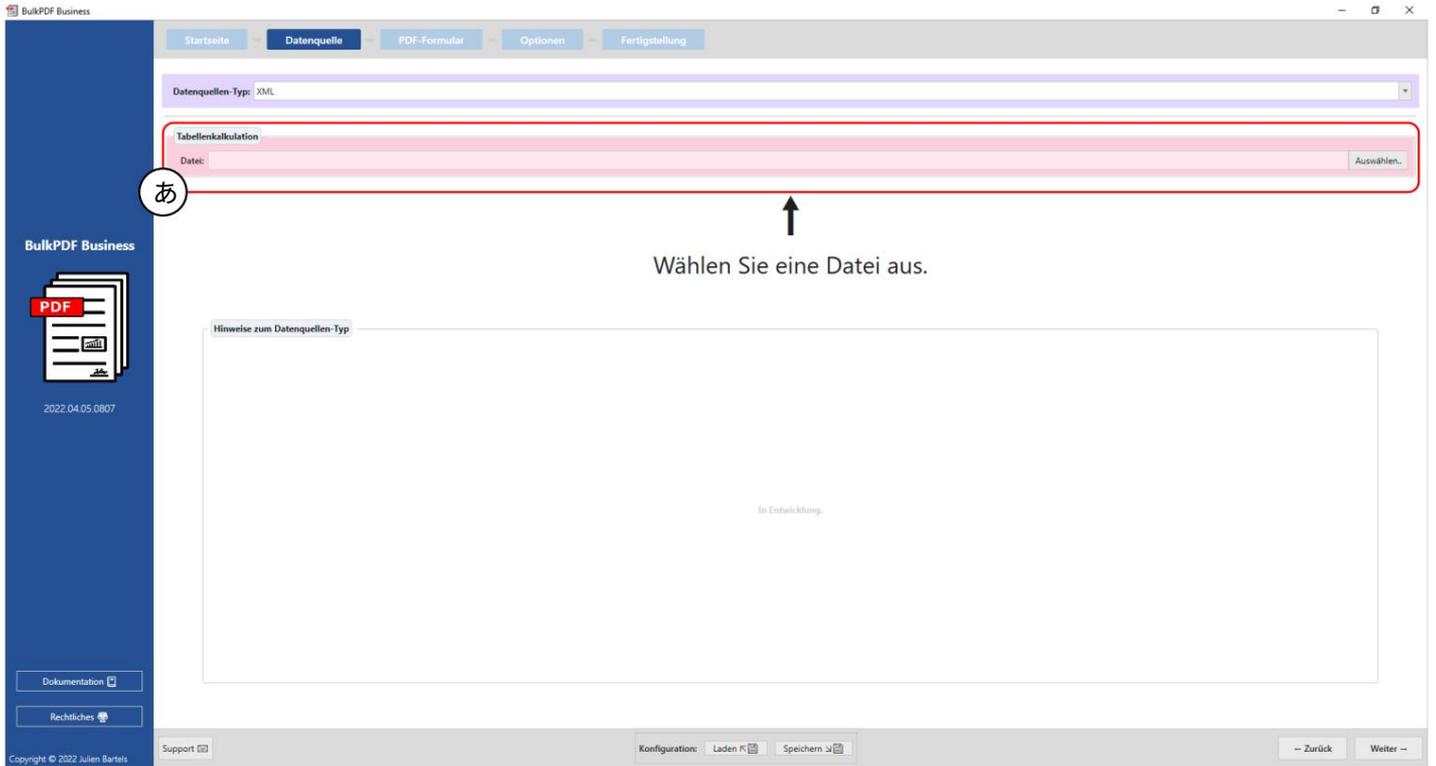
ファイル: 選択した JSON ファイルが表示されます。

B データプレビュー: 見つかった行数と列数が要素グループに表示されます。見つかった列のリストも表示されます。これは、データを選択するときの次のステップで概要を示し、ファイルが正しくロードされていることを確認するために使用できます。

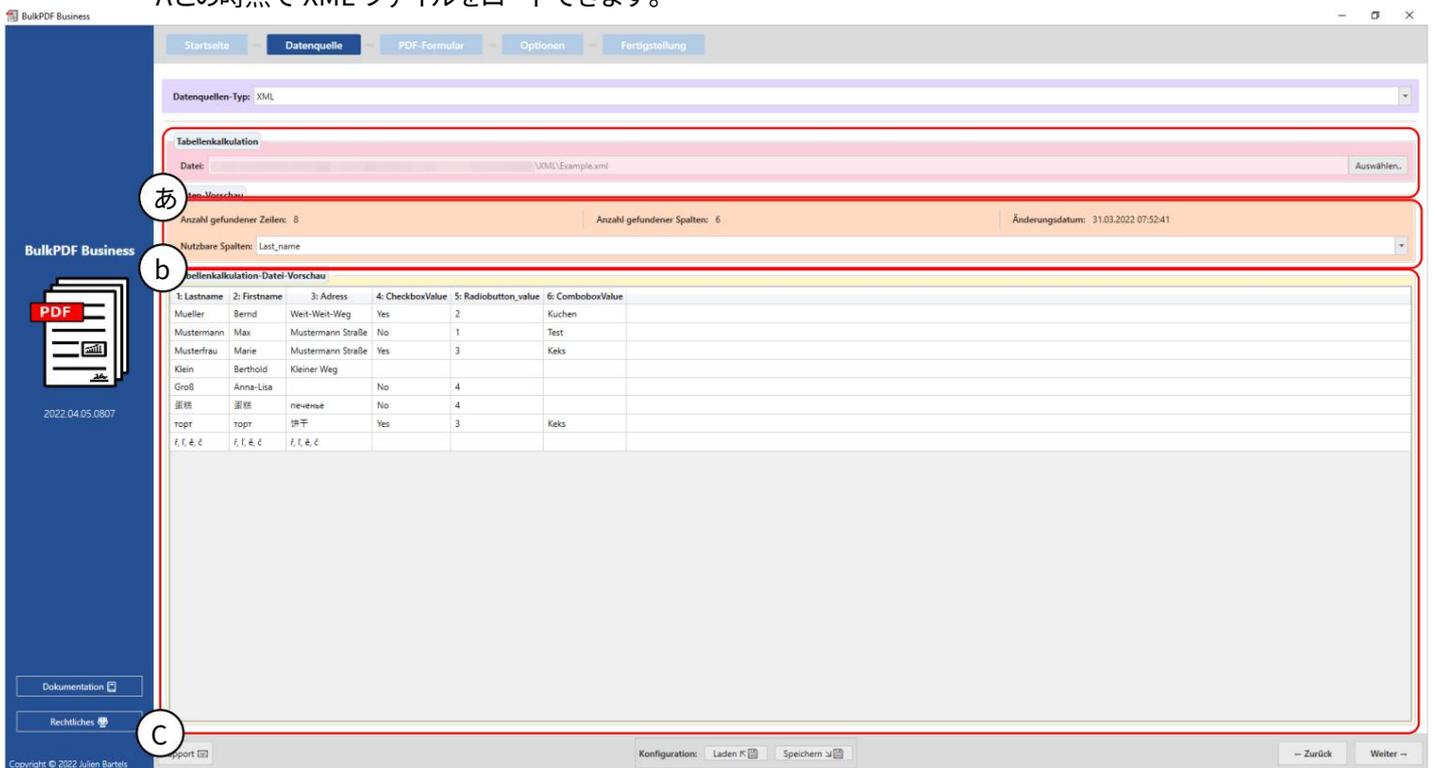
C データ プレビュー: この時点で、認識された最初の 1000 行が表示されます。

ファイルが表示され、ファイルが意図したとおりにロードされ、データが認識されたかどうかを確認します。

3.2.8 XML



Aこの時点で XML ファイルをロードできます。



ファイル: 選択した XML ファイルが表示されます。

B データプレビュー:見つかった要素の数が要素グループに表示されます

見つかった行と列が表示されます。見つかったリストもあります

データを選択するときの次のステップで概要を示し、ファイルが正しくロードされていることを確認するために使用できる列が表示されます。

C データ プレビュー:この時点で、認識された最初の 1000 行が表示されます。

ファイルが表示され、ファイルが希望どおりにロードされたかどうかを確認します
そしてデータは認識されました。

3.2.9 スプレッドシート / Excel (列と行を入れ替え)

このデータ ソース タイプは、通常の「スプレッドシート」と同様に動作します。
/ Excel」データ ソース タイプ (セクション3.2.2 を参照)との違いはありますが、
列と行をロードすると交換されます。この動作では、たとえば、
次の構造を持つスプレッドシート ファイルをロードする必要があります。

名前ベルント	マックス	メアリー	...
姓 :ミューラー	ムスターマン	モデルの女性	...
住所	はるか遠く Doe Doe ストリート Doe Doe ストリート...		
...

3.2.10 MySQL/MariaDB サーバー

Stellen Sie eine SQL-Verbindung her und wählen eine Tabelle aus.

Hinweise zum Datenquellen-Typ

Für die Verwendung von Daten aus einem MySQL- oder MariaDB-Server stehen mehrere Varianten zum Datenabruf zur Verfügung.

Zum einen kann die Option gewählt werden, bei der man einfach einen "Connection String" eingibt und dann automatisch alle verfügbaren Tabellen der jeweiligen Datenbank angezeigt werden. Aus diesen Tabellen kann dann eine ausgewählt werden, die als Datenquelle fungieren soll. Beispiele für gültige Verbindungsstrings finden Sie in der Dokumentation.

Die zweite Option ist die Möglichkeit, neben dem Verbindungsstring einfach eine SQL-Abfrage einzugeben, die die gewünschten Daten zurückgibt. Mit dieser Option können Sie die volle Funktionalität von SQL auf dem Server für die Datenquelle in BulkPDF nutzen.

接続文字列:この時点では、例の「接続文字列」です。

,サーバー=サーバーアドレス;データベース=BulkPDFBusinessTest;ユーザーID=myユーザー名;/パスワード=myPass
見える。「接続文字列」の「データベース」セクションは、指定されたデータベースのテーブルのみがリストされる
ため、特に重要です。

B「接続文字列」で指定したテーブルからテーブルを選択します。

代わりにデータベースを使用します。このデータ ソース内で同時に使用できるのは、1 つのテーブルのデータのみで
あることに注意してください。

Verbindung

Connection String: Server=localhost;Database=BulkPDFBusinessTest;User ID=root;Password=

Verbinden

Daten-Vorschau

Anzahl gefundener Zeilen: 8

Anzahl gefundener Spalten: 6

fundene nutzbare Spalten: Last_name

1: Lastname	2: Firstname	3: Address	4: CheckboxValue	5: Radiobutton_value	6: ComboboxValue
Mueller	Bernd	Weit-Weit-Weg	Yes	1	Kuchen
Mustermann	Max	Mustermann Straße	No	2	Test
Musterrfrau	Marie	Mustermann Straße	Yes	3	Keks
Klein	Berthold	Kleiner Weg			
Groß	Anna-Lisa		No	4	
蛋糕	蛋糕	ne-ense	No	4	
topr	topr	饼干	Yes	3	Keks
え、え、え	え、え、え	え、え、え			

Dokumentation

Rechtliche Hinweise

Copyright © 2023

Tadelsucht UG (haftungsbeschränkt)

Konfiguration: Laden Speichern

Zurück Weiter

A入力した「接続文字列」と選択した「例」テーブルがここに表示されます。

Bこの領域には、識別された行と列の数が表示されます。認識された列のリストも提供され、次のデータ選択ステップ
で使用できます。

Cこのセクションには、SQL テーブルの最初の 1000 行が表示されます。
これにより、テーブルが正しくロードされたかどうかを確認できます。
データは適切に認識されました。

3.2.11 MySQL/MariaDB サーバーのカスタムクエリ

Verbindung

Connection String: Server=localhost;Database=BulkPDFBusinessTest;User ID=root;Password=

SQL Query: SELECT * FROM example|

Ausführen

Geben sie eine Connection-String sowie eine SQL-Query und drücken folgend auf "Ausführen".

Hinweise zum Datenquellen-Typ

Für die Verwendung von Daten aus einem MySQL- oder MariaDB-Server stehen mehrere Varianten zum Datenabruf zur Verfügung.

Zum einen kann die Option gewählt werden, bei der man einfach einen "Connection String" eingibt und dann automatisch alle verfügbaren Tabellen der jeweiligen Datenbank angezeigt werden. Aus diesen Tabellen kann dann eine ausgewählt werden, die als Datenquelle fungieren soll. Beispiele für gültige Verbindungsstrings finden Sie in der Dokumentation.

Die zweite Option ist die Möglichkeit, neben dem Verbindungsstring einfach eine SQL-Abfrage einzugeben, die die gewünschten Daten zurückgibt. Mit dieser Option können Sie die volle Funktionalität von SQL auf dem Server für die Datenquelle in BulkPDF nutzen.

A 「接続文字列」を入力します。

B SQL クエリはこの時点で作成されます。

Verbindung

Connection String: Server=localhost;Database=BulkPDFBusinessTest;User ID=root;Password=

SQL Query: SELECT * FROM example|

Ausführen

Daten-Vorschau

Anzahl gefundener Zeilen: 8

Anzahl gefundener Spalten: 6

Gefundene nutzbare Spalten: Last_name

Tabelleinkalkulation-Daten-Vorschau

1: Lastname	2: Firstname	3: Address	4: CheckboxValue	5: Radiobutton_value	6: ComboboxValue
Mueller	Bernd	Weit-Weit-Weg	Yes	1	Kuchen
Mustermann	Max	Mustermann Straße	No	2	Text
Musterfrau	Marie	Mustermann Straße	Yes	3	Keks
Klein	Berthold	Kleiner Weg			
Groß	Anna-Lisa		No	4	
蛋糕	蛋糕	ne-verse	No	4	
topr	饼干		Yes	3	Keks
f, f, é, é	f, f, é, é	f, f, é, é			

接続文字列:この時点で、「接続文字列」は、Server=SERVER ADDRESS;Database=BulkPDFBusinessTest;User

Id=myUsername;Password=myPass の例で表示できます。このデータ ソースの場合、選択したデータベースのテーブルのみがリストされるため、「接続文字列」の「データベース」セクションが重要です。

B定式化された SQL クエリはここで確認できます。

Cこのセクションには、見つかった行数と列数が表示されます。認識された列のリストも表示され、後続のデータ選択手順で使用できます。

D SQL クエリの最初の 1000 行がこの領域に表示されます。

これは、クエリが意図したとおりに読み込まれたことを確認するためです。

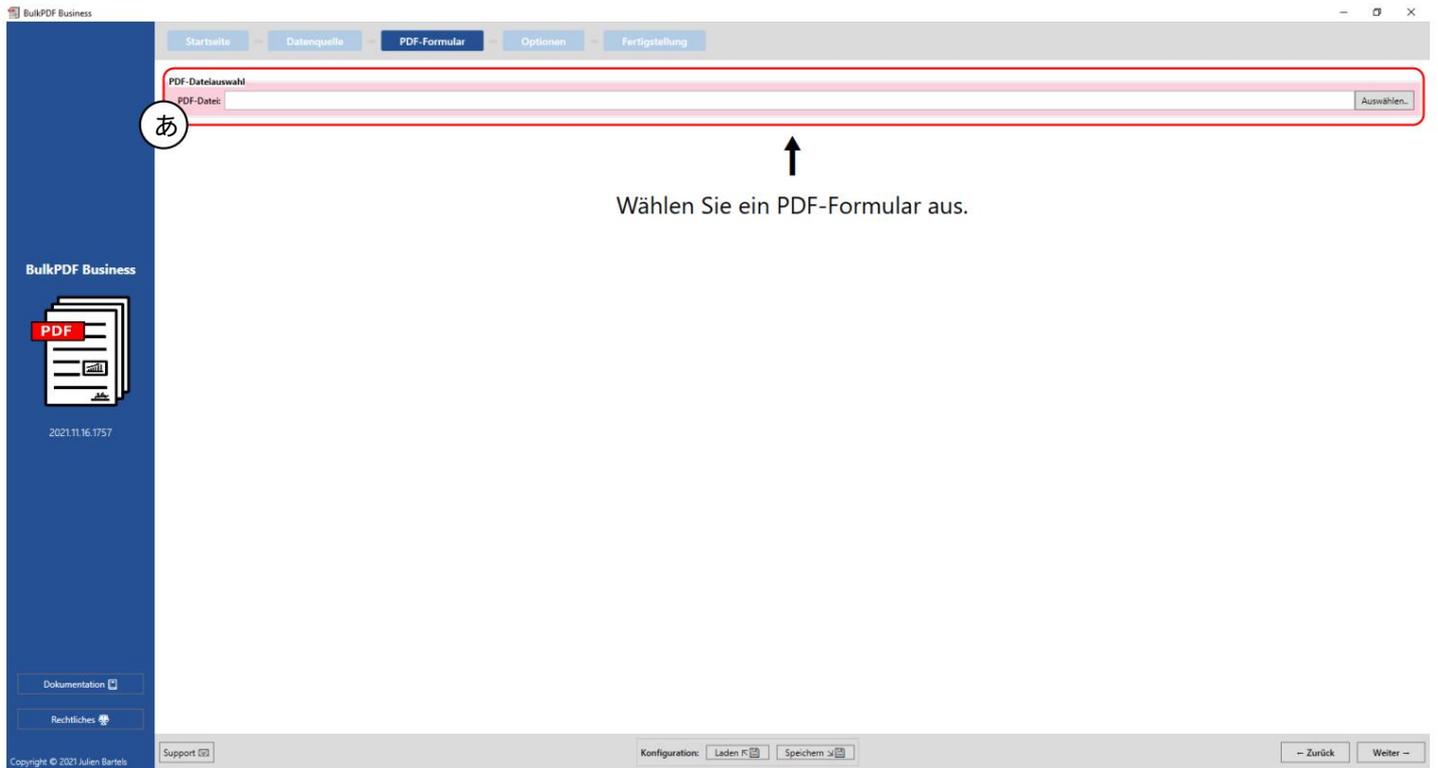
データは正しく識別されました。

3.3 PDFフォーム

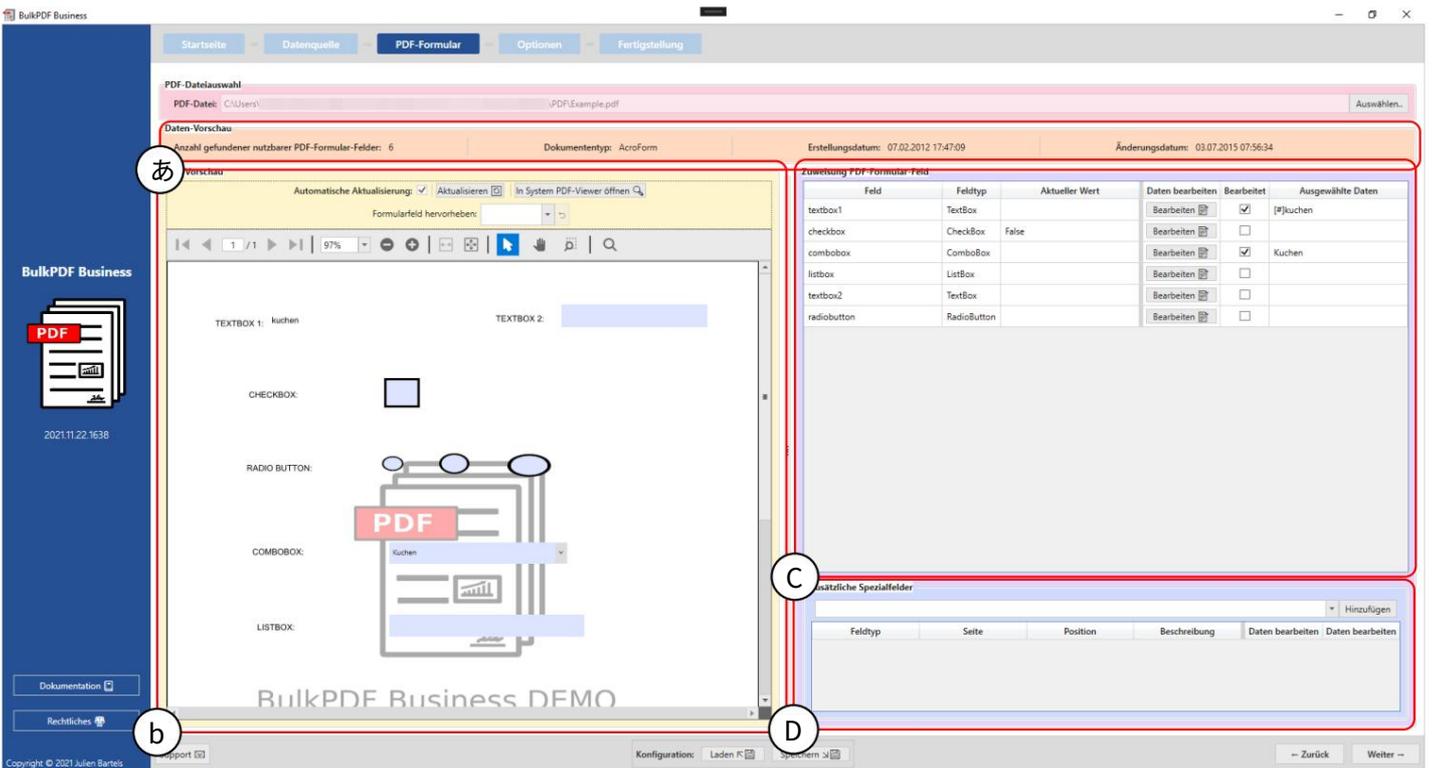
このステップでは、データ ソースのデータが PDF フォームのフィールドに割り当てられます。これは、データ ソースの最初の行のデータを含む PDF のライブ プレビューによってサポートされます。さらに、QR コード、バーコード、ハイパーリンク、画像などの特別なフィールドを PDF ドキュメントに追加できます。

の。

3.3.1 概要



PDF ファイルの選択:この要素グループでは、記入する PDF フォームを選択できます。



Aこの要素グループには、「見つかった使用可能な PDF フォーム フィールドの数」、文書タイプまたは文書形式 (AcroForm または XFA)、作成日、および変更日が表示されます。作成日と変更日は、特定できる場合にのみ表示されます。

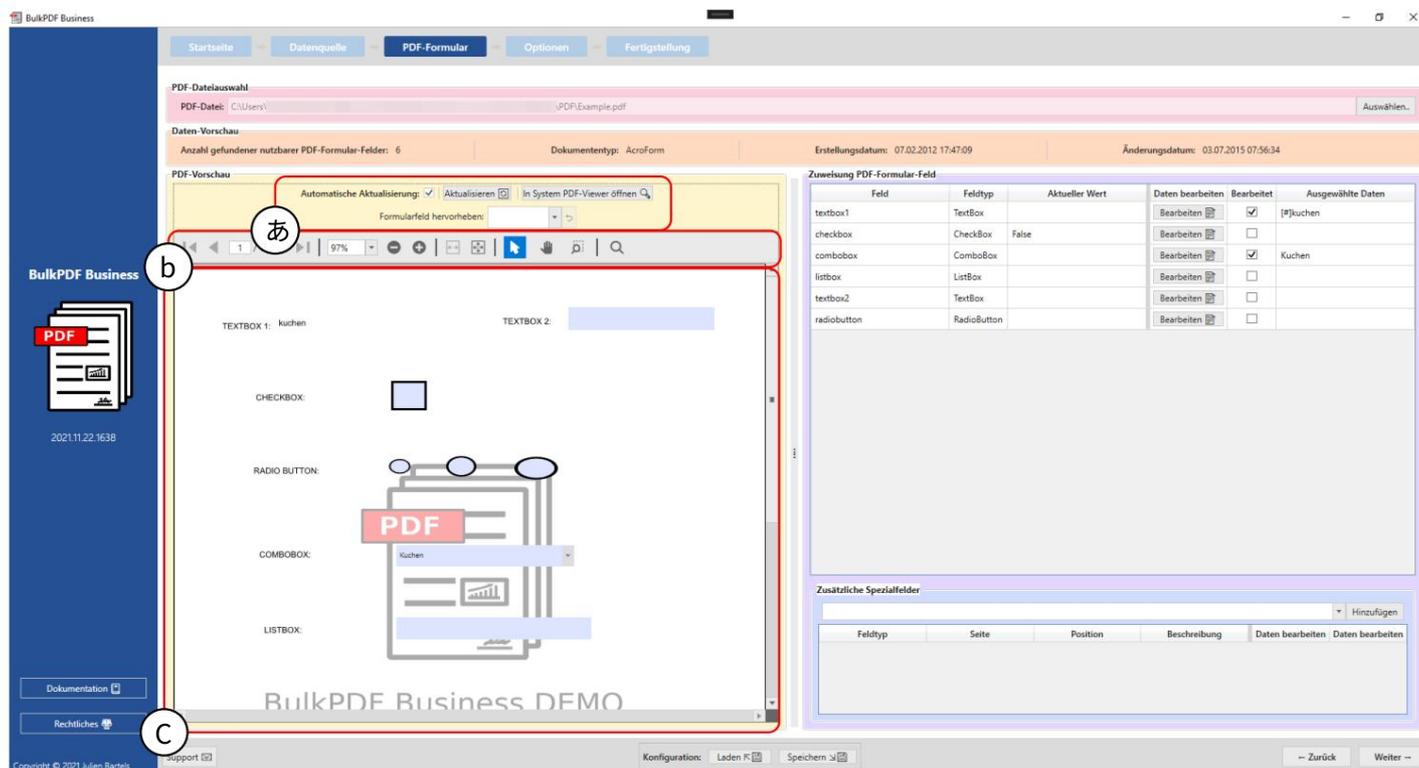
B PDF プレビュー:要素のグループには PDF フォームのプレビューが含まれています。PDF へのデータの割り当てに対する変更は、最初の変更とともにここに反映されます。作成されたデータをより深く理解できるように表示されるデータ ソースの行変更を取得します。同様に、PDF フォームの作成者によって適切に名前が付けられていない可能性があるフォーム フィールドを強調表示するために、「機能」グループ不可解な名前の背後にどのフィールドが隠されているかがわかります。(PDF プレビューの詳細については、[セクション3.3.2](#) を参照してください。)

C PDF フォーム フィールドの割り当て: PDF フォームにあるすべてのフォーム フィールドがこの表にリストされています。順序は、作成者がフォームフィールドを最後に編集した順序によって異なります。

ほとんどの場合、PDF 自体のフィールドの垂直順序と同じになります。に相当しますが、常にそうである必要はありません。個別の回線を使用することもできます。フィールドのデータ割り当ては変更できます。(詳細については、[を参照してください](#))この要素グループについては、[セクション3.3.3](#) を参照してください。)

D 追加の特殊フィールド:この要素グループには、次のような特殊フィールドがあります。バーコード、ハイパーリンク、画像などをドキュメントに追加できます。どうやってドキュメントにすでに含まれているフォームフィールドについても可能です。データ ソースから追加された特殊フィールドにデータを動的に割り当てます。(詳細については、[セクション 3.3.14](#) を参照してください。)

3.3.2 PDF プレビュー



Aこの時点で、PDF プレビューの自動更新を有効にすることができます。データ割り当ての変更は、次の理由により必要に応じて無効になります。コンピューターの電源が必要なようです。手動で更新することもできます。プレビューまたはプレビュー PDF は、Windows に保存されている標準 PDF ビューア プログラムで開くことができます (標準 PDF ビューア プログラムの変更については、セクション7.11 を参照してください)。要素グループには、フォームフィールドの名前を選択する機能も提供されます。

フィールドを色で強調表示します。この機能は、作成者が次の場合に特に便利です。PDF フォームのフォーム フィールドには明確な名前が付けられておらず、たとえば「顧客住所」の代わりに「テキスト フィールド 1」などの名前のみが指定されていました。

Bここには、次のような PDF プレビューの機能があります。B. ズーム、検索等

Cここにプレビュー PDF 自体が配置されます。このプレビューに対する変更はすべてここにあります。これらは一時的なもので、次回プレビューが更新されるときに破棄されます。本当にプレビューを保存したい場合は、次のようにして保存できます。

「システム PDF ビューアで開く」ボタンをクリックします。オペレーティング システムに保存されている標準の PDF ビューア プログラムによっては、PDF プレビューをシステムに永続的に保存できます。

3.3.3 PDF フォームフィールドへのデータの割り当て

フィールド: フォームフィールドの名前がこの列に表示されます。

B フィールド タイプ: この列には、個々のフォーム フィールドのフィールド タイプが表示されます。

例: テキストフィールド、チェックボックス、ラジオボタン、コンボボックス、リストボックスなど。

C 現在の値: フォームフィールドの現在の内容が表示されない場合は表示されます。

処理はBulkPDF Businessによって実行されます。

D データの編集: このボタンを使用すると、個別の設定にアクセスできます。

さまざまなフォームフィールドおよびその別のフィールドのウィンドウ

種類。

E 編集済み: BulkPDF Business のデータ割り当てがフォーム フィールドに対して編集されているかどうかを示します。

F 選択されたデータ: この列は割り当てられたデータを表します。

データ。

書き込み保護 この列は、フィールドに書き込み保護が適用されているかどうかを示します。

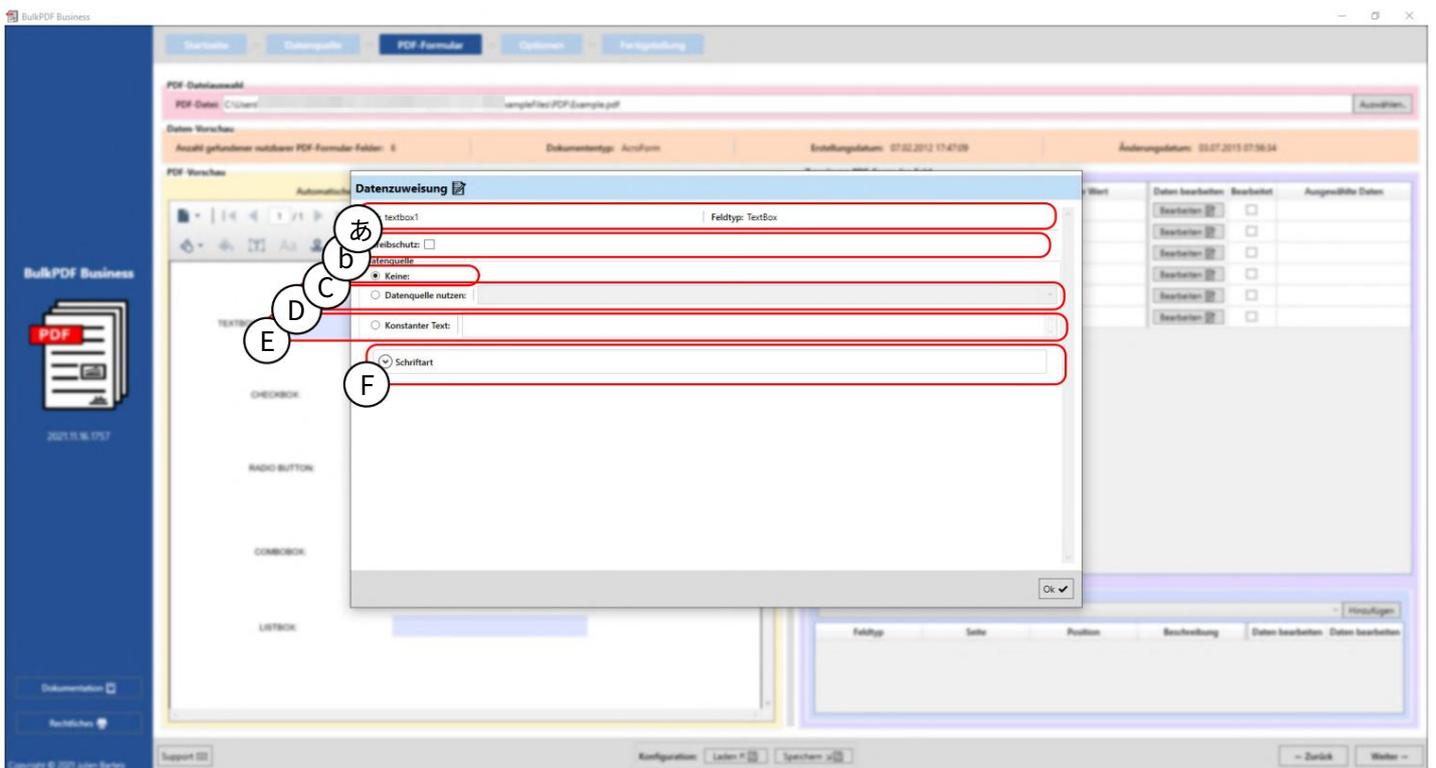
フィールドデータの自動割り当て通常の割り当てテーブルの下に、「フィールドデータの自動割り当て」ボタンがあります。このボタンは、データソースの適切な列をフィールドに自動的に割り当てます。これは、フォームフィールドの名前とデータソースの個々の列名の間にある文字数を比較します。次に、差が最も小さい列名が採用されます。許容される最大差異は、ボタンの横にある「割り当ての最大名前差異」テキストフィールドで設定できます。デフォルト値は「2」です。これは、たとえば、「Customer」を「Custom」にするために必要な変更は2つだけであるため、「Customer」フィールドには「Custom」列が割り当てられることを意味します。これらの変更では、文末の「r」が削除され、「e」が「a」に置き換えられます。(必要に応じて、<https://de.wikipedia.org/wiki/Levenshtein-Distanz>を参照してください)

ユーザーからの実践的なヒント:

標準値2は機能しましたが、どのフィールドが自動的に認識されなかったのかを確認するには、1と0も試してください。

フィールドリストの最後に進んでください。

3.3.4 テキストボックスと一般フィールドのデータ選択



A フォームのフィールド名とフィールドの種類（テキストフィールド、チェックボックス、ラジオボタン、コンボボックス、リストボックスなど）が表示されます。

B 書き込み保護:このボックスを使用して、数式の書き込み保護を設定できます。

フィールドをアクティブにすることができます。処理後の結果はこのフィールドになります
BulkPDF Business では編集できなくなりました。データはBulkPDFです

したがって、フィールドに書き込まれた内容は変更不可能な方法で固定されます。(例として
詳細については[セクション3.3.7](#)を参照してください)。

C データ割り当てなし:このオプションを使用すると、フォーム フィールドはすでに持っているコンテンツを保持します。

D データ ソースの使用:このオプションを使用すると、データ ソースから列を使用できます。

選ばれる。その後、フィールドにこの列の値が続きます。

満たされました。(詳細については、[セクション 3.3.5](#)を参照してください)。

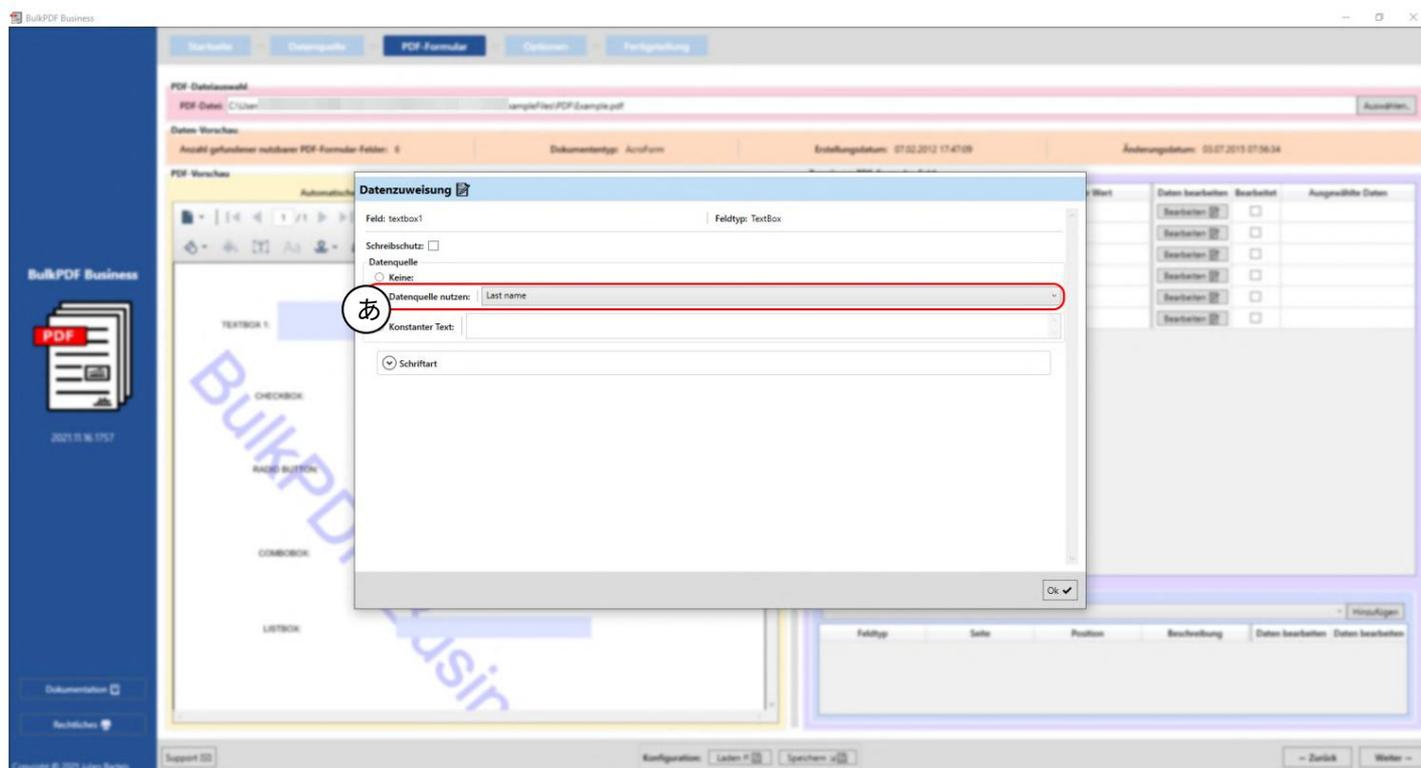
E 定数テキスト:このオプションを使用すると、フォーム フィールドに定数テキストを入力できます。これは、完成したすべての PDF ドキュメントで同じです。

(詳細については、[セクション 3.3.6](#)を参照してください)。

F フォント:フォームフィールドのフォントをここに入力できます (「

[セクション3.7.4](#)を参照してください)。

3.3.5 フォームフィールドにデータソースを使用する



ここでは、ユーザーが現在フィールド「textbox1」の編集ウィンドウにいて、データソースがこれに使用されていることがわかります (A を参照)。

データソース列「姓」がデータソースとして選択されています。これは、フィールドにこの列のデータが入力されていることを意味します。

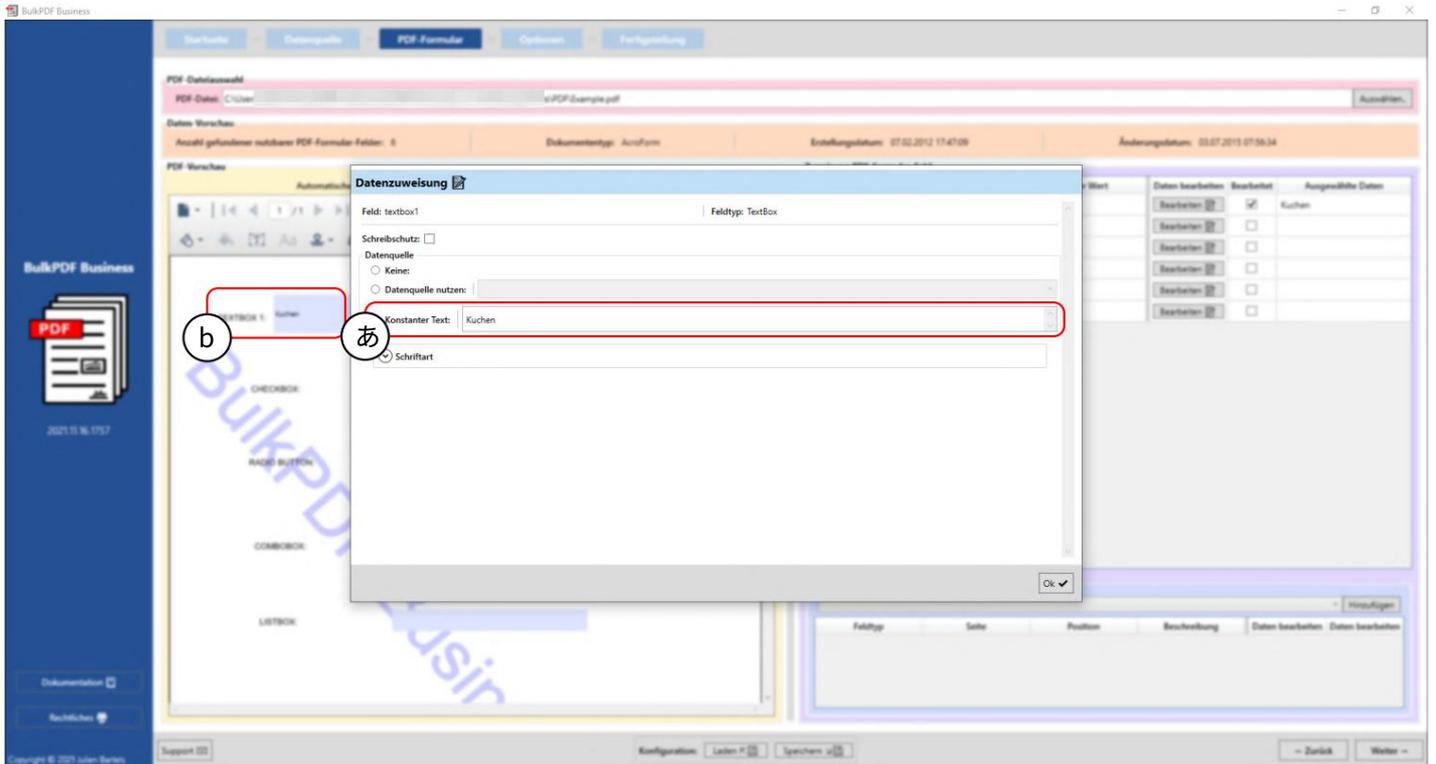
The screenshot shows the BulkPDF Business interface. On the left is a sidebar with a PDF icon and the text 'BulkPDF Business'. The main area is divided into a preview window and a configuration panel. The preview window shows a PDF form with fields: TEXTBOX 1 (containing 'Mueller'), TEXTBOX 2, CHECKBOX, RADIO BUTTON, COMBOBOX, and LISTBOX. A red circle 'a' is around the 'TEXTBOX 1' field. The configuration panel on the right has a table 'Zuweisung PDF-Formular-Feld' with columns: Feld, Feldtyp, Aktueller Wert, Daten bearbeiten, Bearbeitet, and Ausgewählte Daten. The first row is highlighted with a red circle 'b' and contains: 'box1', 'TextBox', 'Last name', 'Bearbeiten', 'checked', and 'Last name'.

Feld	Feldtyp	Aktueller Wert	Daten bearbeiten	Bearbeitet	Ausgewählte Daten
box1	TextBox	Last name	Bearbeiten	<input checked="" type="checkbox"/>	Last name
box	CheckBox	False	Bearbeiten	<input type="checkbox"/>	
combobox	ComboBox		Bearbeiten	<input type="checkbox"/>	
listbox	ListBox		Bearbeiten	<input type="checkbox"/>	
textbox2	TextBox		Bearbeiten	<input type="checkbox"/>	
radiobutton	RadioButton		Bearbeiten	<input type="checkbox"/>	

編集ウィンドウを閉じると、PDF プレビューが自動的に更新され、変更された構成のデータ ソースの最初の行のデータを含む完成した PDF フォームが表示されます。これは、Aでマークされているのがわかります。「姓」列の最初の行の値または内容がフォームフィールド「textbox1」に入力されました。この場合は「Mueller」です。

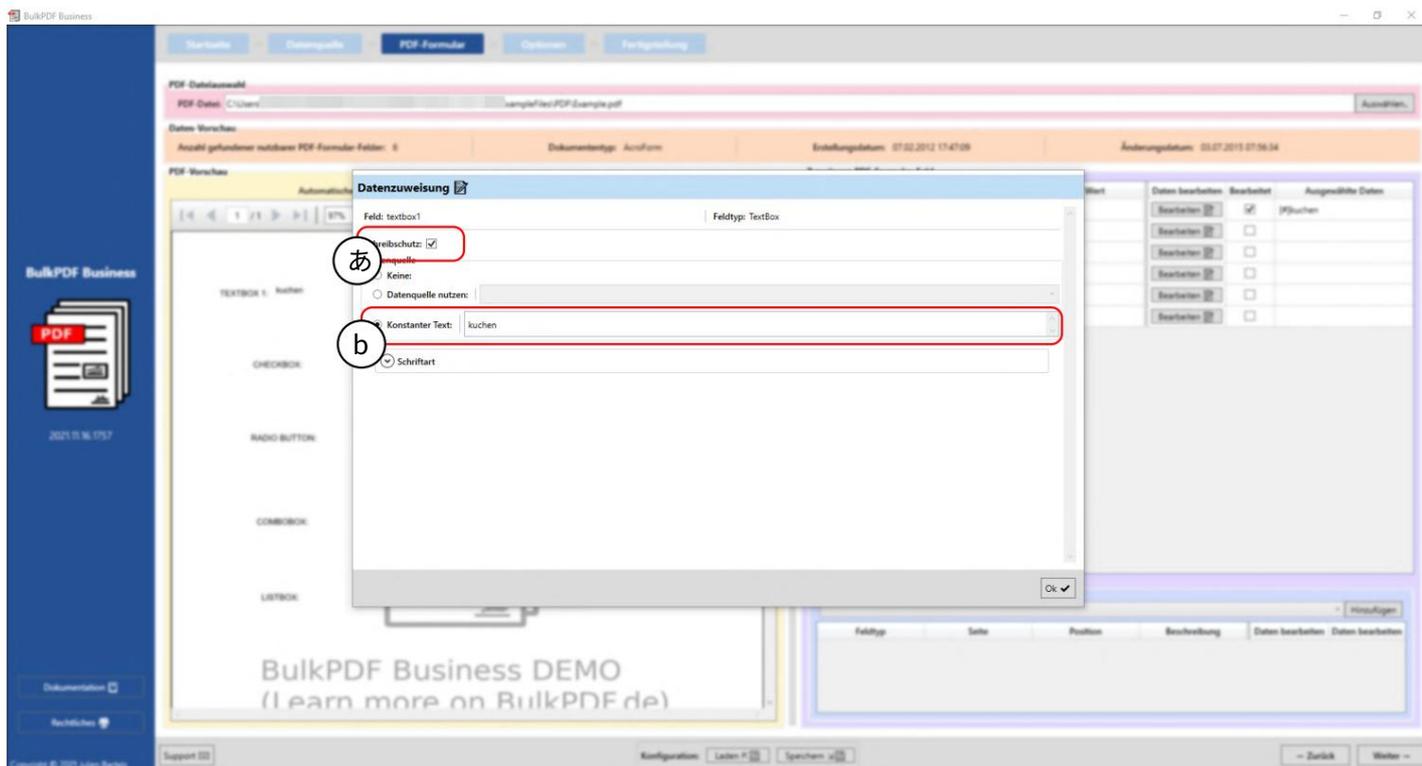
BulkPDF Business でフォーム フィールドが手動で編集されたという事実はBにも見られます。ここでは「編集済み」列がマークされ、選択されたデータの表現が表示されます。

3.3.6 フォームフィールドの定数テキストを設定する

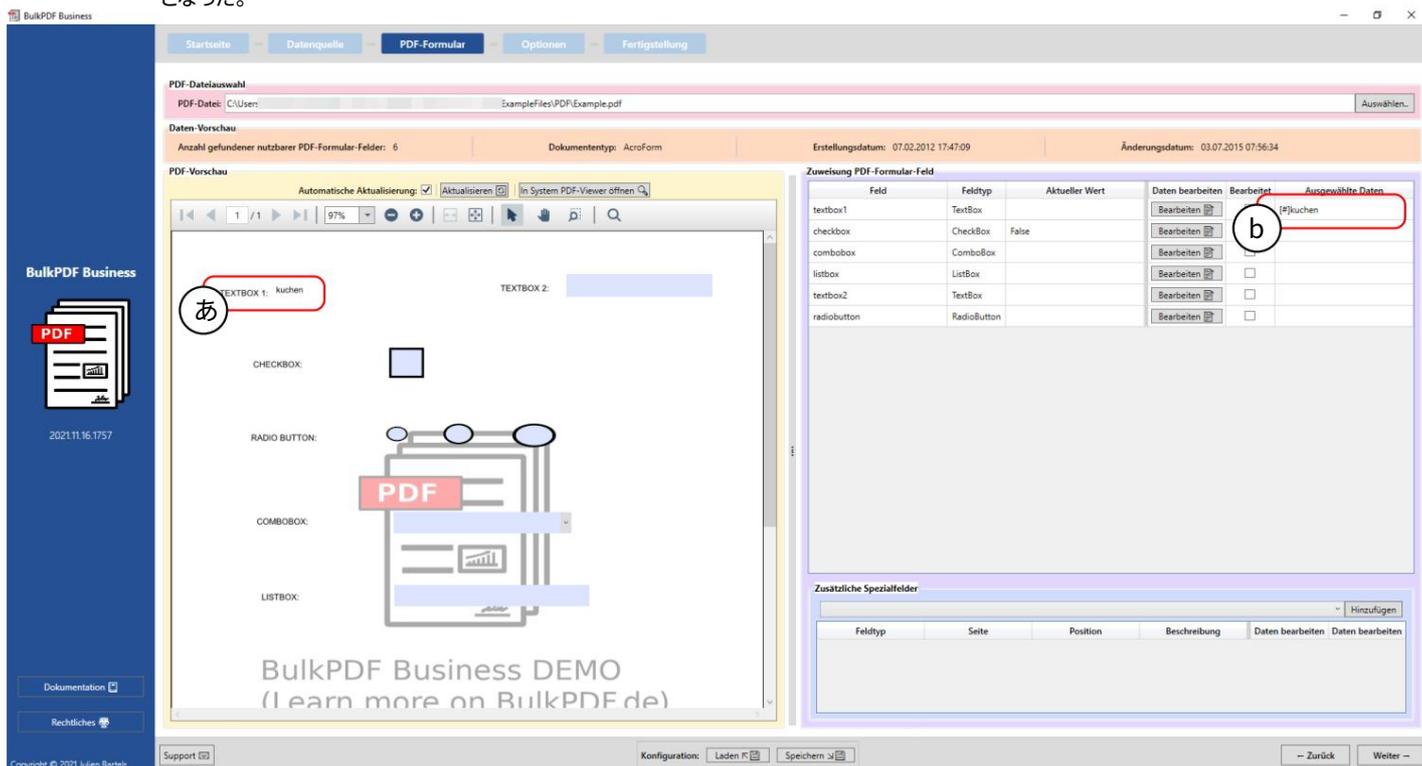


この定数は「データソースの使用」(セクション3.3.5を参照)と同じように動作しますが、データソースに関係なく、フォームフィールドに入力される内容がすべてのドキュメントで同じである点が異なります。これはAで確認できます。フォームフィールド「textbox1」に値「Cake」が入力されています。定数値は背景のBのフィールドにすでに表示されています。

3.3.7 個々のフォームフィールドの書き込み保護



この例では、書き込み禁止ボックス(A)にチェックが設定され、フォーム フィールド「textbox1」に書き込み禁止が選択されていることがわかります。Bでは、定数テキスト「cake」がデータに設定されていることがわかります。となった。



Aここでは、「textbox1」フォームフィールドが編集できなくなり、フィールドの内容が固定テキスト「cake」になっていることがわかります。

B選択したデータを表すとき、「ケーキ」という定常テキストが表示されます。

3.3.8 フォームフィールドの日付フォーマット

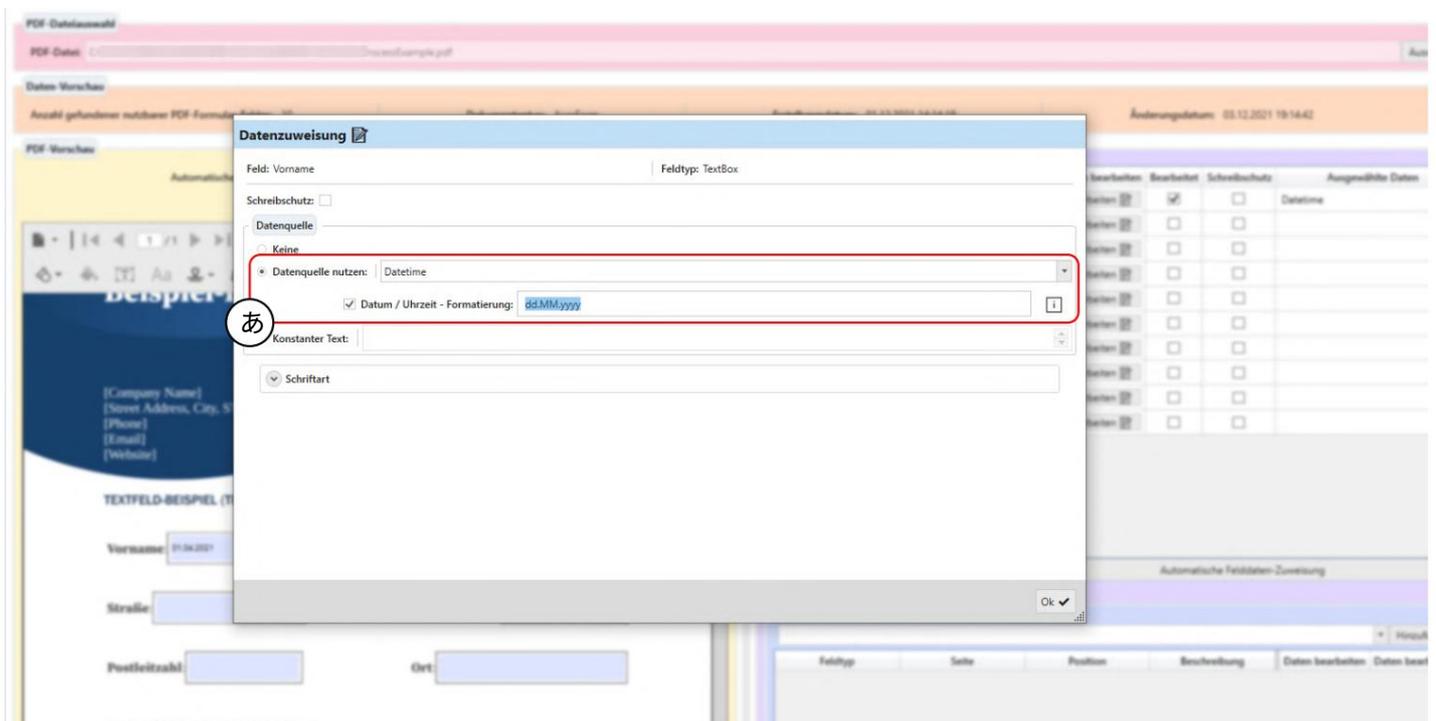
フォームフィールドでの日付の書式設定を説明するために、短い例を以下に示します。

The screenshot shows a configuration interface for a data source. It includes sections for 'Datenquellen-Typ', 'Tabellenkalkulation', 'Daten-Vorschau', and 'Tabellenkalkulation-Datei-Vorschau'. The 'Tabellenkalkulation-Datei-Vorschau' section contains a table with the following data:

1: Datetime
01.04.2021 00:00:00
15.01.2022 15:04:07
15.06.2009 13:45:30
2009-06-15T13:45:30

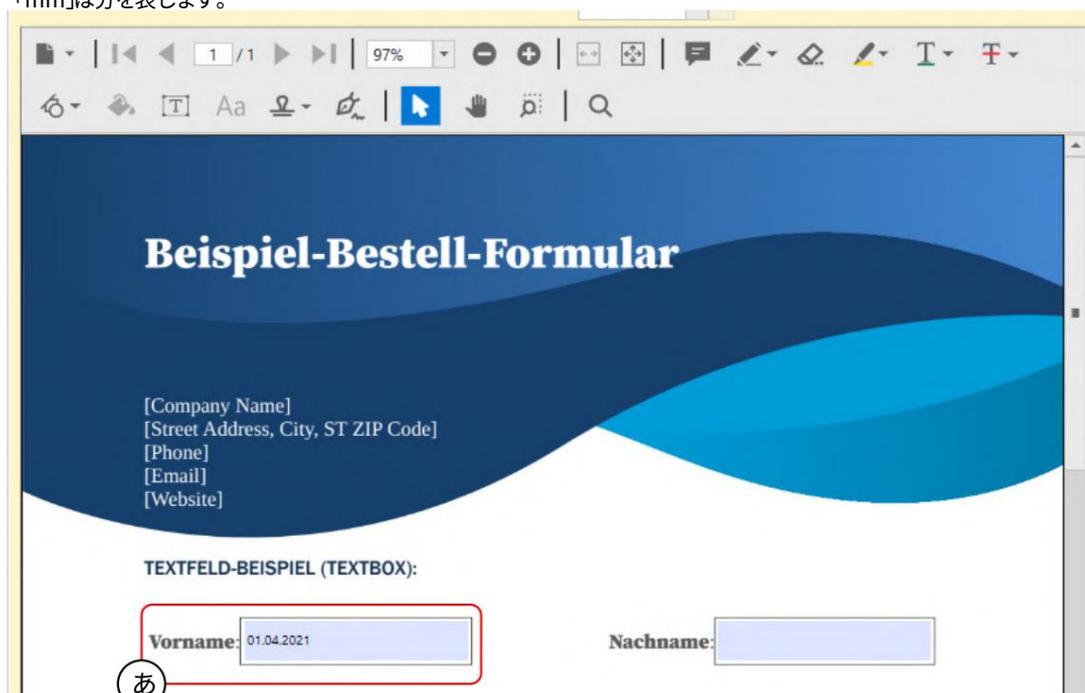
A red box highlights the table content, and a circled 'あ' (A) is placed next to it.

A日付などとして認識されるさまざまなデータ形式を示します。
それを見るために。



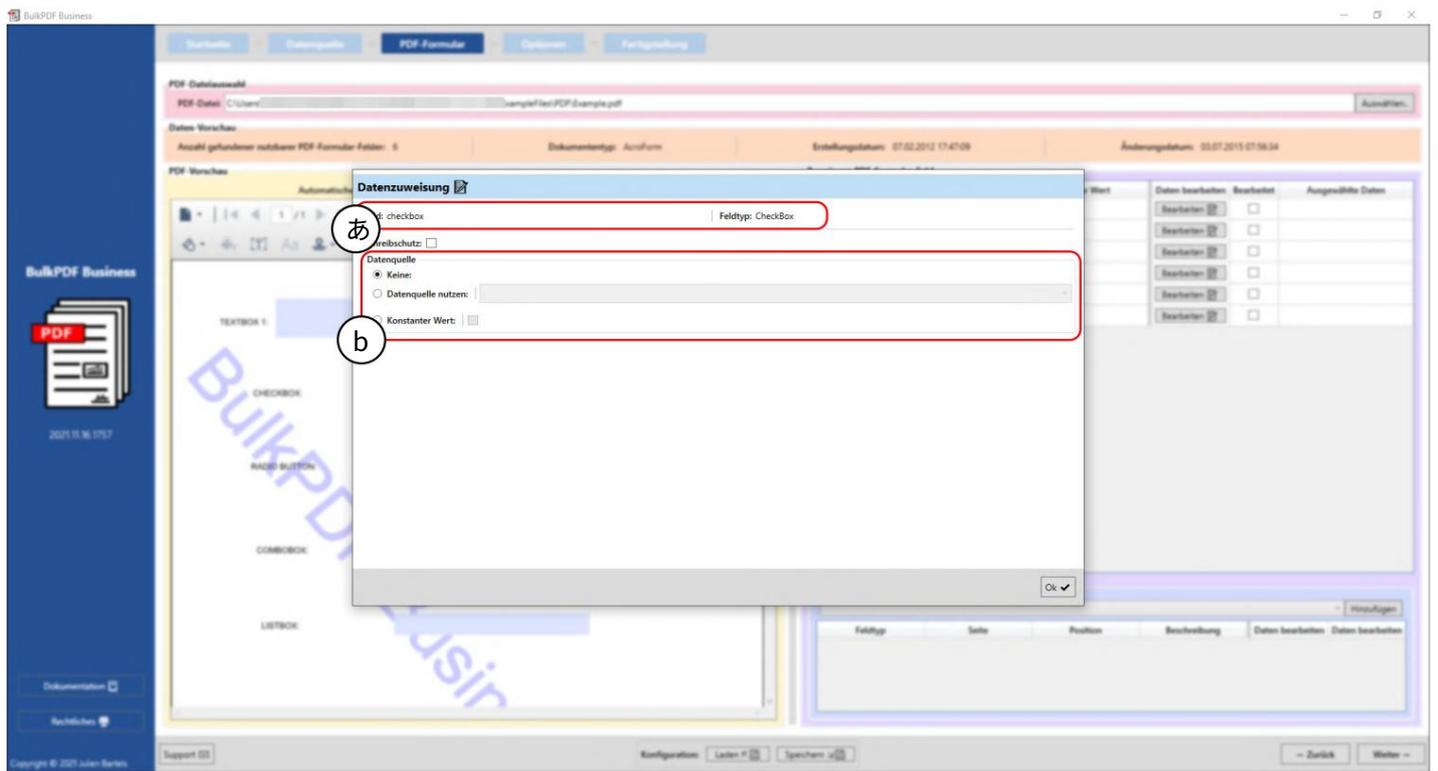
A 「日付/時刻」テーブル列と日付書式設定フィールドを含むデータソースの使用は、ここで定義されています。この入力フィールドを使用すると、日付や時刻をデータの希望の形式として指定できます。

正確な可能な値の表はセクション6.4にあります。お願いします
大文字と小文字に注意してください。たとえば、「MM」は月を表し、
「mm」は分を表します。



A形式「dd.MM.YYYY」に従って、PDF テキスト フィールドでは時刻のない日付がドイツ語形式で表示されます。

3.3.9 チェックボックス

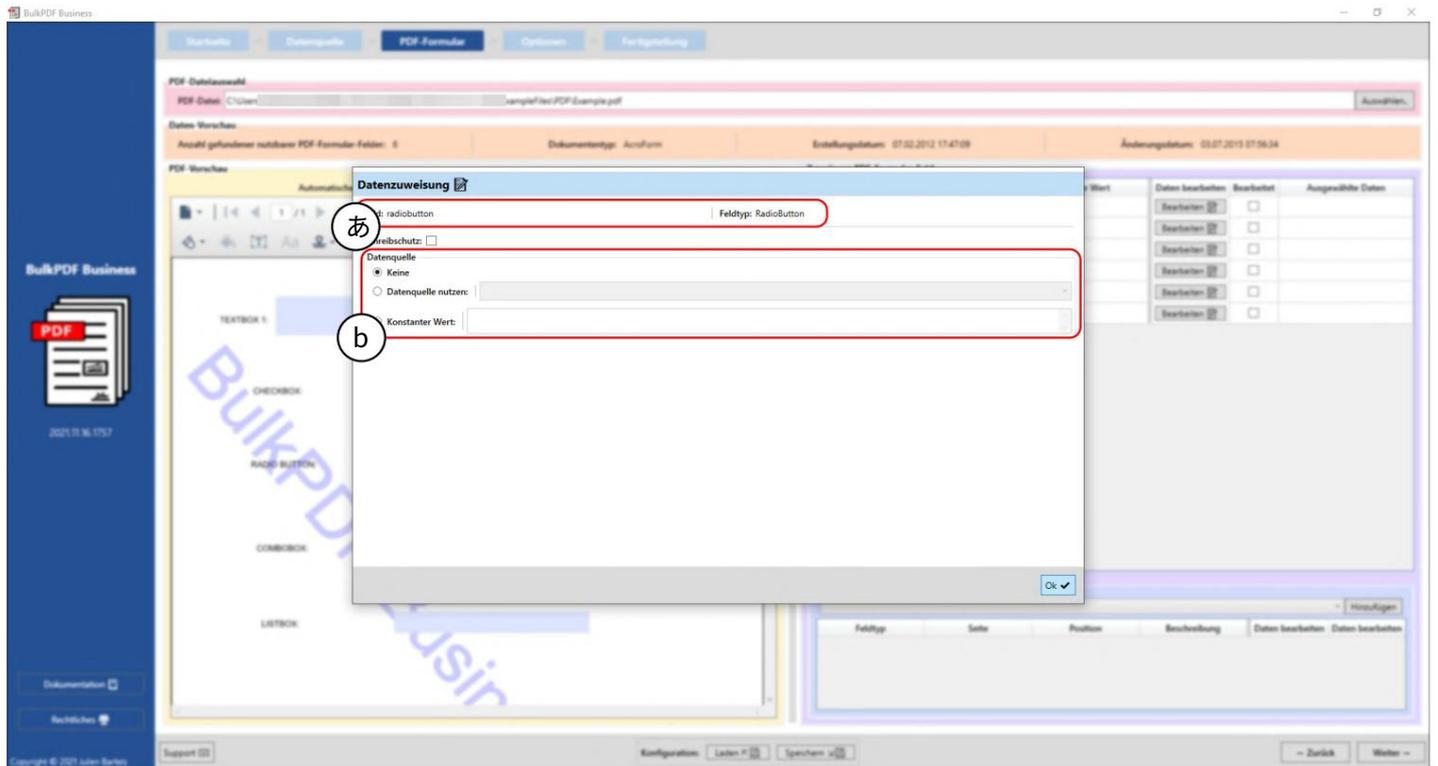


A ここにはフォームフィールド名「チェックボックス」、フォームフィールド種類「チェックボックス」が表示されます。

B データ ソース:たとえばテキスト フィールド (セクション3.3.4 を参照)と比較すると、ここではテキストとして使用できる定数値はありませんが、同じように機能するチェックボックスがあります。データ ソースに関しては、BulkPDF Business が「はい/いいえ」または「はい/いいえ」に割り当てられる列で値が使用されていることを確認してください。

「True/False」値を再変換できます。(受け入れられる値についてはセクション 1.4.2 を参照してください)

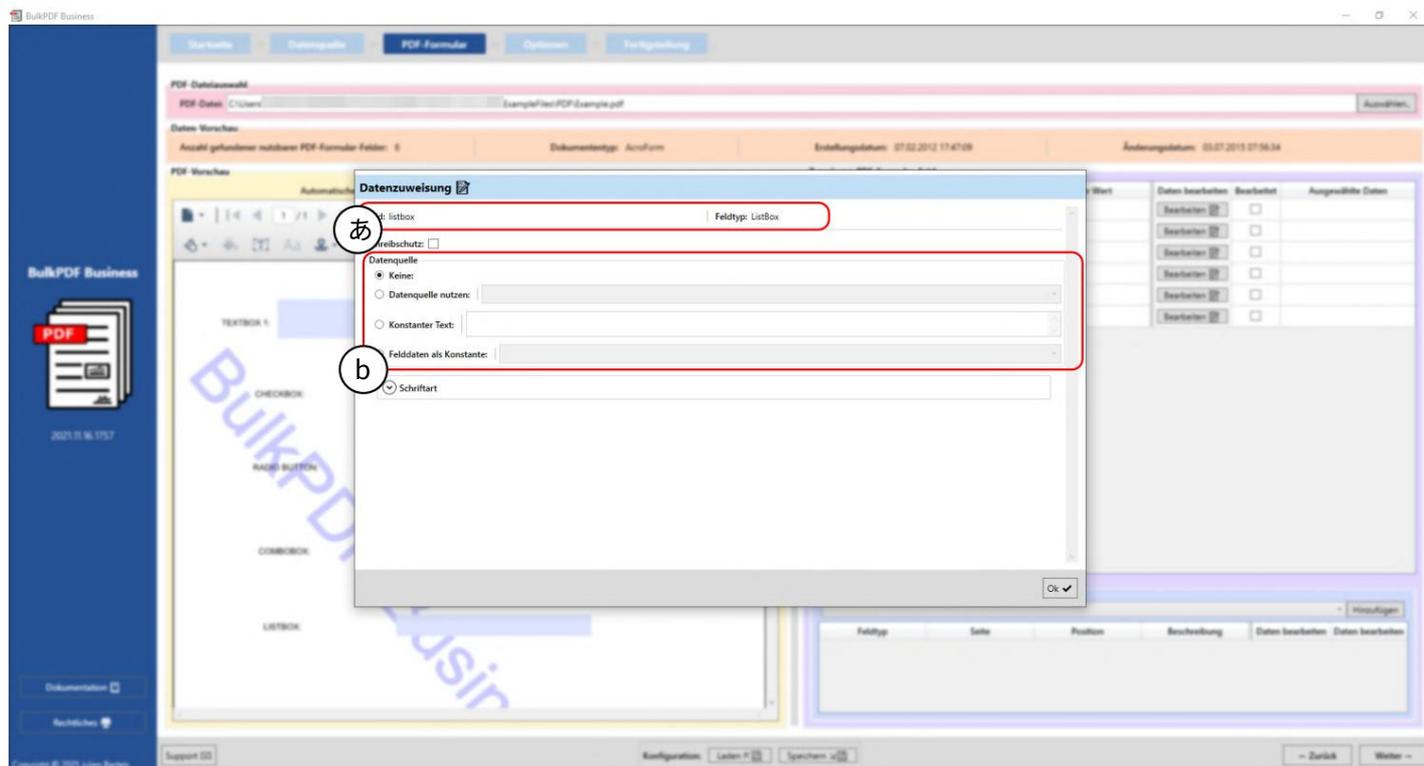
3.3.10 ラジオボタン



A ここにはフォームフィールド名「radiobutton」、フォームフィールド種類「RadioButton」が表示されます。

B データソース: テキストフィールド (セクション3.3.4を参照)と同様に、データソース、定数値、または値なしを選択できます。「RadioButton」グループのどのラジオボタンを選択するかを選択するには、番号を指定する必要があります。最初のボックスは値「1」、2番目のボックスは値「2」となります。

3.3.11 リストボックス

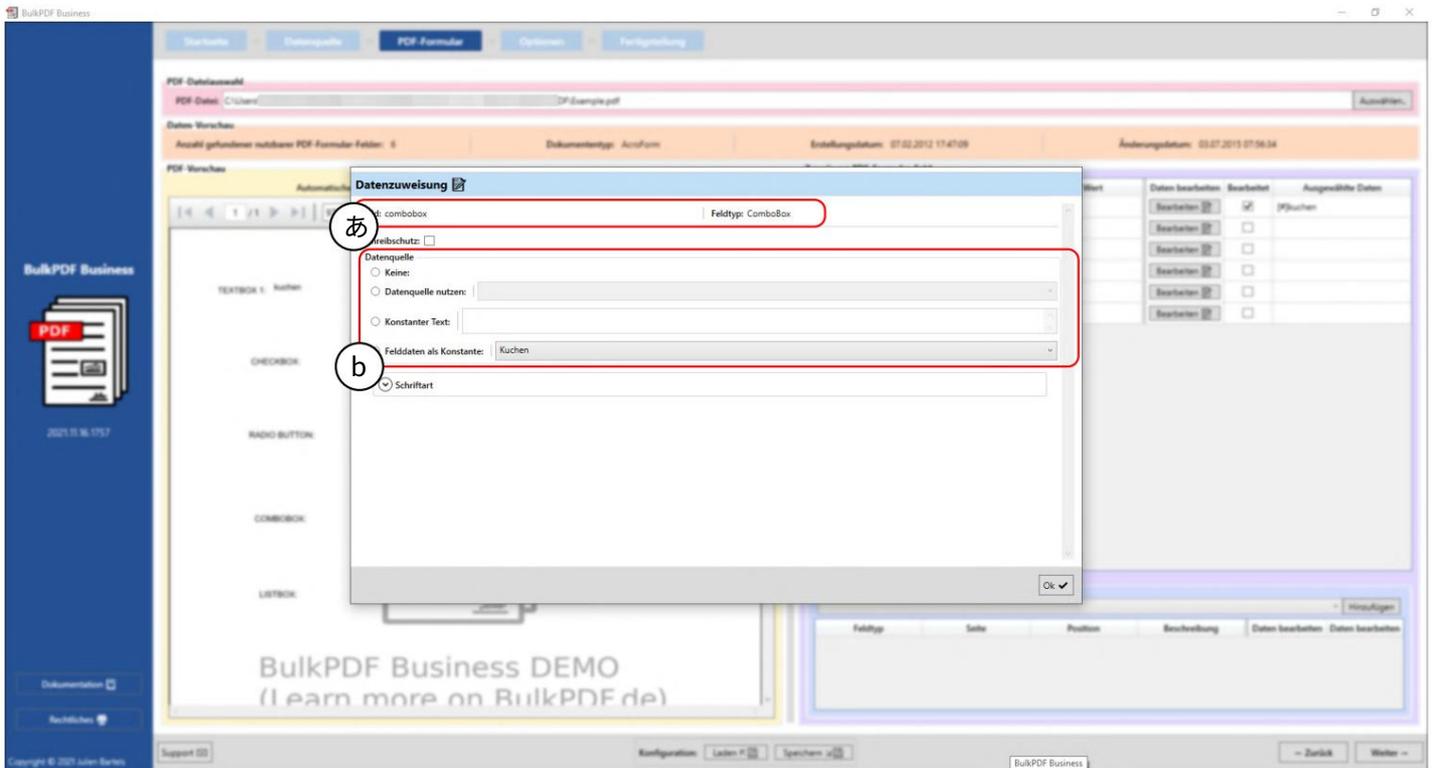


A ここにはフォームフィールド名「listbox」、フォームフィールド種類「ListBox」が表示されます。

B データ ソース:テキスト フィールド (セクション3.3.4 を参照)と同様に、データ ソース、定数値、または値なしを選択できます。「フィールドデータを定数として」オプションも使用できます。この選択では、PDF フォームの作成者がこの「リストボックス」に対して意図した値を選択でき、PDF にその値が含まれます。

選択した値は、「定数テキスト」ポイントで自分で作成したテキストと同じように動作します。したがって、値は作成されたすべての PDF フォームで同じになります。

3.3.12 コンボボックス



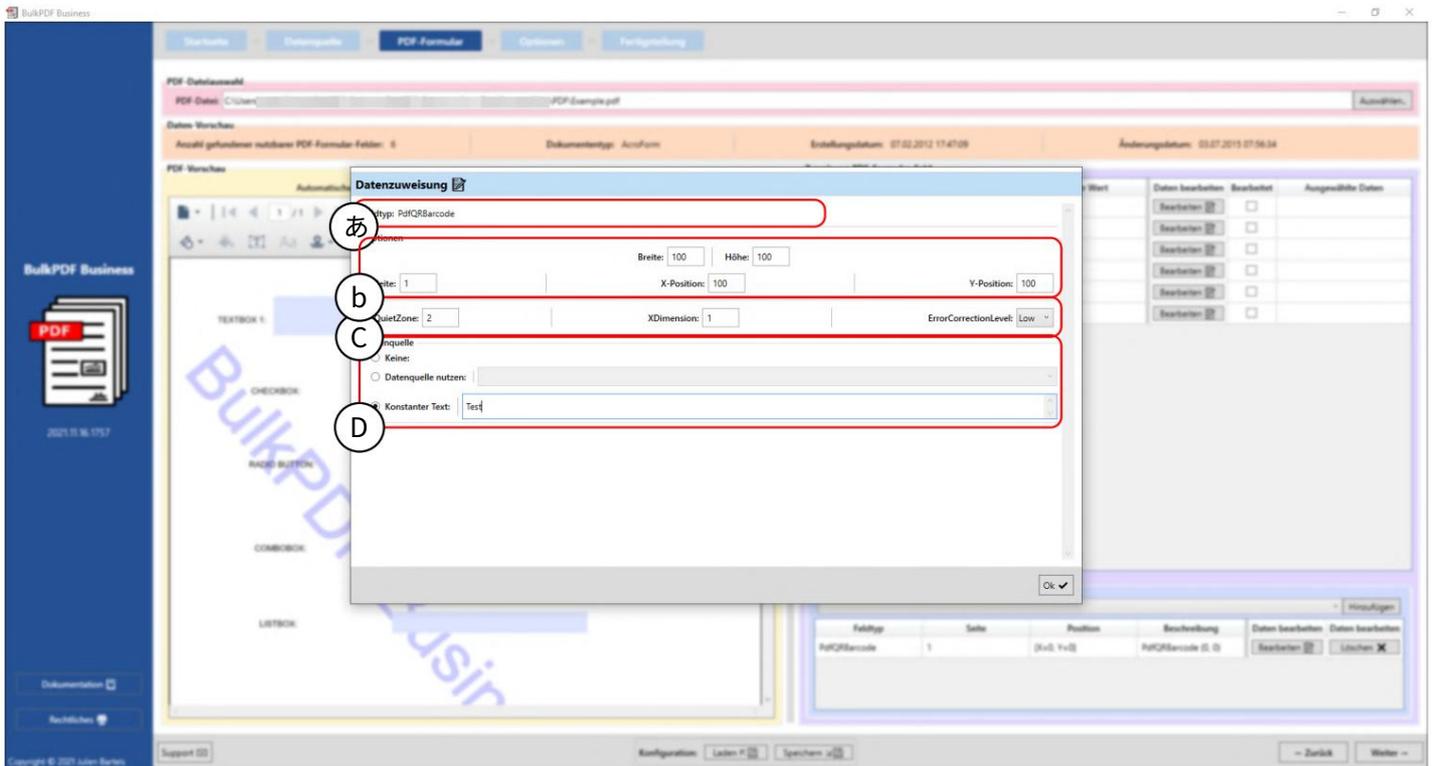
A ここにはフォームフィールド名「combobox」、フォームフィールド種類「Com-boBox」が表示されます。

B データ ソース: 「ComboBox」のデータ ソースの選択は「ListBox」の場合と同じです。セクション3.3.11を参照してください。

3.3.13 バーコード一般

PDF フォームで使用できる多数のバーコードは、メニュー項目「追加の特別フィールド」で利用できます。これらには、たとえば、QR、DataMatrix、PDF417、EAN8、EAN13、Codabar、Code11、Code39、Code93、Code128[A,B,C]、GS1-128、UPC が含まれます。これらの各バーコードには、独自の設定オプションを備えたバーコードに固有の独自のインターフェイスがありますが、第3.3.14章で説明した QR コード インターフェイスに似ています。

3.3.14 QRコード



Aここではフィールドタイプ「PdfQRBarcode」が表示されます。

B オプション (幅、高さ、位置):ここでは、QR コードの幅と高さ、バーコードを表示するページとページ上の位置を設定できます。位置を決定するには、0 点 (PDF ページの左上隅) までの距離を指定します。QR コードの 0 点までの距離も、QR コードの左上隅で測定されます。最適な位置を見つけるには、値をいじってみて、たとえば値 100 が PDF の X 位置のどこにあるかを把握するだけです。

C オプション (特別な設定オプション): 「Quiet Zone」、「XDimension」、「ErrorCorrectionLevel」など、バーコード タイプに固有のオプションがここに表示されます。

D データ ソース:データ ソースの選択は、それ以外の場合は「テキスト フィールド」と同様に動作します。セクション3.3.4を参照してください。唯一の違いはデータの使用方法にあり、フィールドに渡されたデータはバーコードに変換されます。
なる。

PDF-Dateiauswahl
PDF-Datei: C:\Users\...exampleFiles\PDF\Example.pdf

Daten-Vorschau
Anzahl gefundener nutzbarer PDF-Formular-Felder: 6 | Dokumententyp: AcroForm | Erstellungsdatum: 07.02.2012 17:47:09 | Änderungsdatum: 03.07.2015 07:56:34

Zuweisung PDF-Formular-Feld

Feld	Feldtyp	Aktueller Wert	Daten bearbeiten	Bearbeitet	Ausgewählte Daten
textbox1	TextBox		Bearbeiten	<input type="checkbox"/>	
checkbox	CheckBox	False	Bearbeiten	<input type="checkbox"/>	
combobox	ComboBox		Bearbeiten	<input type="checkbox"/>	
listbox	ListBox		Bearbeiten	<input type="checkbox"/>	
textbox2	TextBox		Bearbeiten	<input type="checkbox"/>	
radiobutton	RadioButton		Bearbeiten	<input type="checkbox"/>	

Zusätzliche Spezialfelder

Feldtyp	Seite	Position	Beschreibung	Daten bearbeiten	Daten bearbeiten
PdfQRBarcode	1	(X=100, Y=100)	PdfQRBarcode (100, 100)	Bearbeiten	Löschen X

A PDFフォーム上のQRコードの幅「100」、高さ「100」、側面「1」、X位置「100」、Y位置「100」。

B フィールドタイプ:この場合は「PdfQRBarcode」。

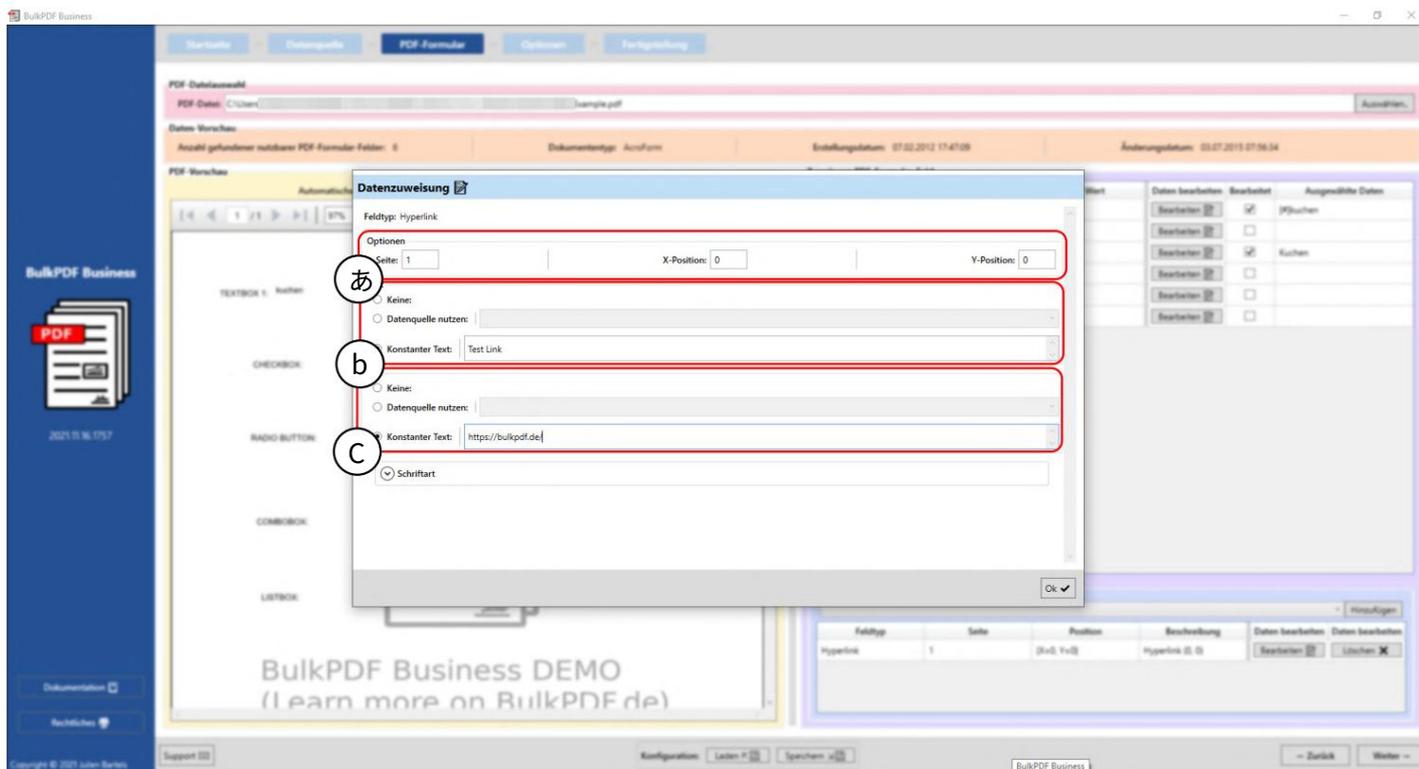
C ページ :バーコードが表示されるPDFフォームのページ番号
すべき。

D ポジション:ポジションはここで短い形式で確認できます。

E 説明:フィールドの簡単な説明がここに表示されます。

Fこの時点で、特殊フィールドを再度編集または削除できます。
の。

3.3.15 ハイパーリンク



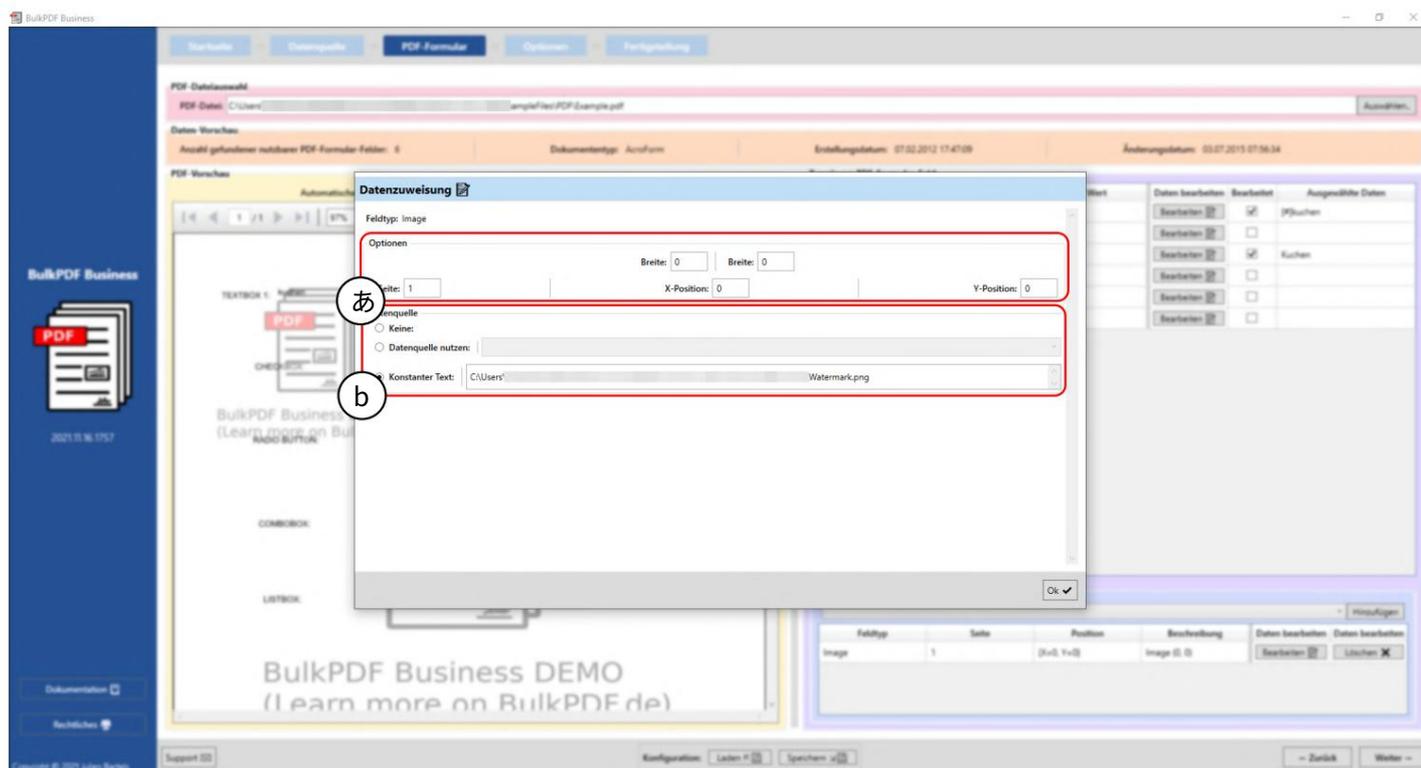
A オプション:ハイパーリンクを表示するページと位置をここで設定できます。

B テキスト:ハイパーリンクのテキストをここで設定できます。それ以外の場合、データ ソースの選択は「テキストフィールド」と同様に動作します。セクションを参照してください。

3.3.4.

C URL:ハイパーリンクが指す URL または Web アドレスをここで設定できます。

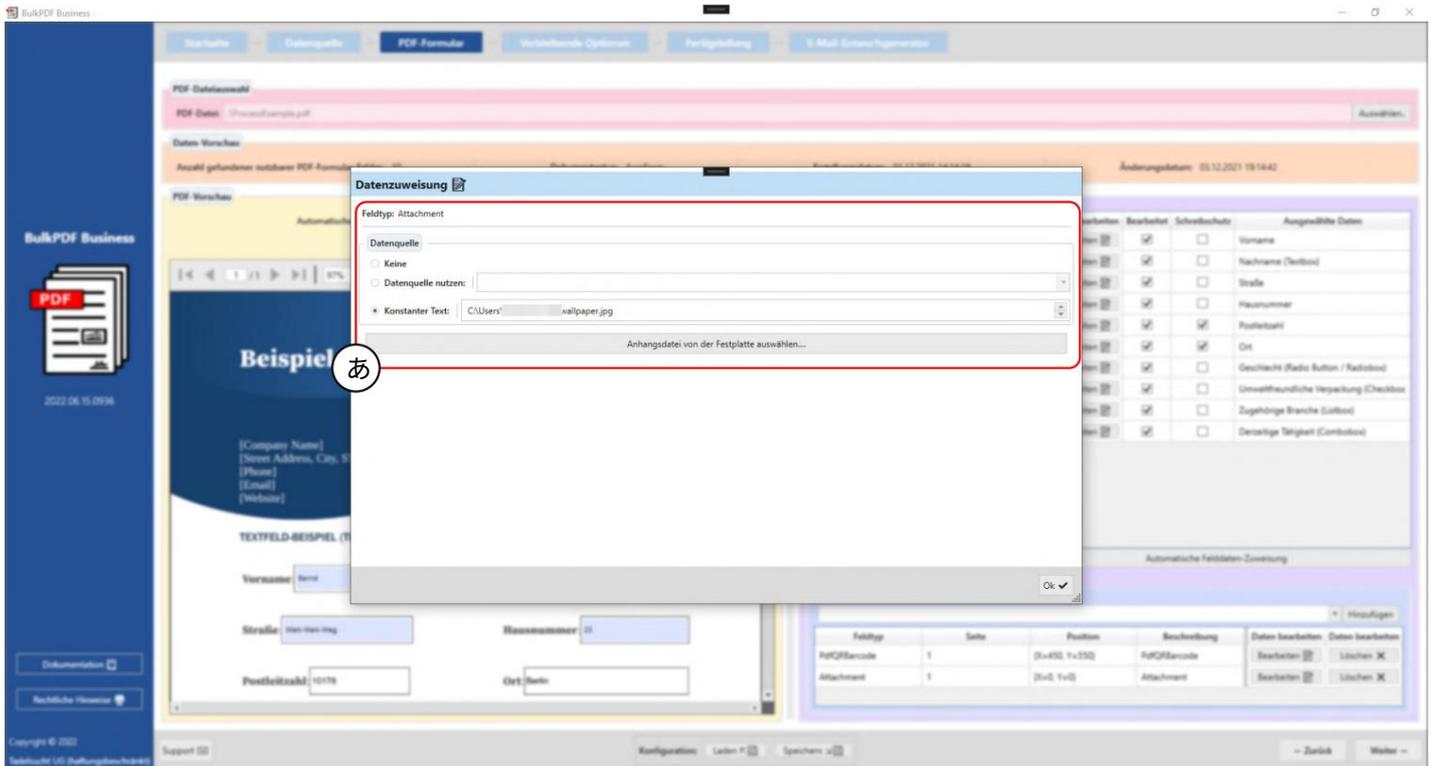
3.3.16 画像



A オプション:ここでは、幅と高さ、画像を表示するページとページ上の位置を設定できます。位置を決定するには、0点(PDFページの左上隅)までの距離を指定します。0点までの距離も画像の左上隅で測定されます。最適な位置を見つけるには、値をいじってみて、たとえば値100がPDFのX位置のどこにあるかを把握するだけです。

B データソース:画像フィールドは、画像へのファイルパスをデータとして受け入れます。PNGなどのさまざまな画像ファイル形式がサポートされています。それ以外の場合、データソースの選択は「テキストフィールド」と同様に動作します。セクション3.3.4を参照してください。さらに、固定ファイルパスの画像を選択するためのクイック選択ボタンもあります。

3.3.17 ファイル添付



ファイル添付フィールドはファイルパスをデータとして受け入れます。データソースの選択
それ以外の場合は、「テキストフィールド」のように動作します。セクション3.3.4を参照してください。
さらに、ファイルを選択するためのクイック選択ボタンもあります。
一定のファイルパス。

3.4 オプション

このステップでは、ファイル名の書式設定要素と、完成した PDF ファイルの出力ディレクトリを並べるこ
によって、ファイル名の生成が決定されます。グローバル書き込み保護、ファイル圧縮、データ
ソース
行の選択、フォントや PDF 署名の設定などのオプション オプションも利用できます。

The screenshot shows the BulkPDF Business software interface. The main window is titled 'BulkPDF Business' and has a navigation bar with 'Startseite', 'Datenquelle', 'PDF-Formular', 'Optionen', and 'Fertigstellung'. The 'Optionen' tab is active. The interface is divided into several sections:

- Dateiname (Filename):** A table with columns 'Dateiname', 'Formatierungs-Element', 'Daten', and 'Daten-Vorschau'. It contains two rows: 'Dateiquelle' (Last name) and 'Konstante' (pdf).
- Dateinamen-Formatierungs-Elemente (Filename formatting elements):** A section with input fields for 'Konstante', 'Datenquelle', 'Zeilenummer', and 'Datum / Uhrzeit'.
- Optionale Optionen (Optional options):** A section with checkboxes for 'Globaler Schreibschutz', 'Datei-Kompression', and 'Signaturen zu Dokument'. There is also a text input field for 'Datei-Kompression'.
- Signature (Signature):** A section with input fields for 'Signatur-Datei' and 'Signatur-Passwort'.

Red boxes and letters (a, b, c, d, e, f, g, h) highlight specific areas of interest in the interface.

ファイル名:すべてのファイル名の書式設定要素がこの表にあります。
生成されたファイル名が降順でリストされます。

B ファイル名の書式設定要素:この要素グループではファイル名の書式設定が可能です
左側の書式設定要素テーブルに要素を追加します。
遺伝子。

Cこのプレビューには、書式設定要素に基づいて生成されたファイル名が表示されます。

D 出力:出力順序はプロセスの最後にここで指定されます。
完了したすべてのドキュメントを追加または保存する必要があります。

E グローバル書き込み保護:このオプションを使用すると、ワンクリックですべての PDF フォーム
フィールドを読み取り専用に変更できるため、それ以上編集できなくなります。
これらに対して実行できます。

F ファイル圧縮:このオプションは、作成された PDF ファイルに対して可能な最大の圧縮を有効にし
ます。ストレージスペースを節約するためのこのオプションは、
PDF ファイルを電子メールで送信する予定がある場合に特に便利です。

G ドキュメントへの行:このフィールドを使用すると、入力されたドキュメントとなるデータ ソースの行を制限できます。構文は、個々のデータ ソース行をカンマで区切って記述するか (例 3,5,6,8)、マイナス記号を使用して領域を選択する (例 32 ~ 48) です。

両方の方法を組み合わせることができます (例 4-9,34,42-45,56)。

H フォント:すべてのフィールドのフォントは、この展開可能な要素グループで設定できます。

I 署名:この展開可能な要素グループ内のドキュメントに対してデジタル署名を指定できます。

パスワード保護 (ドキュメントの表示):この展開可能な要素グループでは、データ ソースを介して PDF ごとにパスワードを選択することも、すべてのドキュメントに対して固定パスワードを選択することもできます。開くときにパスワードを入力する必要があります

PDF ドキュメントを復号化して表示するには、PDF ドキュメントを入力する必要があります
できる。

パスワード保護 (文書の編集):このオプションでは、PDF 文書の編集に必要なパスワードを設定できます。

これは、コンテンツの変更、フォームへの入力、注釈の追加などの編集機能へのアクセスは、正しいパスワードが入力された場合にのみ可能であることを意味します。

特定の編集機能へのアクセスを制限するために設定できるさまざまな権限レベルがあります。これには以下が含まれます:

- 印刷:ドキュメントの印刷を禁止できます。
または、低品質の印刷のみが許可される場合もあります。
- コンテンツの編集:コンテンツの編集を完全に禁止して、テキストやグラフィックを変更できないようにすることができます。
- コンテンツのコピー: PDF からテキストやその他のコンテンツをコピーすることを禁止できます。
- 注の編集:コメントや注釈の追加または編集の権限を制限することもできます。
- フォームフィールドに入力する:フォームフィールドは表示されるが、入力できないように指定できます。
- アクセシビリティ:アクセシビリティを目的としたコンテンツのコピーは禁止される場合があります。

- ドキュメントのコンパイル:ドキュメントがコンパイルされるのを防ぐことができます。

メントはさまざまなソースから構成されます。

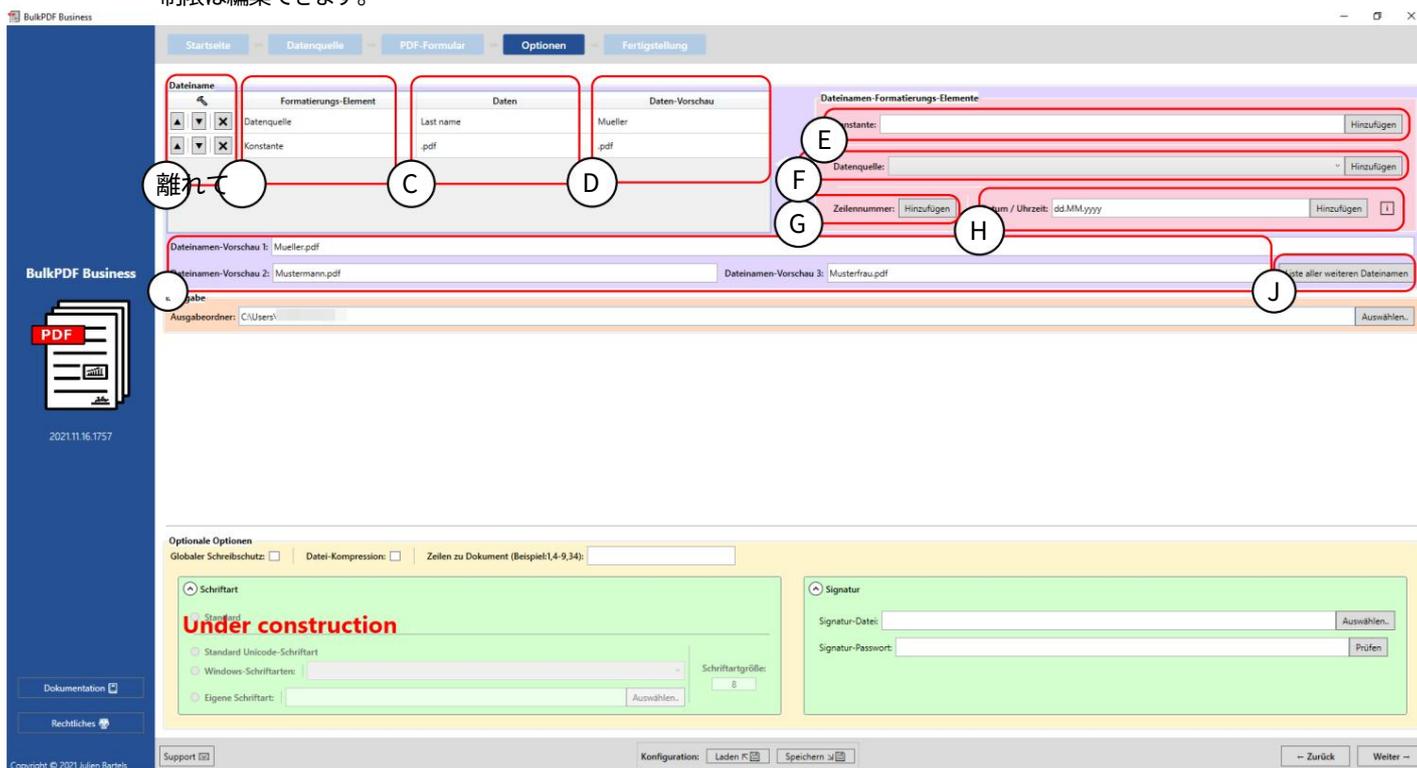
- 高画質で印刷 :ドキュメントを高画質で印刷することを禁止できます。

印刷品質が重視されるため、低解像度での印刷のみが許可されますは。

ただし、これらの権限は、実際にパスワードが設定されている場合にのみ有効です。パスワードを使用しないと、設定された制限が適用されます

影響はなく、ドキュメントはアクセスする人であれば誰でも使用できます。

制限は編集できます。



A 書式設定要素に関するオプションを順番に示します。
位置を上または下に設定します。削除ボタンもあります
要素から離れた場所にあります。

B フォーマット要素:要素のタイプはこの列に記載されています
例:「データソース」または「定数」。

C データ:ここでは、選択した書式設定要素のデータの表現を確認できます。

D データ プレビュー:この列には、次のデータ プレビューが表示されます。
要素のタイプ。たとえば、データ ソースの場合、最初のデータ ソースがそこに保存されます。

このデータソース列の行が表示されます。定数の場合は、単に定数テキスト自体です。

E 定数:定数は、すべての PDF フォームで同じ定数テキストです。

F データ ソース:データ ソースは PDF フォームごとに異なり、データ ソースの各行のデータによって異なります。

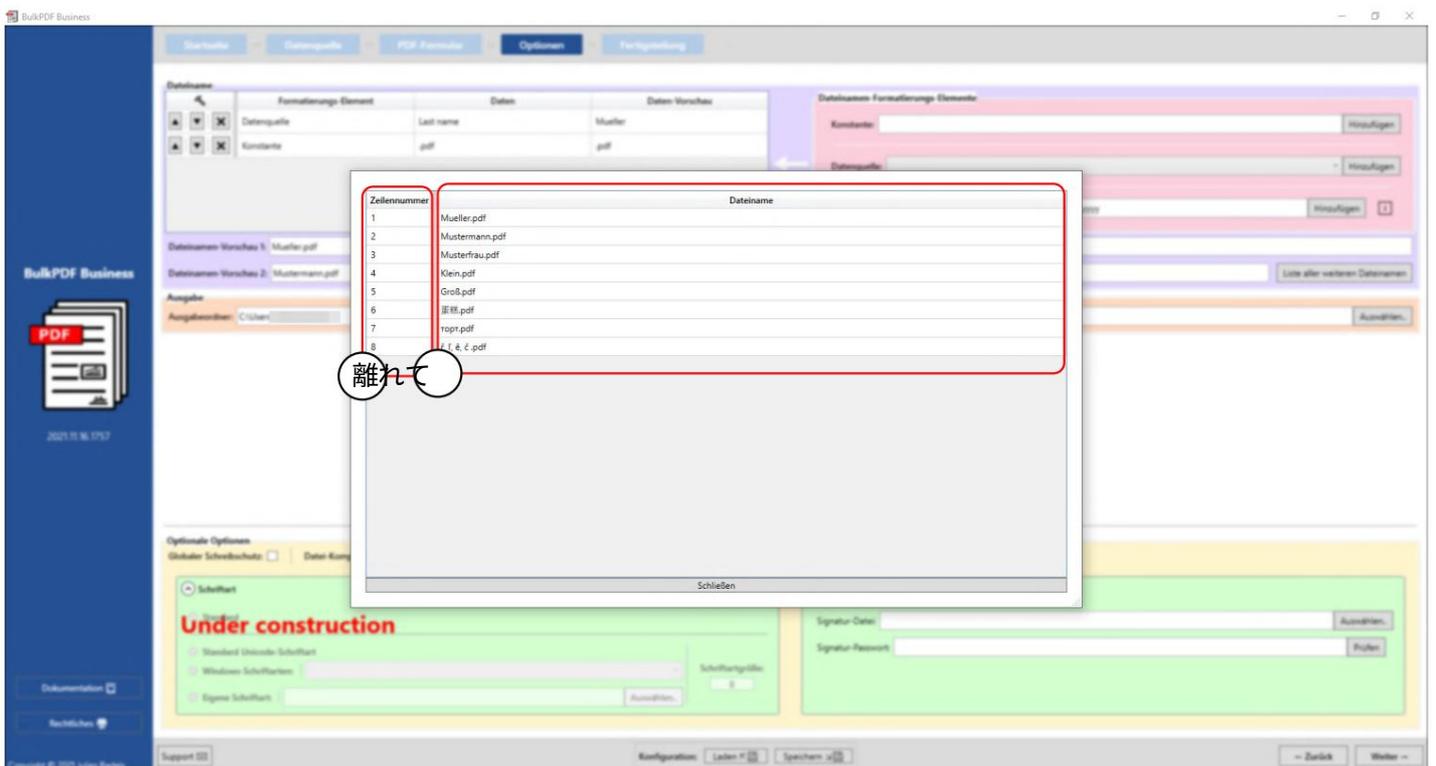
G 行番号:この番号はデータ ソースの行番号です。

H 日付/時刻:この書式設定要素を使用すると、日付および/または時刻を希望の書式でファイル名に追加できます。

正確な可能な値の表はセクション6.4 にあります。

I ファイル名プレビュー:このプレビューは最初の 3 行を使用します
データ ソースはファイル名を生成します。

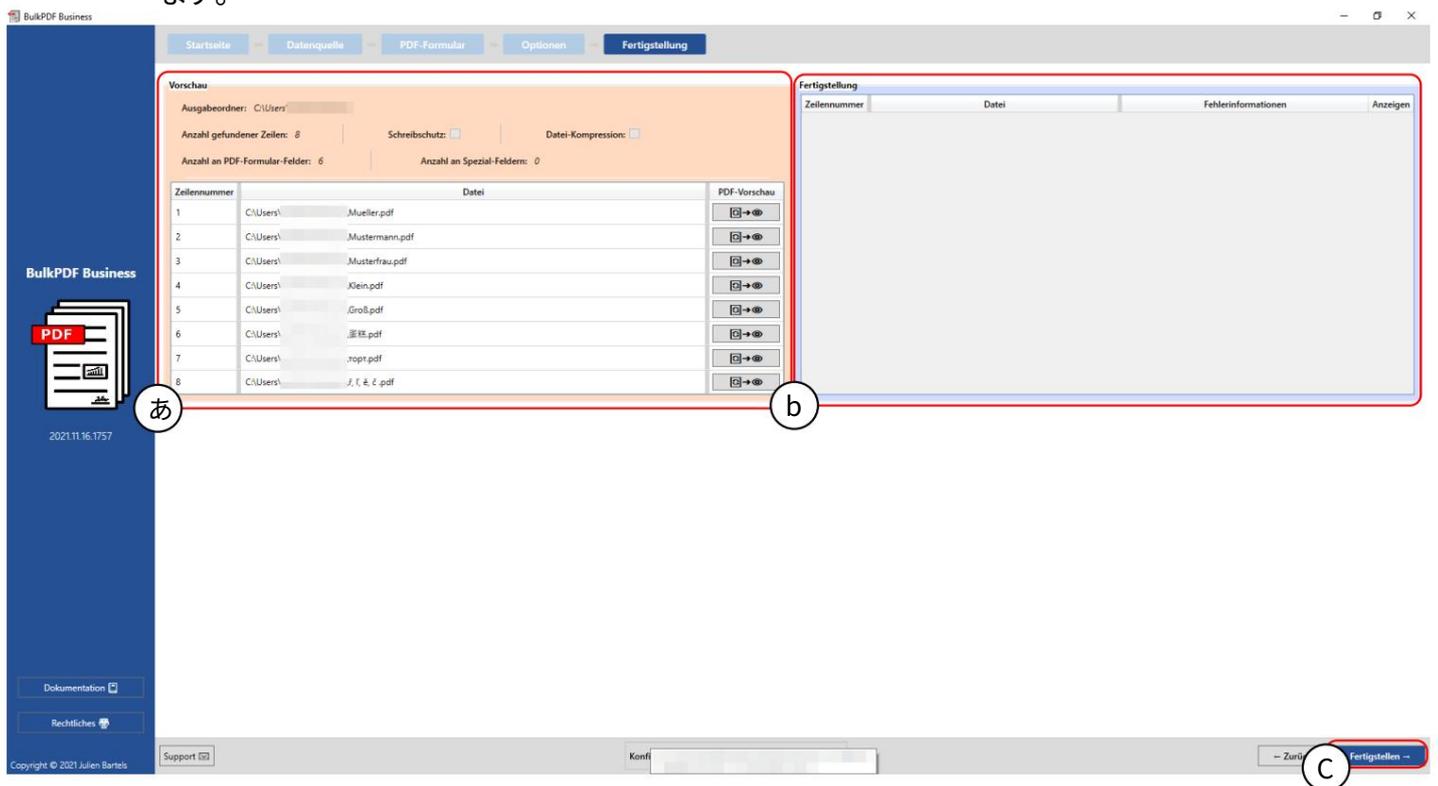
J 他のすべてのファイル名のリスト:このボタンを使用して、生成されるすべてのファイル名を事前に表示できます。



このウィンドウには、データ ソースに基づいて生成されるすべてのファイル名が表示されます。最初の列(A)にはデータ ソースの行番号が表示され、2 番目の列(B)には生成されたファイル名が表示されます。

3.5 完了

アプリケーションのこの最後のページでは、行われた設定と、その後生成されるすべてのファイルのリストを明確に確認できます。個別のファイルをプレビューとして生成することもできます。



プレビュー:このプレビューには、行われた設定と、これから生成されるすべてのドキュメントのリストが表示されます。

B 完了:作成された PDF ドキュメントは、この表の下にリストされます。

C 完了:このボタンは、選択した設定に従って完成した PDF フォーム ファイルを生成します。PDF ファイルの処理が完了すると、出力フォルダーが自動的に開きます。

The screenshot shows the BulkPDF Business software interface. The main window is divided into several sections:

- Navigation Bar:** Startseite, Datenquelle, PDF-Formular, Optionen, **Fertigstellung** (highlighted).
- Vorschau (Preview):**
 - Ausgabeordner: C:\Users\...
 - Anzahl gefundener Zeilen: 8
 - Schreibschutz:
 - Datei-Kompression:
 - Anzahl an PDF-Formular-Felder: 6
 - Anzahl an Spezial-Feldern: 0
- Fertigstellung (Completion Table):** A table with 8 rows, each representing a document. The table has four columns: Zeilennummer, Datei, Fehlerinformationen, and Anzeigen. All rows are highlighted in green, indicating successful completion. A circled 'あ' (A) is placed below the table.

Zeilennummer	Datei	Fehlerinformationen	Anzeigen
1	C:\Users\... \Mueller.pdf		<input type="checkbox"/>
2	C:\Users\... \Mustermann.pdf		<input type="checkbox"/>
3	C:\Users\... \Musterfrau.pdf		<input type="checkbox"/>
4	C:\Users\... \Klein.pdf		<input type="checkbox"/>
5	C:\Users\... \Groß.pdf		<input type="checkbox"/>
6	C:\Users\... \漢籍.pdf		<input type="checkbox"/>
7	C:\Users\... \topr.pdf		<input type="checkbox"/>
8	C:\Users\... \f, l, e, c.pdf		<input type="checkbox"/>

生成されたファイルは、行番号とファイルパスとともに完了テーブル(A)に表示されます。緑の色とそれが欠けていること

エラー情報は、すべてのドキュメントが正常に作成されたことを示します。ドキュメントは目のボタンを使用して表示できます。ない限り

エラー情報が表示された場合は、目のボタンをクリックしてください。

事前に入力されたサポートウィンドウ内の間違っただ行を、より正確な行に置き換えます。

エラーメッセージとサポートに直接連絡するオプション。

The screenshot displays the BulkPDF Business software interface. The main window is divided into several sections:

- Navigation Bar:** Includes tabs for 'Startseite', 'Datenquelle', 'PDF-Formular', 'Optionen', and 'Fertigstellung'.
- Vorschau (Preview) Section:**
 - Output path: C:\Users\...
 - Number of found rows: 8
 - Number of PDF form fields: 6
 - Number of special fields: 0
- Table:** A table with columns 'Zeilenummer' (Line Number), 'Datei' (File), and 'PDF-Vorschau' (PDF Preview). It lists 8 rows of files.

Zeilenummer	Datei	PDF-Vorschau
1	C:\User\... \Mueller.pdf	[Preview Icon]
2	C:\User\... \Mustermann.pdf	[Preview Icon]
3	C:\User\... \Musterfrau.pdf	[Preview Icon]
4	C:\User\... \Klein.pdf	[Preview Icon]
5	C:\User\... \Groß.pdf	[Preview Icon]
6	C:\User\... \運送.pdf	[Preview Icon]
7	C:\User\... \topr.pdf	[Preview Icon]
8	C:\User\... \f, f, & c.pdf	[Preview Icon]
- Fertigstellung (Completion) Table:** A table with columns 'Zeilenummer', 'Datei', 'Fehlerinformationen' (Error Information), and 'Anzeigen' (Show). It shows the first two rows from the main table.

Zeilenummer	Datei	Fehlerinformationen	Anzeigen
1	C:\Users\... \Mueller.pdf		[Show Icon]
	C:\Users\... \Groß.pdf		[Show Icon]

Annotations in the image:

- a:** Points to the 'PDF-Vorschau' column in the main table.
- b:** Points to the 'PDF-Vorschau' column in the main table for row 5.
- c:** Points to the 'Fertigstellung' table.

Bottom navigation: Support, Konfiguration (Laden, Speichern), - Zurück, Fertigstellen -

このスクリーンショットは、例として、行番号「1」と「5」が、AとBのボタンを使用してプレビュー ファイルとしてすでに生成されていることを示しています。これら2つの行は正常に作成され、Cの完了テーブルに入力されました。

The screenshot shows the BulkPDF Business software interface. A progress window is overlaid on the main interface. The window has a green header bar and a white body. In the center, there is a progress indicator showing '8 / 8' and a file name 'あ, c .pdf'. A red box highlights the character 'あ'. Below this, there is a 'b' character in a circle and a 'Abbrechen' button. The background interface shows a table with columns for 'Zellennummer', 'Datei', and 'PDF-Vorschau'. The table contains 8 rows of data, with the first row showing '1', 'Muster.pdf', and a preview icon. The 'Fertigstellung' (Completion) tab is active, and a 'Fertigstellen' (Finish) button is visible at the bottom right.

このスクリーンショットでは、「完了」ボタンをクリックした後に表示される進行状況ウィンドウを確認できます。Aには現在作成中のファイルの番号が先頭に表示され、その後ろに全ファイルの番号が表示されます。Bは、現在設定されているファイルのファイル名を示します。

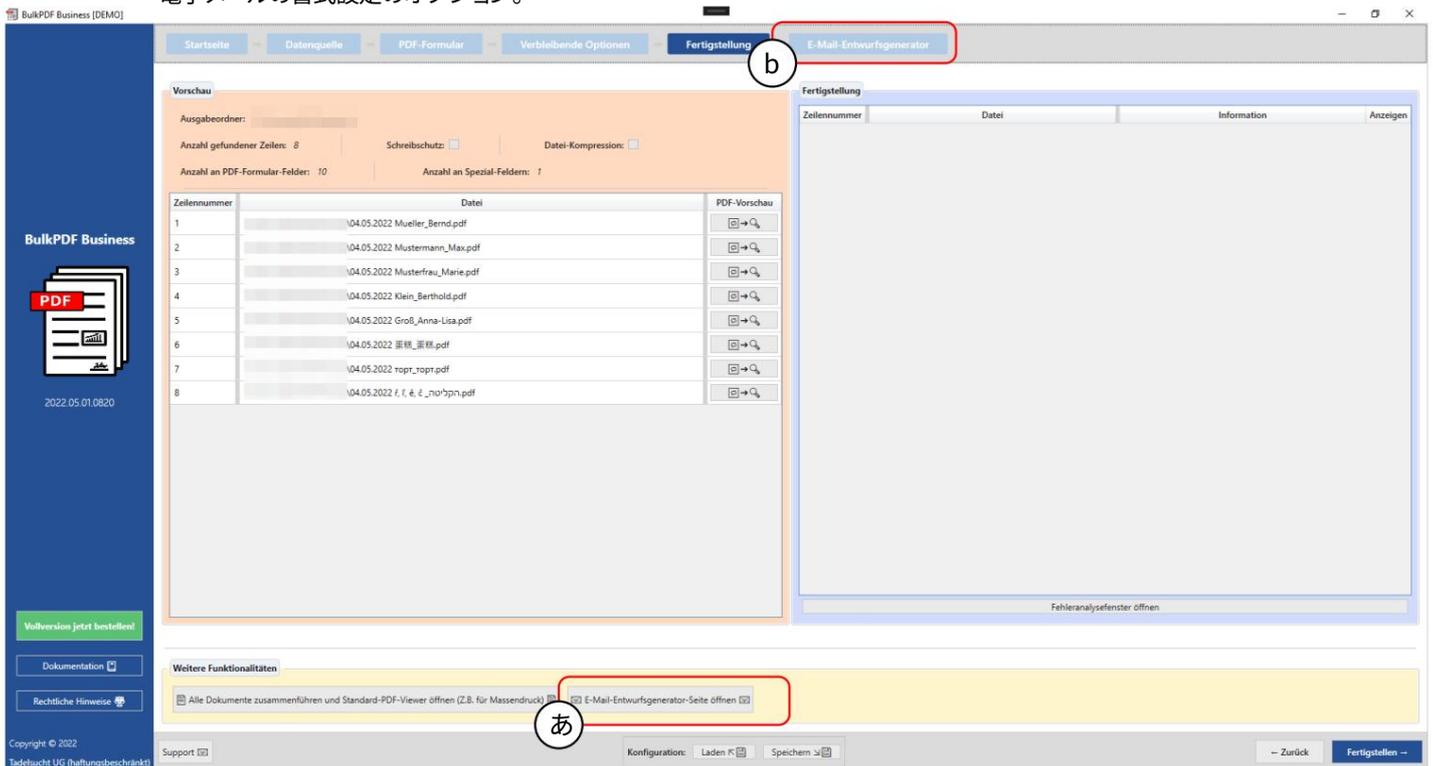
3.6 電子メールの下書きジェネレーター

PDF ファイルが完成した後も、電子メールの下書きジェネレーターのステップを追加するオプションがまだあります。これにより、事前に生成した PDF ファイルを使用してメールを作成し、すぐに添付することができます。

これらの電子メールはすぐには送信されませんが、.EML または .MSG 電子メール ファイル形式でファイルとして保存されます。これらのファイルは、Microsoft Outlook や Thunderbird などの電子メール プログラムを使用して電子メールの下書きとして開くことができます。

必要に応じて、すぐに送信します。以下では、電子メールの下書きジェネレーターのユーザー インターフェイス、オプション、および明示的に説明します。

電子メールの書式設定のオプション。



A PDF の完成ステップで、「下書きジェネレーターをメールで送信」ボタン

「開く」には、「メールの下書きジェネレーター」という追加ステップが追加されます。

B作成後、ステップは、「電子メールの下書きジェネレーターを開く」ボタンを使用するか、ステップの概要でステップをクリックすることで、いつでも再度開くことができます。

達成できる。

A電子メールの下書きへのデータの割り当てはここで行われます。これではどこでグラフィックのみの送信者、受信者、受信者 CC、受信者 BCC、件名および重要性が提示されている。

受信者、受信者 CC、受信者 BCC には、これらのフィールドを記入するための表記があります。メールアドレスのみ認識される

「support@bulkpdf.de<サポートチーム>」のように書かれている場合。初め表記では、電子メール アドレスの後に「<」、次に表示名、最後に「>」が続きます。複数のメールアドレス宛の場合

アドレスには「|」を付ける必要があります。互いに引き離される。

たとえば次のようになります。

「support@bulkpdf.de<サポート チーム>|julien.bartels@bulkpdf.de<ジュリアン バーテルス>」

この件名の特別な機能は、テキスト内で表記データ ソース列名を使用して、データ ソースの同じ行の列を参照できることです。

参照できます。プログラムはこれらを「{」と「}」で囲んで置き換えます。

例でわかるように、列名がデータ全体に渡されます。テキストは

「{location} における現在の前向きな発展」から「現在の前向きな発展」

in ベルリン」の試写会。(括弧で囲まれたテキストのデータへの解決

「{」と「}」の前に「\」を付けてエスケープすることで回避できます (例: {\Test\})。これは、次の場合に特に必要です。

それぞれの行の列名を使用してデータを挿入します (A と B の電子メール テキストの内容の違いを参照してください)。

Bここでは、Aに表示されている要素のデータのプレビューを確認できます。

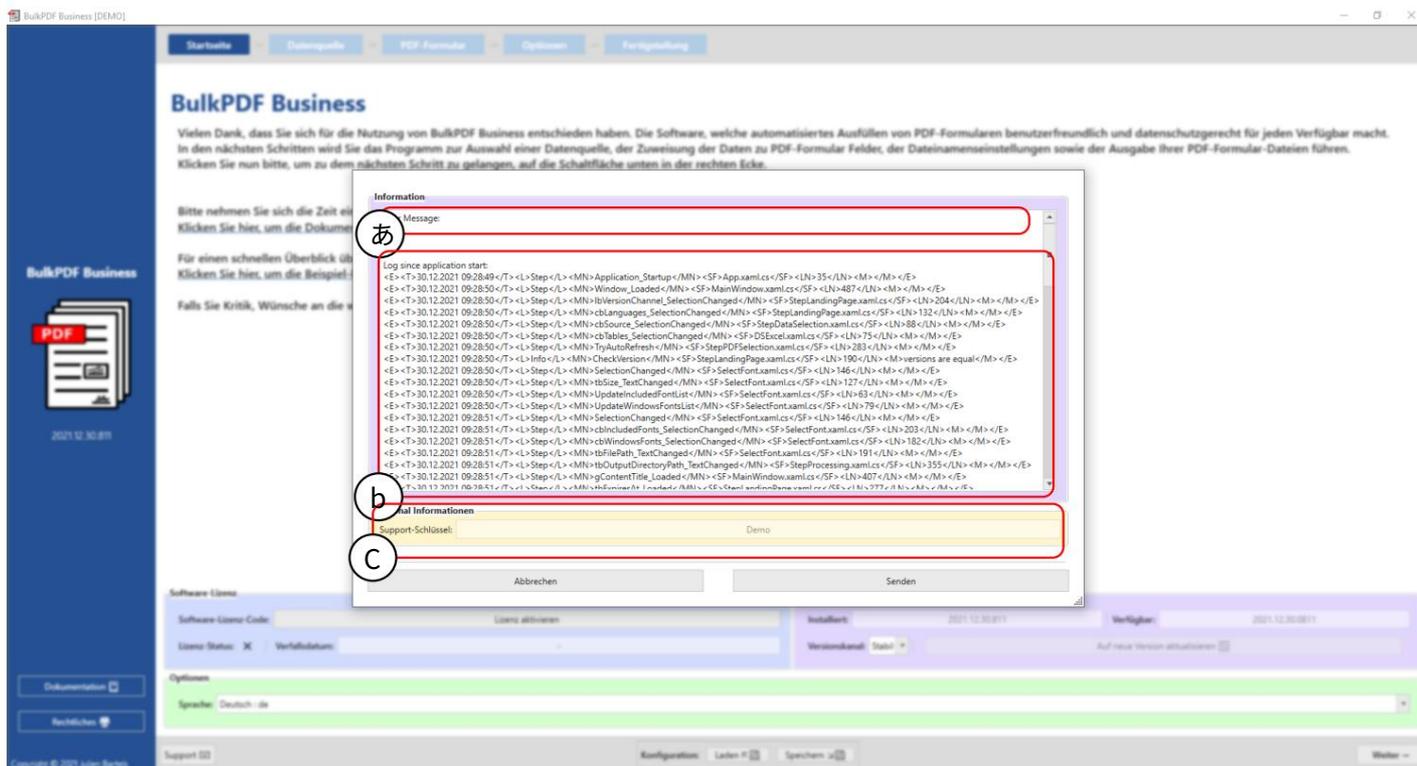
設定されていました。PDF プレビューの場合と同様に、データ ソースの最初の行がデータに使用されます。選択した電子メール テキスト コンテンツで、括弧で囲まれたデータ ソースの列名が、行内のそれぞれのデータに置き換えられました。

HTML コンテンツ (A を参照) の場合、テキスト コンテンツが指定されていない場合、HTML タグなしでテキスト コンテンツ (B を参照) に自動的に書き込まれます。

3.7 その他

これに、特定のプログラム ステップに割り当てることができないアプリケーション内の他のウィンドウが続きます。

3.7.1 サポート窓口

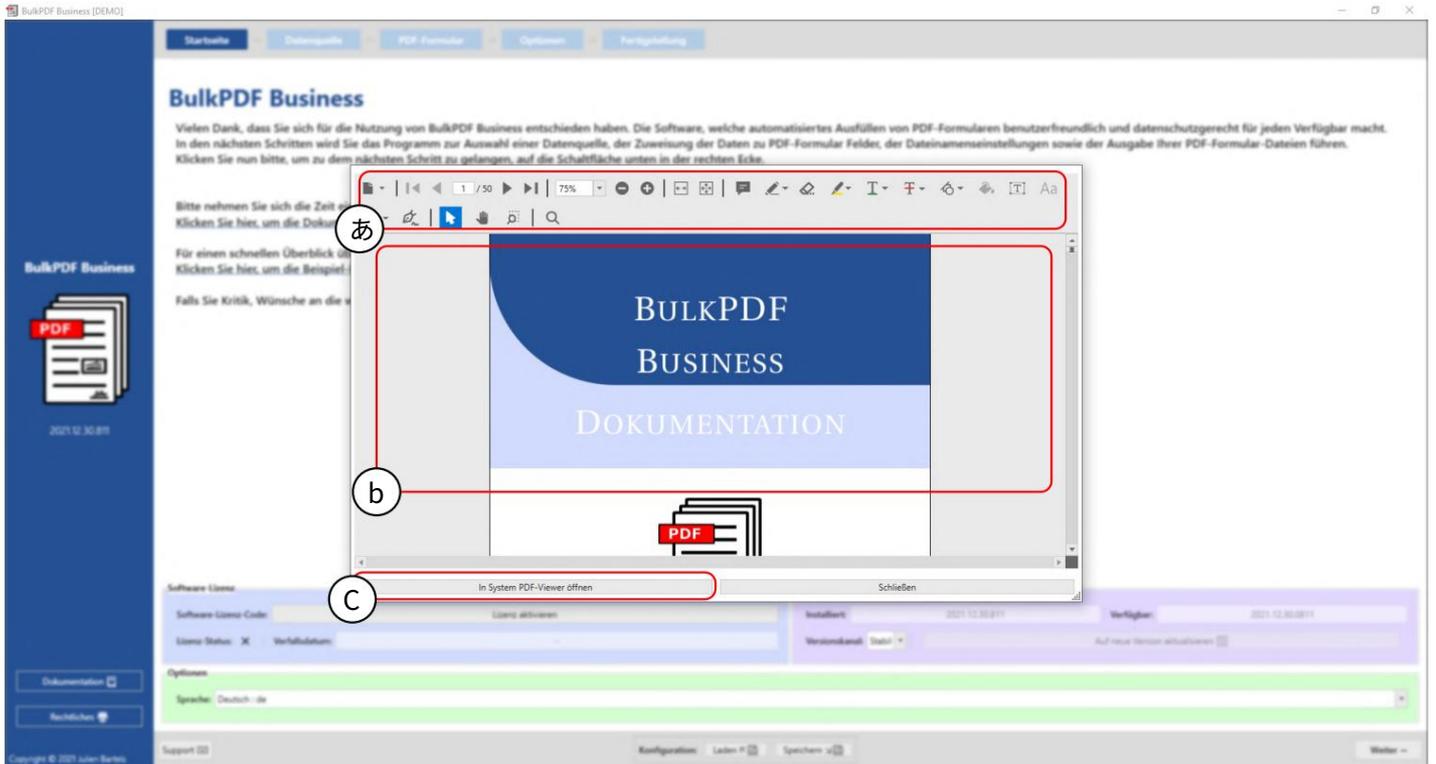


A 応援メッセージを記入できます。

B この領域には技術的なエラーメッセージが含まれます。

C ソフトウェアライセンスに基づいて生成されたサポートコードが表示されます。

3.7.2 ドキュメントウィンドウ



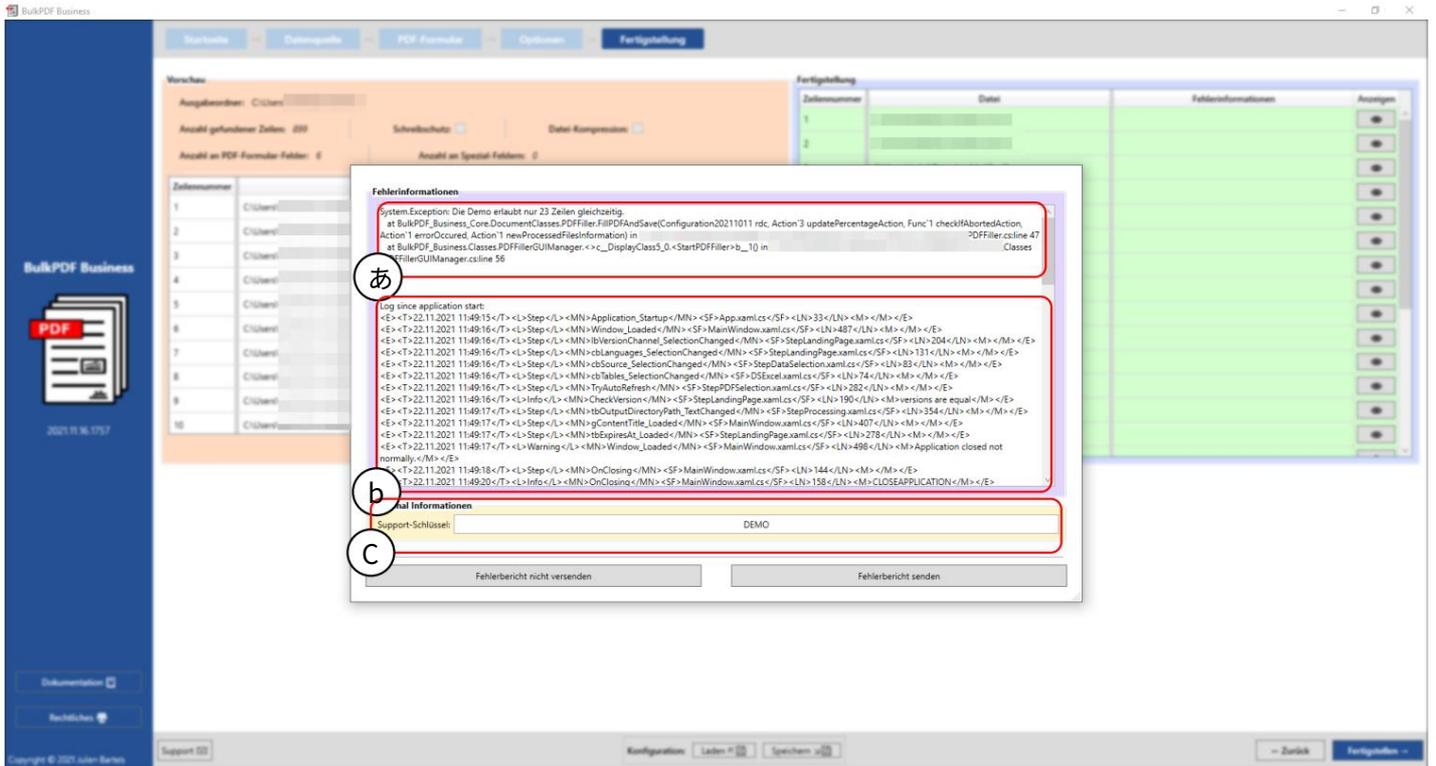
A この時点でズームやページ変更などの機能が利用可能になります。

ぐん。

Bドキュメント自体がここに表示されます。

Cこのボタンを使用すると、システム独自の PDF ビューアでドキュメントを開くことができます。

3.7.3 エラー画面 (例外)



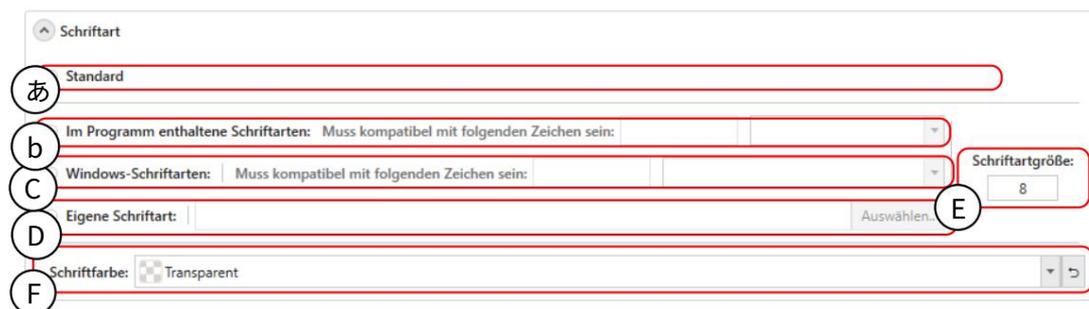
Aここにエラーメッセージが表示されます。

Bプログラム開始以降の完全なログがここに埋め込まれます。

Cこのテキスト ボックスには、ソフトウェア ライセンスに基づいて生成されたサポート コードが含まれます。

3.7.4 フォント選択とフォントカラー選択

フォントを選択するときに、太字と斜体を選択することもできます。たとえば、Arial の Windows フォントには、通常の「arial.ttf」だけでなく、太字用の「arialb.ttf」と斜体用の「ariali.ttf」もあります。



A標準フォントです。

B BulkPDF-Business に含まれるフォント。世界中のほぼすべての文字システムに適したフォントが含まれています。
選択は制限される可能性があります
互換性検索を通じて。これは、たとえば、フォントがサポートする必要がある漢字を入力することで機能します。

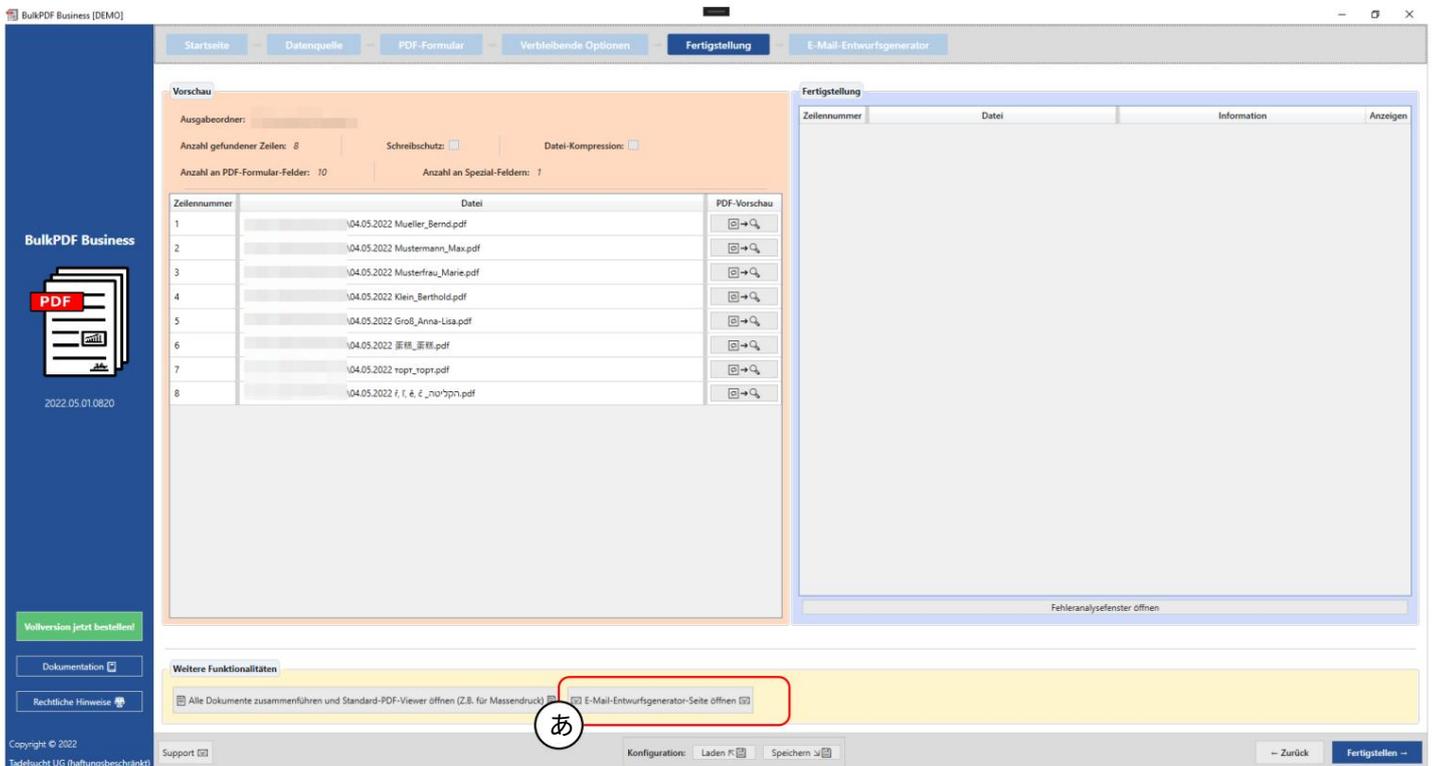
C Windows に含まれているフォント。付属のフォントと同様に、互換性検索も可能です。

D独自のフォント ファイルをここで選択できます。

Eステップサイズはここで設定できます

Fフォントの色は、必要に応じてこの要素で設定できます。
標準の黒にリセットされます。

3.7.5 その他の機能



すべてのドキュメントを結合し、標準の PDF ビューアを開くこの機能
たとえば、大量印刷を目的としています。すべてPDFファイルの場合
すぐに物理的に印刷したい場合は、この機能を使用して印刷することができます。
単一のファイルにマージしてから、たとえば Adobe Acrobat を使用する
単一の印刷ジョブで印刷できます。

電子メール ドラフト ジェネレーター電子メール ドラフト ジェネレーターの詳細については、[第3.6 章を参照](#)してください。

4

コマンドライン (BulkPDF ビジネスコンソール)

グラフィカル アプリケーションに加えて、コンソール アプリケーション「BulkPDF-Business-Console.exe」をインストールフォルダに保存します。コマンドライン機能の場合

GUI を介して構成を簡単に作成でき、それを使用できます。

保存を終了します。BulkPDF ファイルはテキスト ファイルであるため、後から GUI またはテキスト エディタを使用して構成を簡単に変更できます。

4.1 パラメーター一覧

以下は、使用可能なすべてのパラメータのリストです（任意の順序）。

個別にまたは組み合わせて使用できます。

パラメータ	説明グラフィカル
「C:\PATH\Config.BulkPDF」	アプリケーションの構成ファイルは常に必要です。
待って	出力を表示するためにコンソールを開いたままにします。
エラーを無視する	プログラムがエラーを無視し、条件下で可能な限り入力します。へのパスを上書きします
スプレッドシートファイルパス「C:\PATH\new.xlsx」を上書きします	スプレッドシート ファイル。
PDFソースファイルパスを上書き 「C:\PATH\new.pdf」	PDF ソース ファイルへのパスを上書きします。
上書き出力フォルダーパス 「C:\パス」	出力ディレクトリのパスを上書きします。 (注意: 末尾に \ を付けることはできません。そうでない場合は、「」が認識されず問題が発生する 「ファイル名の構文、 ディレクトリ名または ボリューム ラベルが正しくありません」) データの取
overwriteSelectedTableName 「新しいテーブル名」	得元のテーブル名をオーバーライドします。
useAutoMappingForFieldData 2	これまでのところ何もしていないすべてのフォームフィールドを試しました データ ソースの列を割り当てられたデータに自動的に割り当てます。 許可された番号を取得します レーベンシュタイン間の距離 フォームのフィールド名と列名。
電子メールの生成	PDF作成後、設定ファイルの情報に従ってメール生成を実行します。

4.2 コンソールアプリケーションの出力

```

C:\Users\... BulkPDF-Business-Console.exe
-----
BulkPDF Business
-----
2021.11.22.1638
----- Check command line arguments -----
Usage: BulkPDFBusinessConsole.exe "C:\Users\username\Desktop\Configuration.BulkPDF"
Or waiting: BulkPDFBusinessConsole.exe "C:\Users\username\Desktop\Configuration.BulkPDF" wait
Press Any Key to Continue..

```

このスクリーンショットでは、プログラム引数がない場合の出力を確認できます。

「BulkPDF-Business-Console.exe」を呼び出します。Aで見るプログラムのバージョンが表示され、その下に、構成を実行するためのプログラムの引数またはパラメーターがどのようなものであるかについてのヘルプが表示されます。の隣にBulkPDF 設定ファイルへのパスに「wait」を指定することもできます出力を表示するためにコンソールを開いたままにします。同じように以前に表にリストされた他のパラメーターもあります。続くコンソール アプリケーションを呼び出す方法の例をいくつか示します。

```

1 BulkPDF-Business-Console.exe "C:\PATH\Config.BulkPDF"
2 ...
3 BulkPDF-Business-Console.exe "C:\A\Config.BulkPDF"待機します
4 ...
5 BulkPDF-Business-Console.exe "C:\B\Config.BulkPDF"無視エラー
6 ...
7 BulkPDF-Business-Console.exe "C:\Config.BulkPDF"待機無視エラー
8 ...

```

```

-----
BulkPDF Business
-----
2021.11.22.1638
-----
Check command line arguments
Load BulkPDF Business license
SupportCode: [Redacted]
Load configuration file
Start filling process
-----
{"File": "C:\\Users\\[Redacted]\\[Redacted]1.pdf", "Message": null, "RowID": 1, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\[Redacted]\\[Redacted]2.pdf", "Message": null, "RowID": 2, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\[Redacted]\\[Redacted]3.pdf", "Message": null, "RowID": 3, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\[Redacted]\\[Redacted]4.pdf", "Message": null, "RowID": 4, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\[Redacted]\\[Redacted]5.pdf", "Message": null, "RowID": 5, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\[Redacted]\\[Redacted]6.pdf", "Message": null, "RowID": 6, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\[Redacted]\\[Redacted]7.pdf", "Message": null, "RowID": 7, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\[Redacted]\\[Redacted]8.pdf", "Message": null, "RowID": 8, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\[Redacted]\\[Redacted]9.pdf", "Message": null, "RowID": 9, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\[Redacted]\\[Redacted]10.pdf", "Message": null, "RowID": 10, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\[Redacted]\\[Redacted]11.pdf", "Message": null, "RowID": 11, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\[Redacted]\\[Redacted]12.pdf", "Message": null, "RowID": 12, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\[Redacted]\\[Redacted]13.pdf", "Message": null, "RowID": 13, "Succeed": true}

```

サポート コード:有効なライセンスが読み込まれている場合はその行にサポート コードが表示され、有効なライセンスがない場合は「デモ」というテキストが表示されます。サポートメールの件名にコードを追加してください。

B ファイル:新しく作成された完成した PDF フォームへのパス。

C メッセージ:エラーが発生した場合、エラー テキストと通常は値「null」が含まれます。

D RowID:それぞれの完成した PDF フォームに使用されるデータ ソースの行番号を出力します。

E 成功:充填が成功したかどうかを示します。(「真」 / 「偽」)

```

C:\Users\... BulkPDF-Business-Console.exe
{"File": "C:\\Users\\...\\873.pdf", "Message": null, "RowID": 873, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\874.pdf", "Message": null, "RowID": 874, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\875.pdf", "Message": null, "RowID": 875, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\876.pdf", "Message": null, "RowID": 876, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\877.pdf", "Message": null, "RowID": 877, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\878.pdf", "Message": null, "RowID": 878, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\879.pdf", "Message": null, "RowID": 879, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\880.pdf", "Message": null, "RowID": 880, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\881.pdf", "Message": null, "RowID": 881, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\882.pdf", "Message": null, "RowID": 882, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\883.pdf", "Message": null, "RowID": 883, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\884.pdf", "Message": null, "RowID": 884, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\885.pdf", "Message": null, "RowID": 885, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\886.pdf", "Message": null, "RowID": 886, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\887.pdf", "Message": null, "RowID": 887, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\888.pdf", "Message": null, "RowID": 888, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\889.pdf", "Message": null, "RowID": 889, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\890.pdf", "Message": null, "RowID": 890, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\891.pdf", "Message": null, "RowID": 891, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\892.pdf", "Message": null, "RowID": 892, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\893.pdf", "Message": null, "RowID": 893, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\894.pdf", "Message": null, "RowID": 894, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\895.pdf", "Message": null, "RowID": 895, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\896.pdf", "Message": null, "RowID": 896, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\897.pdf", "Message": null, "RowID": 897, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\898.pdf", "Message": null, "RowID": 898, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\899.pdf", "Message": null, "RowID": 899, "Succeed": true}
----- Finished -----
Press Any Key to Continue..
あ

```

Aでは、すべての PDF が正常に作成されたときに表示されるメッセージを確認できます。

```

Microsoft Visual Studio
fileMode mode, FileAccess access, FileShare share, FileOptions options, Int64 preallocationSize)\r\n at System.IO.File.
Create(String path)\r\n at BulkPDF_Business_Core.DocumentClasses.PDFTargetAcroforms.Save() in C:\\Users\\tadel\\Github
\\BulkPDF-Business\\BulkPDF-Business-Core\\DocumentClasses\\PDFTarget\\PDFTargetAcroforms.cs:line 80\r\n at BulkPDF_Bu
siness_Core.DocumentClasses.PDFFiller.FillPDFAndSave(Configuration20211011 rdc, Action`3 updatePercentageAction, Func`1
checkIfAbortedAction, Action`1 errorOccured, Action`1 newProcessedFilesInformation) in C:\\Users\\tadel\\Github\\BulkPDF
-Business\\BulkPDF-Business-Core\\DocumentClasses\\PDFFiller.cs:line 109, "RowID": 877, "Succeed": false}
{"File": "C:\\Users\\...\\878.pdf", "Message": null, "RowID": 878, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\879.pdf", "Message": null, "RowID": 879, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\880.pdf", "Message": null, "RowID": 880, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\881.pdf", "Message": null, "RowID": 881, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\882.pdf", "Message": null, "RowID": 882, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\883.pdf", "Message": null, "RowID": 883, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\884.pdf", "Message": null, "RowID": 884, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\885.pdf", "Message": null, "RowID": 885, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\886.pdf", "Message": null, "RowID": 886, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\887.pdf", "Message": null, "RowID": 887, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\888.pdf", "Message": null, "RowID": 888, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\889.pdf", "Message": null, "RowID": 889, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\890.pdf", "Message": null, "RowID": 890, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\891.pdf", "Message": null, "RowID": 891, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\892.pdf", "Message": null, "RowID": 892, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\893.pdf", "Message": null, "RowID": 893, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\894.pdf", "Message": null, "RowID": 894, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\895.pdf", "Message": null, "RowID": 895, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\896.pdf", "Message": null, "RowID": 896, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\897.pdf", "Message": null, "RowID": 897, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\898.pdf", "Message": null, "RowID": 898, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\899.pdf", "Message": null, "RowID": 899, "Succeed": true}
----- Finished with Errors -----
Press Any Key to Continue..
あ

```

Aでは、すべての PDF が正常に作成できなかった場合に示されるメッセージ（「エラーが発生して終了しました」）が表示されます。次に、上記の行でエラーを探す必要があります。コンソール アプリケーションの終了コードは、エラーがない場合は 0、少なくとも 1 つのエラーが発生した場合は 1 になるため、少なくとも 1 つの PDF ファイルを作成できなかったことにも注意してください。

したがって、たとえば、バッチ ファイルの %errorlevel% をチェックして、エラーがあったかどうかを確認できます。

```

{"File": "C:\\Users\\tadel\\Github\\BulkPDF-Business-Core\\DocumentClasses\\PDFTarget\\PDFTargetAcroforms.cs:line 80", "Message": null, "RowID": 871, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\tadel\\Github\\BulkPDF-Business-Core\\DocumentClasses\\PDFTarget\\PDFTargetAcroforms.cs:line 80", "Message": null, "RowID": 872, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\tadel\\Github\\BulkPDF-Business-Core\\DocumentClasses\\PDFTarget\\PDFTargetAcroforms.cs:line 80", "Message": null, "RowID": 873, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\tadel\\Github\\BulkPDF-Business-Core\\DocumentClasses\\PDFTarget\\PDFTargetAcroforms.cs:line 80", "Message": null, "RowID": 874, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\tadel\\Github\\BulkPDF-Business-Core\\DocumentClasses\\PDFTarget\\PDFTargetAcroforms.cs:line 80", "Message": null, "RowID": 875, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\tadel\\Github\\BulkPDF-Business-Core\\DocumentClasses\\PDFTarget\\PDFTargetAcroforms.cs:line 80", "Message": null, "RowID": 876, "Succeed": true}
SupportCode: 
a hier in zeile 877. Datei konnte nicht erstellt werden. [The process cannot access the file 'C:\\Users\\tadel\\Github\\BulkPDF-Business-Core\\DocumentClasses\\PDFTarget\\PDFTargetAcroforms.cs:line 80' because it is being used by another process.]
{"File": "C:\\Users\\tadel\\Github\\BulkPDF-Business-Core\\DocumentClasses\\PDFTarget\\PDFTargetAcroforms.cs:line 80", "Message": "System.IO.IOException: The process cannot access the file 'C:\\Users\\tadel\\Github\\BulkPDF-Business-Core\\DocumentClasses\\PDFTarget\\PDFTargetAcroforms.cs:line 80\r\n at Microsoft.Win32.SafeHandles.SafeFileHandle.CreateFile(String fullPath, FileMode mode, FileAccess access, FileShare share, FileOptions options)\r\n at Microsoft.Win32.SafeHandles.SafeFileHandle.Open(String fullPath, FileMode mode, FileAccess access, FileShare share, FileOptions options, Int64 preallocationSize)\r\n at System.IO.Strategies.OSFileStreamStrategy..ctor(String path, FileMode mode, FileAccess access, FileShare share, FileOptions options, Int64 preallocationSize)\r\n at System.IO.File.Create(String path)\r\n at BulkPDF_Business_Core.DocumentClasses.PDFTargetAcroforms.Save() in C:\\Users\\tadel\\Github\\BulkPDF-Business-Core\\DocumentClasses\\PDFTarget\\PDFTargetAcroforms.cs:line 80\r\n at BulkPDF_Business_Core.DocumentClasses.PDFFiller.FillPDFAndSave(Configuration20211011 rdc, Action`3 updatePercentageAction, Func`1 checkIfAbortedAction, Action`1 errorOccurred, Action`1 newProcessedFilesInformation) in C:\\Users\\tadel\\Github\\BulkPDF-Business-Core\\DocumentClasses\\PDFFiller.cs:line 109", "RowID": 877, "Succeed": false}
b {"File": "C:\\Users\\tadel\\Github\\BulkPDF-Business-Core\\DocumentClasses\\PDFTarget\\PDFTargetAcroforms.cs:line 80", "Message": null, "RowID": 878, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\tadel\\Github\\BulkPDF-Business-Core\\DocumentClasses\\PDFTarget\\PDFTargetAcroforms.cs:line 80", "Message": null, "RowID": 879, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\tadel\\Github\\BulkPDF-Business-Core\\DocumentClasses\\PDFTarget\\PDFTargetAcroforms.cs:line 80", "Message": null, "RowID": 880, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\tadel\\Github\\BulkPDF-Business-Core\\DocumentClasses\\PDFTarget\\PDFTargetAcroforms.cs:line 80", "Message": null, "RowID": 881, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\tadel\\Github\\BulkPDF-Business-Core\\DocumentClasses\\PDFTarget\\PDFTargetAcroforms.cs:line 80", "Message": null, "RowID": 882, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\tadel\\Github\\BulkPDF-Business-Core\\DocumentClasses\\PDFTarget\\PDFTargetAcroforms.cs:line 80", "Message": null, "RowID": 883, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\tadel\\Github\\BulkPDF-Business-Core\\DocumentClasses\\PDFTarget\\PDFTargetAcroforms.cs:line 80", "Message": null, "RowID": 884, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\tadel\\Github\\BulkPDF-Business-Core\\DocumentClasses\\PDFTarget\\PDFTargetAcroforms.cs:line 80", "Message": null, "RowID": 885, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\tadel\\Github\\BulkPDF-Business-Core\\DocumentClasses\\PDFTarget\\PDFTargetAcroforms.cs:line 80", "Message": null, "RowID": 886, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\tadel\\Github\\BulkPDF-Business-Core\\DocumentClasses\\PDFTarget\\PDFTargetAcroforms.cs:line 80", "Message": null, "RowID": 887, "Succeed": true}

```

サポート コード: サポート メールの件名にコードを追加してください。

ここでは、「メッセージ」にエラー テキストが表示されます。必要に応じて、コピーとしてサポートに送信できます。

5

設定ファイル

このファイルは JSON 形式 [5] でエンコードされており、人間が十分に判読可能であり、必要に応じて、テキスト エディタを使用して手動で編集できます。機能と可能性を分析するには、設定例を使用できます (「セクション2.1」を使用できます。

5.1 相対パス

設定ファイルでは相対パス[6]を使用できます。 %USERPROFILE% などの環境変数は、BulkPDF Business によって解決されます。設定例 (セクション2.1を参照) に従って、

データ ソース、PDF フォーム、出力ディレクトリを使用できます。

```
1  ...
2  "データソース": {
3    "$id": "40",
4    "$type": "...",
5    "filePath": ".\\ProcessExample.xlsx"
6  },
7  ...
```

```
1 ...
2   "PDFソース":{
3     "id": "48",
4     "$type": ...、
5     "著者": ""、
6     "作成日": "2021-12-01T14:14:19",
7     「クリエイター」: ...,
8     "IsXfa": false、
9     「キーワード」: 「」、
10    "更新日": "2021-12-03T19:14:42",
11    「プロデューサー」: ...、
12    "主題": ""、
13    "タイトル": ""、
14    "ソースファイルパス": ".\\ProcessExample.pdf"
15  },
16  ...
```

```
1 ...
2   "出力パス": "%USERPROFILE%\\Downloads",
3   ...
```

5.2 設定ファイルの抜粋例

以下は、「DataSource」と「PDFSource」を除く、いくつかの例の抜粋です。
これらはすでに対処されているため。

5.2.1 通常フィールド

```
1  ...
2  "ノーマルフィールド": [
3    {
4      "$id": "2",
5      "$type": "...",
6      "フィールドタイプ": "テキストボックス",
7      "現在の値": "",
8      "フィールド設定可能なオプション": {
9        "$id": "3",
10       "$type": "...",
11       "値ソース": {
12         "$id": "4",
13         "$type": "...",
14         "絶え間ない": "",
15         "データソース": "名"
16       },
17       「書き込み保護」: false
18     },
19     "HasBeenEdited": true,
20     "名前の名前",
21     「プレビュー」: 「名」
22   },
23  ...
```

5.2.2 特殊フィールド

```
1  ...
2  "特殊フィールド": [
3    {
4      "$id": "32",
5      "$type": "...、
6      「バーコード」: {
7        "$id": "33",
8        "$type": "...QRバーコード...、
9        「バージョン」: 1、
10       「エラー修正レベル」: 7、
11       「入力モード」: 2、
12       「サイズ」: 「100,100」、
13  ...
```

5.2.3 グローバルオプション

```
1  ...
2  "印刷すべき行インデックス": [],
3  ...
4  「圧縮」: false、
5  ...
6  「GlobalWriteProtection」: false、
7  ...
8  "出力パス": "%USERPROFILE%\Downloads",
9  ...
10 "SelectedTableName": "Table1 (顧客データ)"
11 ...
```

5.2.4 ファイル名ジェネレーター

```
1  ...
2  "ファイル名ジェネレーター": {
3    "$id": "41",
4    "$type": "...、
5    "ファイル名パーツ": [
6      {
7        "$id": "42",
8        "$type": "...、
9        "プレビュー": "2021年12月17日",
10       "タイプ": "日付/時刻",
11       "データ": "dd.MM.yyyy",
12       「識別子」: 8
13     },
14  ...
```


5.2.5 電子メール

```

1  ...
2  "手紙": {
3      "$id": "52",
4      "$type": ...,
5      「ファイルタイプ」: 0、
6      「送信機」: {
7          "$type": ...,
8          "定数": "julien.bartels@bulkpdf.de<ジュリアン・バーテルス>"
9      },
10     "主題": {
11         "$type": ...,
12         "Constant": "{location} では現在、前向きな発展が見られます"
13     },
14     「ドラフト」: true、
15     "受信者": {
16         "$type": ...,
17         「定数」: 「support@bulkpdf.de<サポートチーム>」
18     },
19     "受信者CC": {
20         "$タイプ": ...
21     },
22     "受信者BCC": {
23         "$タイプ": ...
24     },
25     "本文": {
26         "$type": ...,
27         "定数": "{姓 (テキスト ボックス)} 様、\r\n\r\n
28         {place} の現在の発展は極端だと思います
29         ポジティブ。関連するドキュメントを添付します。 \r\n\r\n
30         敬具"
31     },
32     "本文HTML": {
33         "$タイプ": ...
34     },
35     "LetterImportanceValueSource": {
36         "$type": ...,
37         「定数」: 「2」
38     },
39     "AddAttachmentsGeneratedPDFFilePath": true、
40     "添付ファイル追加ファイルパス": {
41         "$type": ...,
42         "定数": ".\\ProcessExample.pdf"
43     }
44 }
45 ...

```

6

ヒントとコツ

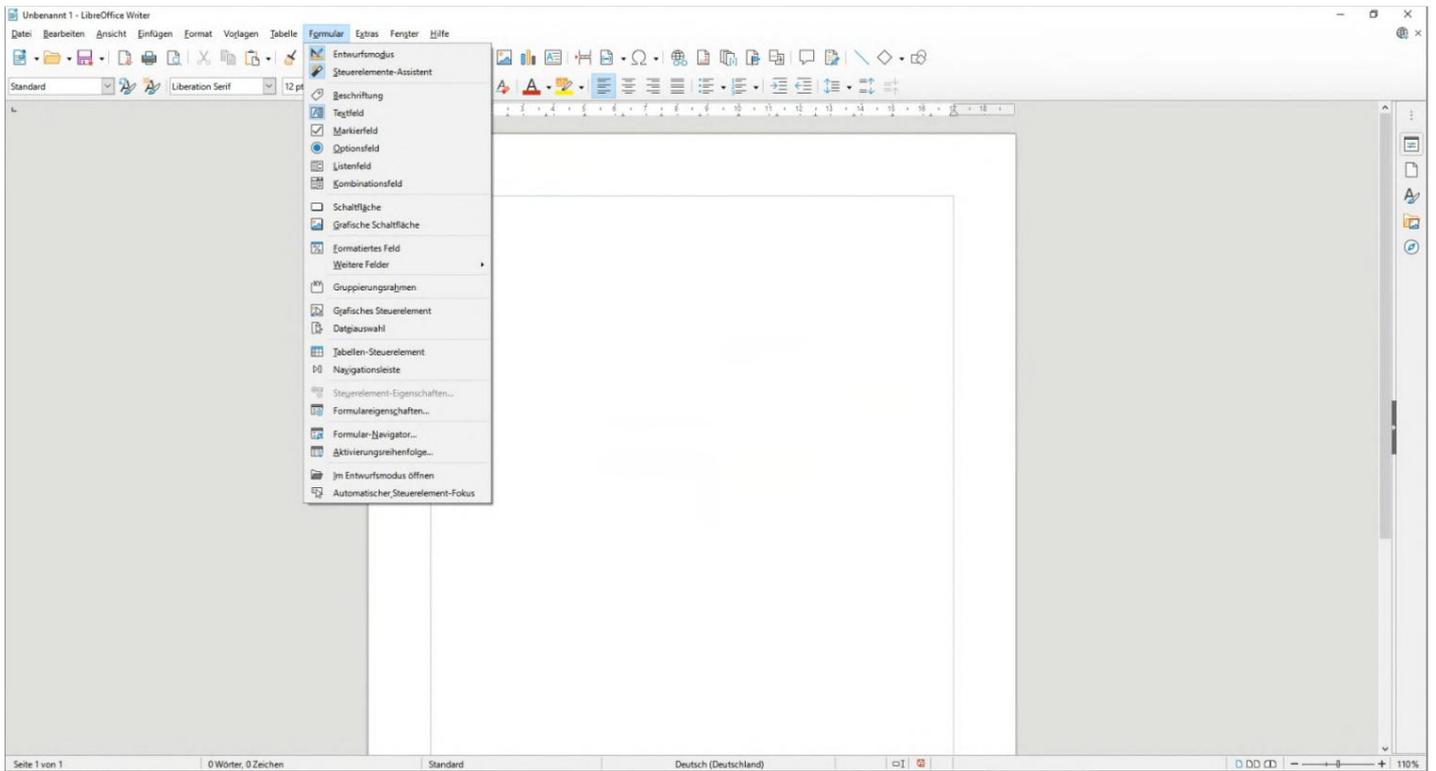
PDF の作成に役立ついくつかのヒントとコツ
書類が役に立ちます。

6.1 PDFescape を使用して PDF フォームを作成または修復する

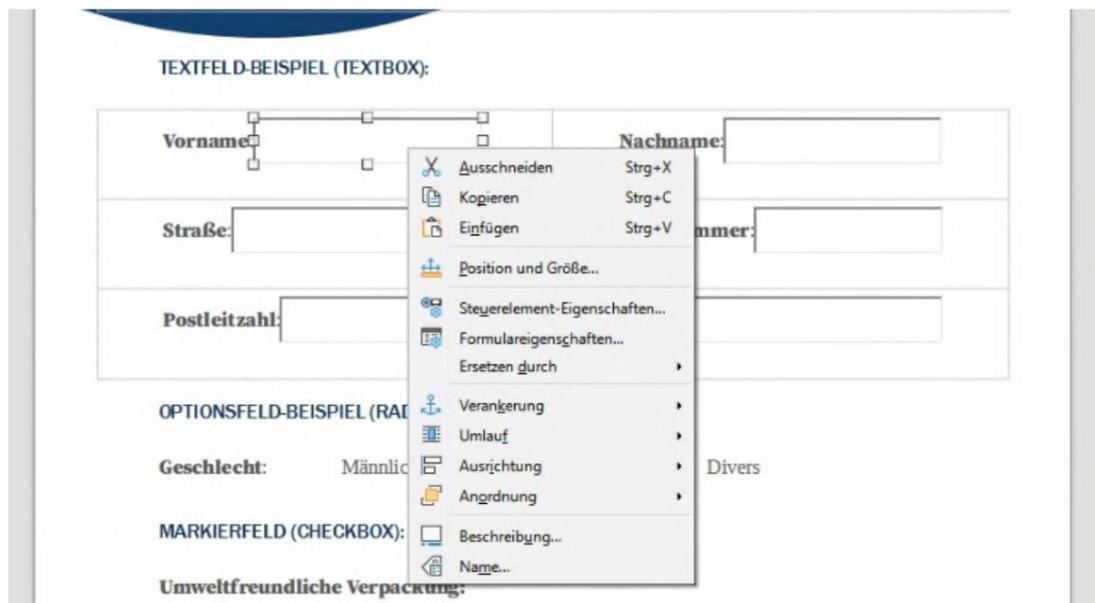
公開 PDF フォームを作成および修復するには、<https://www.pdfescape.com/> をお勧めします。一部の PDF フォームでは、PDF を一度アップロードし、すぐに再度ダウンロードすると、PDF が最も一般的な PDF リーダーと再び互換性を持つようになります。[4]

6.2 LibreOffice / OpenOffice Writer を使用して PDF フォームを作成する

LibreOffice はオフィス ソフトウェアをまとめたものです。このソフトウェアは完全に無料で、Microsoft Office と互換性があり、<http://www.libreoffice.org/> から入手できます。ダウンロード可能です。このソフトウェアには PDF フォームを作成するオプションが用意されています[3]。これが実際にどのように機能するかを例として以下に示します。

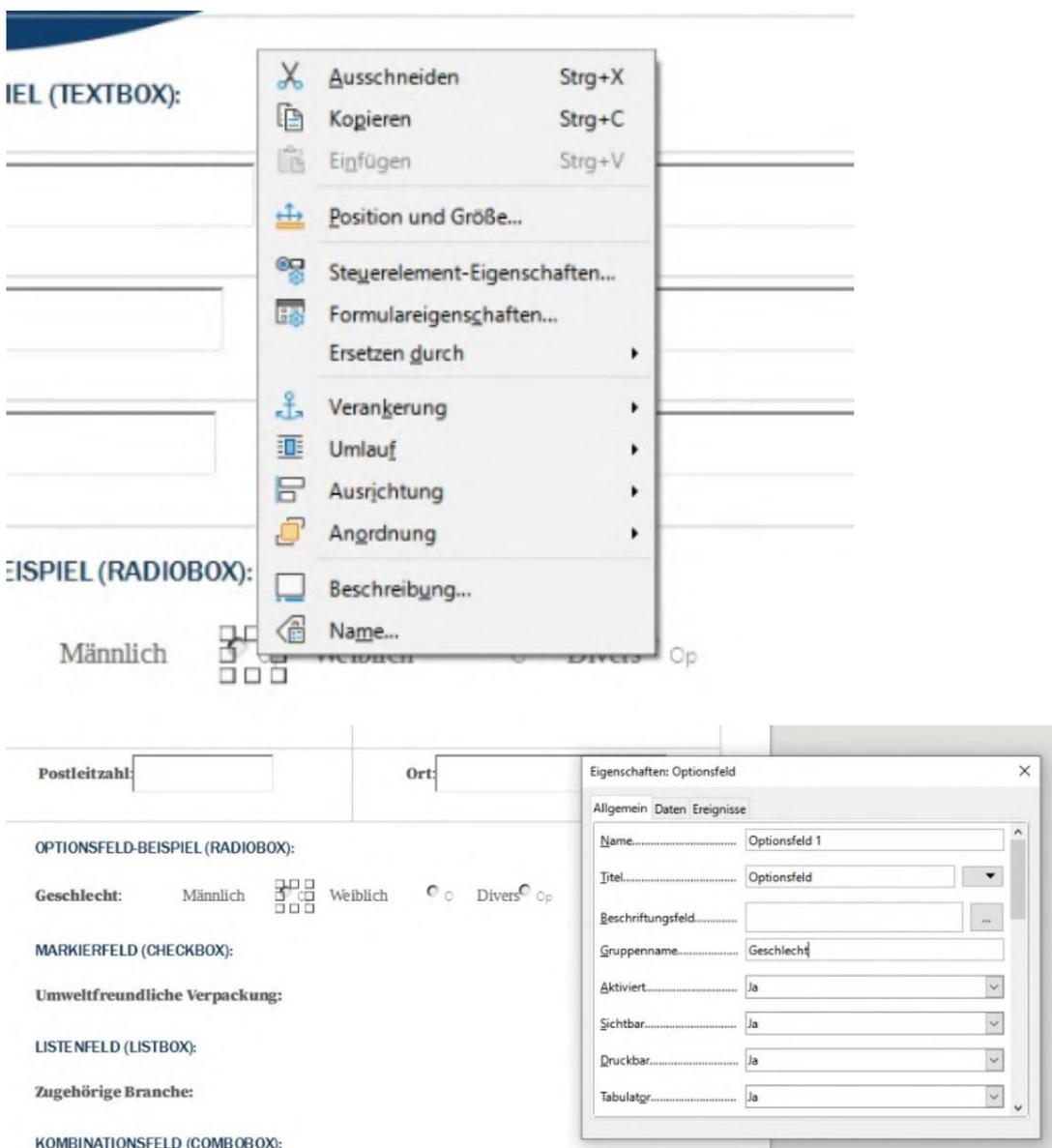


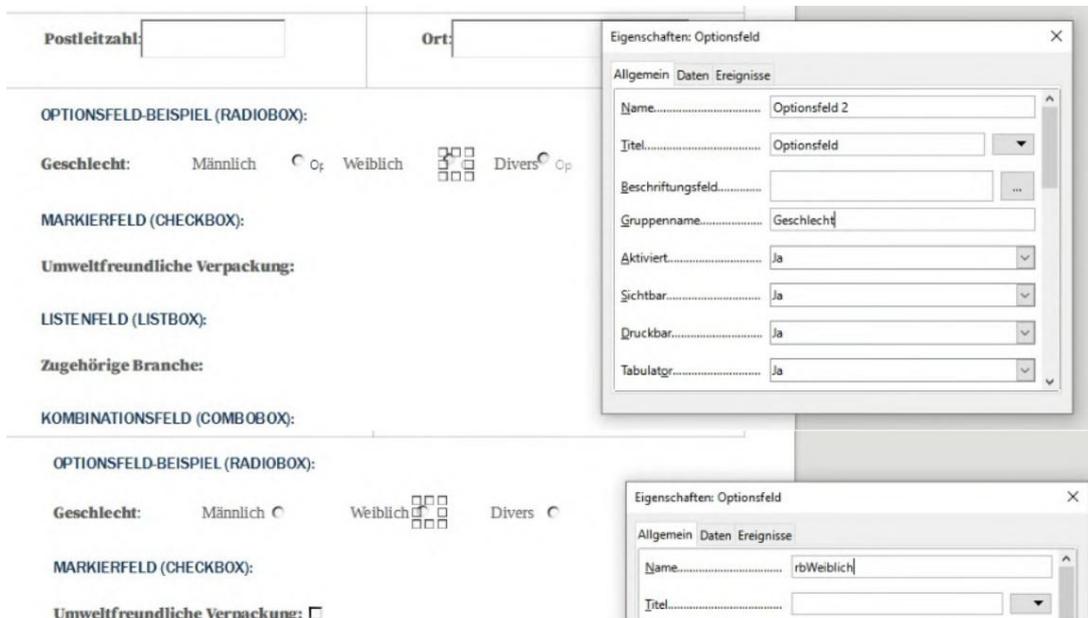
6.2.1 テキストフィールドの例 (テキストボックス)



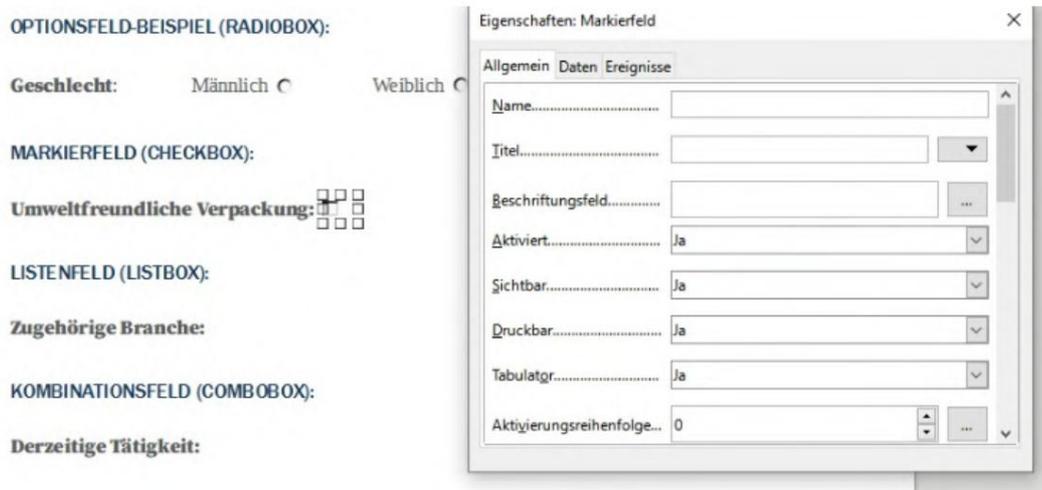


6.2.2 ラジオボタンの例 (ラジオボタン)





6.2.3 チェックボックス



6.2.4 リストボックス

The image displays a form design interface with several input fields and a context menu. The fields include:

- Straße:** Text input field
- Hausnummer:** Text input field
- Postleitzahl:** Text input field
- OPTIONSFELD-BEISPIEL (RADIOBOX):** Radio buttons for **Geschlecht:** Männlich (selected), Weiblich
- MARKIERFELD (CHECKBOX):** **Umweltfreundliche Verpackung:**
- LISTENFELD (LISTBOX):** **Zugehörige Branche:** List box with a context menu open over it.

The context menu for the list box contains the following options:

- Ausschneiden (Strg+X)
- Kopieren (Strg+C)
- Einfügen (Strg+V)
- Position und Größe...
- Steuerelement-Eigenschaften...
- Formulareigenschaften...
- Ersetzen durch >
- Verankerung >
- Umlauf >
- Ausrichtung >
- Anordnung >
- Beschreibung...
- Name...

Below the main form, there is a detailed view of the list box properties:

OPTIONSFELD-BEISPIEL (RADIOBOX): Geschlecht: Männlich (selected), Weiblich, Divers

MARKIERFELD (CHECKBOX): Umweltfreundliche Verpackung:

LISTENFELD (LISTBOX): Zugehörige Branche: [List box]

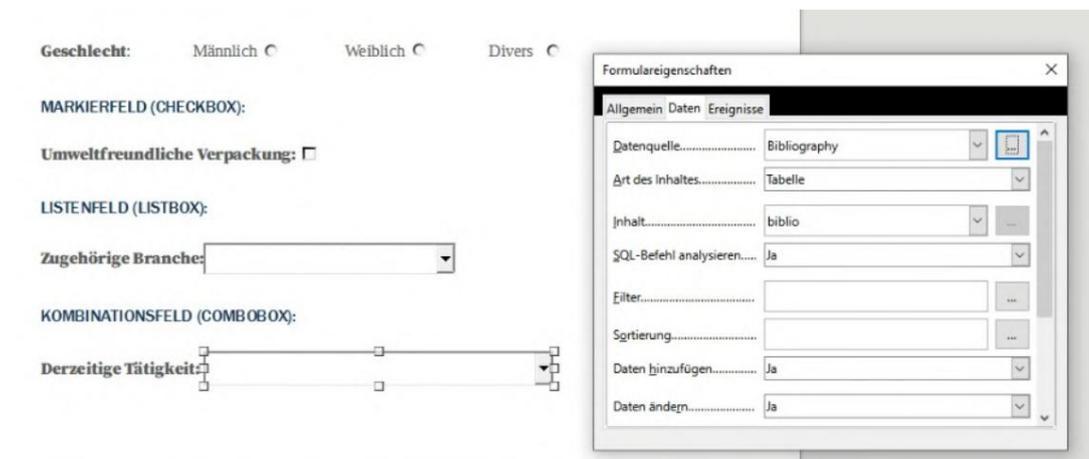
KOMBINATIONSFELD (COMBOBOX): Derzeitige Tätigkeit:

Eigenschaften: Listenfeld (Properties dialog):

- Datenfeld: [Dropdown]
- Eingabe erforderlich: Nein
- Art des Listeninhalts: Werteliste
- Listeninhalt: ITIndustrialCake-Factory
- Gebundenes Feld: 1

A small preview window shows the list content: IT Industrial Cake-Factory.

6.2.5 コンボボックス



6.3 署名の作成

署名は Acrobat Reader で作成できます。これに関する情報は、<https://helpx.adobe.com/sign/using/create-electronic-signature> で参照できます。html/. Acrobat を使用して署名を作成すると、その署名は .pfx ファイルとしてパス%appdata%\Adobe\Acrobat\DC\Securityにあります。この .pfx ファイルは、BulkPDF で使用できます。（パスワードの入力にご注意ください。）

6.4 日付のフォーマット

日付の書式設定には書式設定文字列が使用されます。この文字列は、形式を定義するいくつかの文字で構成されます。形式dd.mm.yyyyは、たとえば日、月、年を出力する有効な日付形式です(例: 2021 年 11 月 25 日)。

Microsoft .NET ドキュメント[2]の次の表を参照してください。

フォーマット指定子	説明 ¹ から 31 ま	例
「d」	での日付。 詳細: 「d」カスタム形式指定子。	2009-06-01T13:45:30 ->1 2009-06-15T13:45:30 ->15
「dd」	01 から 31 までの月の日。 詳細: 「dd」カスタム形式指定子。	2009-06-01T13:45:30 ->01 2009-06-15T13:45:30 ->15
「ddd」	曜日の短縮名。 詳細: 「ddd」カスタム形式指定子。	2009-06-15T13:45:30 ->月(en-US) 2009-06-15T13:45:30 ->(る-る) 2009-06-15T13:45:30 ->ルン。(フランス-フランス)
「dddd」	曜日の完全な名前。 詳細: 「dddd」カスタム形式指定子。	2009-06-15T13:45:30 ->月曜日(米国) 2009-06-15T13:45:30 ->(る-る) 2009-06-15T13:45:30 ->ルンディ(フランス-フランス)
「f」	日付と時刻の値の 10 分の 1 秒。 詳細については、「f」カスタム形式指定子を参照してください。	2009-06-15T13:45:30.6170000 ->6 2009-06-15T13:45:30.05 ->0

「ふ」	日付と時刻の値の 100 分の 1 秒。 詳細: 「ff」カスタム形式指定子。	2009-06-15T13:45:30.6170000->61 2009-06-15T13:45:30.0050000->00
「ふふ」	日付と時刻の値のミリ秒。 詳細: 「fff」カスタム形式指定子。	2009/6/15 13:45:30.617->617 2009/6/15 13:45:30.0005->000
「ふふふ」	日付と時刻の値の 10,000 分の 1 秒。 詳細: 「ffff」カスタム形式指定子。	2009-06-15T13:45:30.6175000->6175 2009-06-15T13:45:30.0000500->0000
「ふふふふ」	日付と時刻の値の 100,000 分の 1 秒。 詳細: 「fffff」カスタム形式指定子。	2009-06-15T13:45:30.6175400->61754 2009/6/15 13:45:30.000005->00000
「ふふふふふ」	日付と時刻の値の 100 万分の 1 秒。 詳細: 「ffffff」カスタム形式指定子。	2009-06-15T13:45:30.6175420->617542 2009-06-15T13:45:30.0000005->000000
「ふふふふふふ」	日付と時刻の値の 1000 万分の 1 秒。 詳細: 「fffffff」カスタム形式指定子。	2009-06-15T13:45:30.6175425->6175425 2009-06-15T13:45:30.0001150->0001150
「ふ」	ゼロ以外の場合、日付と時刻の値の 10 分の 1 秒。 詳細: 「F」カスタム形式指定子。	2009-06-15T13:45:30.6170000->6 2009-06-15T13:45:30.0500000->(出力なし)
「FF」	ゼロ以外の場合、日付と時刻の値の 100 分の 1 秒。 詳細については、「FF」カスタム形式指定子を参照してください。	2009-06-15T13:45:30.6170000->61 2009-06-15T13:45:30.0050000->(出力なし)
「FFF」	ゼロ以外の場合、日付と時刻の値のミリ秒。 詳細: 「FFF」カスタム形式指定子。	2009-06-15T13:45:30.6170000->617 2009-06-15T13:45:30.0005000->(出力なし)
「FFFF」	ゼロ以外の場合、日付と時刻の値の 10,000 分の 1 秒。 詳細: 「FFFF」カスタム形式指定子。	2009-06-15T13:45:30.5275000->5275 2009-06-15T13:45:30.0000500->(出力なし)
「ふふふふ」	ゼロ以外の場合、日付と時刻の値の 100,000 分の 1 秒。 詳細: 「FFFFFF」カスタム形式指定子。	2009-06-15T13:45:30.6175400->61754 2009-06-15T13:45:30.0000050->(出力なし)
「FFFFFFF」	ゼロ以外の場合、日付と時刻の値の 100 万分の 1 秒。 詳細: 「FFFFFFF」カスタム形式指定子。	2009-06-15T13:45:30.6175420->617542 2009-06-15T13:45:30.0000005->(出力なし)
「FFFFFFFFF」	ゼロ以外の場合、日付と時刻の値の 1000 万分の 1 秒。 詳細: 「FFFFFFFF」カスタム形式指定子。	2009-06-15T13:45:30.6175425->6175425 2009-06-15T13:45:30.0001150->000115
「g」、「G」	時代とか時代とか。 詳細: 「g」または「G」カスタム形式指定子。	2009-06-15T13:45:30.6170000->AD
「h」	1 から 12 までの 12 時間制を使用した時間。 詳細: 「h」カスタム形式指定子。	2009-06-15T01:45:30->1 2009-06-15T13:45:30->1
「ふーん」	01 から 12 までの 12 時間制を使用した時間。 詳細: 「hh」カスタム形式指定子。	2009-06-15T01:45:30->01 2009-06-15T13:45:30->01
「H」	0 から 23 までの 24 時間制を使用した時間。 詳細: 「H」カスタム形式指定子。	2009-06-15T01:45:30->1 2009-06-15T13:45:30->13
「へー」	00 から 23 までの 24 時間時計を使用した時間。 詳細: 「HH」カスタム形式指定子。	2009-06-15T01:45:30->01 2009-06-15T13:45:30->13
「き」	タイムゾーン情報。 詳細: 「K」カスタム形式指定子。	DateTime 値の場合: 2009-06-15T13:45:30、子が指定されていません -> 2009-06-15T13:45:30、子 UTC ->Z 2009-06-15T13:45:30、親切ローカル -> -07:00 (ローカル コンピューターの設定によって異なります) DateTimeOffset 値の場合: 2009-06-15T01:45:30-07:00 -> -07:00 2009-06-15T08:45:30+00:00 -> +00:00
「ん」	0 から 59 までの分。 詳細: 「m」カスタム形式指定子。	2009-06-15T01:09:30->9 2009-06-15T13:29:30->29
「うーん」	分:00 から 59 まで。 詳細: 「mm」カスタム形式指定子。	2009-06-15T01:09:30->09 2009-06-15T01:45:30->45
「ま」	1 から 12 までの月。 詳細: 「M」カスタム形式指定子。	2009-06-15T13:45:30->6
「MM」	01 から 12 までの月。 詳細: 「MM」カスタム形式指定子。	2009-06-15T13:45:30->06

「ラーン」	月の略称。 詳細: 「MMM」カスタム形式指定子。	2009-06-15T13:45:30 ->ジュン (en-US) 2009-06-15T13:45:30 ->ジュン (フランス-フランス) 2009-06-15T13:45:30 ->ジュン (ZAへ)
「ラーン」	月の完全な名前。 詳細: 「MMMM」カスタム形式指定子。	2009-06-15T13:45:30 ->6月 (en-US) 2009-06-15T13:45:30 ->6月 (da-DK) 2009-06-15T13:45:30 ->u6月 (ZAへ)
「ず」	2 番目は 0 から 59 までです。 詳細: 「s」カスタム形式指定子。	2009-06-15T13:45:09 ->9
「SS」	2 番目は 00 から 59 までです。 詳細: 「ss」カスタム形式指定子。	2009-06-15T13:45:09 ->09
「て」	AM/PM 指定子の最初の文字。 詳細: 「t」カスタム形式指定子。	2009-06-15T13:45:30 ->P (en-US) 2009-06-15T13:45:30 -> (はい-JP) 2009-06-15T13:45:30 ->(フランス-フランス)
「dd」	AM/PM 指定子。 詳細: 「t」カスタム形式指定子。	2009-06-15T13:45:30 ->PM (en-US) 2009-06-15T13:45:30 -> (はい-JP) 2009-06-15T13:45:30 ->(フランス-フランス)
「年」	0 から 99 までの年。 詳細: 「y」カスタム形式指定子。	0001-01-01T00:00:00 ->1 0900-01-01T00:00:00 ->0 1900-01-01T00:00:00 ->0 2009-06-15T13:45:30 ->9 2019-06-15T13:45:30 ->19
「ええ」	00 から 99 までの年。 詳細: 「yy」カスタム形式指定子。	0001-01-01T00:00:00 ->01 0900-01-01T00:00:00 ->00 1900-01-01T00:00:00 ->00 2019-06-15T13:45:30 ->19
「ええ」	最低 3 桁の年。 詳細: 「yyy」カスタム形式指定子。	0001-01-01T00:00:00 ->001 0900-01-01T00:00:00 ->900 1900-01-01T00:00:00 ->1900 2009-06-15T13:45:30 ->2009
「ええ」	4 桁の数字で表される年。 詳細: 「yyyy」カスタム形式指定子。	0001-01-01T00:00:00 ->0001 0900-01-01T00:00:00 ->0900 1900-01-01T00:00:00 ->1900 2009-06-15T13:45:30 ->2009
「ええ」	5 桁の数字で表される年。 詳細: 「yyyyy」カスタム形式指定子。	0001-01-01T00:00:00 ->00001 2009-06-15T13:45:30 ->02009
「ズ」	UTC からのオフセット時間 (先行ゼロなし)。 詳細については、「z」カスタム形式指定子を参照してください。	2009-06-15T13:45:30-07:00 ->-7
「ズ」	UTC からの時間オフセット」桁の値の場合は先頭にゼロが付きます。 詳細: 「zz」カスタム形式指定子。	2009-06-15T13:45:30-07:00 ->-07
「ズズ」	UTC からの時間と分。 詳細: 「zzz」カスタム形式指定子。	2009-06-15T13:45:30-07:00 ->-07:00
「」	時刻区切り文字。 詳細: 「」カスタム形式指定子。	2009-06-15T13:45:30 ->: (en-US) 2009-06-15T13:45:30 ->。(イットIT) 2009-06-15T13:45:30 ->: (はい-JP)
「/」	日付区切り文字。 詳細: 「/」カスタム形式指定子。	2009-06-15T13:45:30 ->/ (en-US) 2009-06-15T13:45:30 ->: (ar-DZ) 2009-06-15T13:45:30 ->。(TR-TR)

「文字列」	リテラル文字列区切り文字。	2009-06-15T13:45:30 ("arr: h:mt) ->arr: 1:45 P
'弦'	詳細: 文字リテラル。	2009-06-15T13:45:30 ('arr: h:mt) ->arr: 1:45 P
%	次の文字をカスタム書式指定子として定義します。 詳細: 単一のカスタム形式指定子の使用。	2009-06-15T13:45:30 (%h) ->1
\	エスケープ文字。 詳細については、「文字リテラル」および「エスケープ文字の使用」を参照してください。	2009-06-15T13:45:30 (時間 \時間) ->1 時間
他の文字	文字は変更されずに結果文字列にコピーされます。 詳細: 文字リテラル。	2009-06-15T01:45:30 (arr hh:mm t) ->arr 01:45 A

6.5 接続文字列

有効な接続文字列の例は、ユーザー名とパスワードを使用した接続の場合です。

```
1 サーバー=myServer;データベース=myDataBase;ユーザーID=myUser;パスワード=myPassword;
```

Active Directory ログインを使用した「信頼された接続」の場合は、次のとおりです。

```
1 サーバー=myServer;データベース=myDataBase;Trusted_Connection=True;
```

さらなる例については、次の Web サイト<https://www.connectionstrings.com/sql-server/>をご覧ください。

6.6 ドキュメントを同時に印刷する

作成したすべてのドキュメントを同時に物理的に印刷する場合は、プログラムの最後のページで「すべてのドキュメントを結合して標準 PDF ビューアを開く (大量印刷用など)」ボタンを使用できます。さらに確認した後、すべてのドキュメントが再作成され、完全な PDF ドキュメントに結合されます。作成されたドキュメントは標準の PDF ビューアで開かれ、そこからすぐに印刷できます。

そこでは、印刷オプションを使用して、印刷しないページを設定することもできます。



よくある質問

(よくある質問)

7.1 BulkPDF Business のシステム要件は何ですか？

Windows 7、Windows 8、Windows 10、および Windows 11 と互換性があります。

インストールには約 500 MB のストレージ容量が必要です。このプログラムでは、ライセンスのアクティベーションのために 1 回限りのインターネット接続が必要です。

7.2 BulkPDF をインストールできません。 [Windows SmartScreen]

ダウンロードしたインストールファイルをダブルクリックすると、

「コンピューターは Windows によって保護されました」または「Windows Smartscreen により不明なアプリの起動が妨げられました」などのメッセージが返される必要があります

インストールはウィンドウ内の「詳細」というテキストをクリックします。

そして「とにかく実行」をクリックします。

このようなメッセージは、実行可能プログラムが比較的最近作成され、Microsoft がまだ認識していない場合に Microsoft によって表示されます。マイクロソフト

バックグラウンドで exe ファイルを自動的にアップロードし、分析してから、

プログラムのバージョンがすでに多くのコンピュータでしばらく使用されている場合は、このメッセージを他の人に表示しないでください。したがって、これは、

残念ながら、プログラムの新しいバージョンが登場するたびに問題が再発します。

7.3 私のファイルやデータはアップロードされるのか、それとも残されるのか

どういわけか私のコンピュータ？

いいえ！データはコンピュータ上にのみ残ります。BulkPDFは、データを何らかのサーバーにアップロードします。プログラムは、少数の場合にのみBulkPDFサーバーへの接続を確立します。これらのケースには、ワンタイムライセンスのアクティベーション、プログラム アップデートの検索、ライセンスが現在複数のコンピュータで同時に使用されているかどうかの確認などが含まれます。

7.4 プログラムは Mac OS でも利用できますか？

いいえ、ただし「Parallels Desktop for Mac」を使用すると、Mac 上でプログラムを実行できます。
(<https://www.Parallels.com/>を参照)

7.5 1 つのライセンスを同時に使用できるユーザーは何名ですか？

間違いないですか？

これは選択したオファーによって異なります。個々のライセンスは同時に 1 人のユーザーのみが使用できますが、ターミナル サーバー ライセンスは、オファーに応じて、たとえば複数のユーザーが同時に使用できます。

多分。

7.6 1 つのライセンスは何台のコンピュータで使用できますか？

ライセンスは複数のコンピュータにインストールできますが、同時に使用できるのはそのうちの 1 台のコンピュータのみです。アプリケーションの起動時および使用中に、ライセンスがすでに複数のコンピュータで使用されているかどうかチェックされます。この場合、そのコンピュータが再びソフトウェア ライセンスを使用する唯一のコンピュータになるまで、プログラムはデモ モードに戻されます。それまでは、進行状況が失われることはなく、プログラムが自動的に終了したりすることはありません。唯一の違いは、作成された PDF ドキュメントにウォーターマークが表示されることと、同時に作成できる PDF ドキュメントの数が再び制限されることです。

7.7 「ライセンス キーは現在使用されています」というメッセージが表示されます

すでにいくつかのデバイスで使用されています。」それはどういう意味ですか？

これは、ライセンスが過去 15 分間に複数のコンピューターで使用されており、別のコンピューターで同時に使用できないことを意味します。過去 15 年間に複数のコンピュータでライセンスを使用した場合

同時に数分経過し、プログラムが再び閉じられた場合、遅くとも 15 分後には現在のコンピュータで BulkPDF Business を再度実行できるようになります。これに当てはまらず、現在プログラムが実行されている他のコンピュータを知らない場合は、ライセンス コードの盗難の可能性を排除できません。この場合は、サポートに連絡して、仕事に戻るための解決策を一緒に見つけてください。

7.8 PDF プレビューにフォームフィールドが表示されない

正しい位置またはずれた位置

この場合は、「システム PDF ビューアで開く」ボタンを使用し、そこで文書が正しく表示されるかどうかを確認してください。まれに、プレビューでは、Acrobat Reader や Web ブラウザーなどとは異なる方法で PDF ファイルが表示用に処理されることがあります。

7.9 BulkPDF Business には PDF フォーム フィールドがありません

表示される

BulkPDF では、PDF ドキュメント内に PDF フォーム要素が必要です。たとえば、PDF ドキュメントを印刷して再度スキャンすると、そのドキュメントは PDF 形式のドキュメントではなくなります。PDFドキュメント

PDF 形式のドキュメントに含まれる技術的な背景データがなければ、単なる複数ページの画像になります。このバックグラウンド データがないと、BulkPDF Business はフィールドに入力できなくなります。

解決策 1 BulkPDF Business の特殊フィールドを使用して画像をオーバーレイできます。

たとえば、テキスト フィールド、チェック ボックス、またはラジオ ボタンを特別フィールドとして画像上に配置し、その特別フィールドにデータ ソースを入力できます。詳細については、[セクション1.5.4](#) を参照してください。

解決策 2適切なソフトウェアを使用して、新しい PDF フォーム要素を作成し、画像に表示されているフィールド上に配置できます。BulkPDF Business はこれを検出し、フィールドに再度自動的に入力できるようにします。

7.10 Acrobat Reader で Unicode 文字が正しく表示されない

(中国語、キリル文字、アラビア語など)

Acrobat Reader で Unicode 文字を正しく表示するには、追加のフォント パッケージが必要です。

32 ビット インストールの場合、フォント パッケージは<https://helpx.adobe.com/acrobat/kb/windows-font-packs-32-bit-reader.html>で見つけるために。

64 ビットのインストールの場合、フォント パッケージは<https://helpx.adobe.com/acrobat/kb/font-pack-spelling-dictionary-64-bit-windows.html>準備完了ダウンロード。

7.11 Windows では常に間違った PDF ビューアが開きます

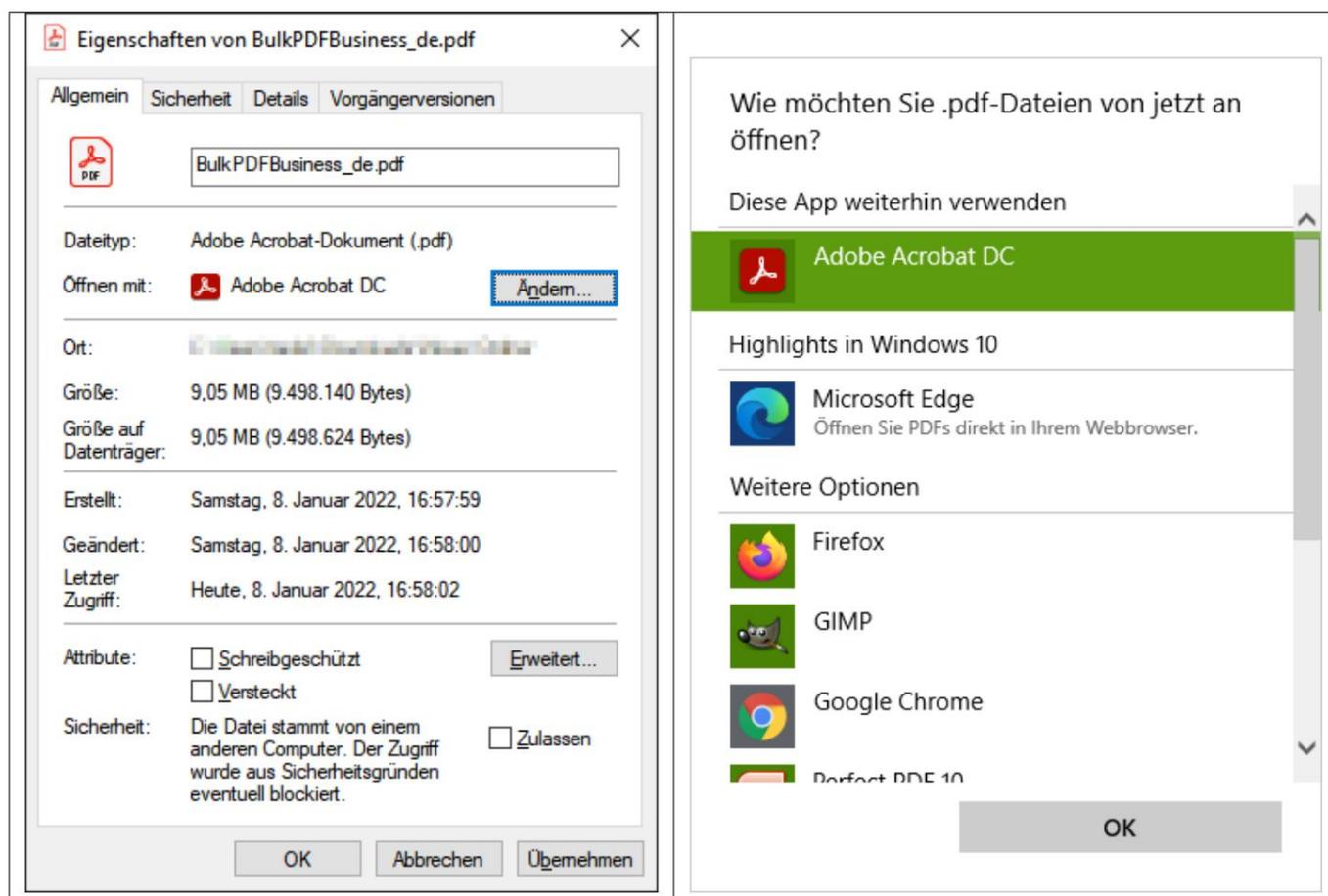
または Web ブラウザ (Chrome、Edge) で PDF ファイルを表示します

たとえば、常に Edge ブラウザまたは別の不要なブラウザを使用する場合

PDF ファイルをダブルクリックしたときにプログラムが開く場合は、デフォルトの PDF ビューア プログラムが正しく設定されていません。これはいずれかをクリックすることで変更できます

PDFファイルを右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。開いたウィンドウの「変更」ボタンの「プログラムから開く:」項目で、標準のPDFビューアプログラムを設定するメニューが開きます。最も可能性の高いケースでは、それを選択するでしょう

「Adobe Acrobat」プログラムがインストールされている場合。



7.12 System.InvalidCastException: データをブール値に変換できませんでした

このエラーは、「チェックボックス」に非ブール値 (yes または no) を書き込もうとしたときに発生します。受け入れられる値については、第1.4.2章をもう一度読んでください。

7.13 System.IndexOutOfRangeException: "X 個のラジオ ボタンのみ

グループで見つかりました。選択されたインデックスは Y でした。」

このエラーは、「ラジオ ボタン」に使用されている数値よりも大きい数値が使用されている場合に発生します。合計があります。たとえば、「ラジオ ボタン」グループに「ラジオ ボタン」が 3 つしかないときに、フィールドに 4 を入力しようとする、エラーが発生します。このインデックスには「ラジオ ボタン」があるため、1 ~ 3 が有効な値であると考えられます。4 の場合は「ラジオボタン」がないため、エラーが表示されます。

7.14 System.InvalidOperationException: 「Microsoft.ACE.OLEDB.12.0」プロバイダーがローカル マシンに登録されていません。

このエラーは、Microsoft Access データベース エンジン 2010 Redis が実行されている場合に発生します。tributable 64 ビット バージョンがコンピュータにインストールされていません。これは Mi- によって実行できます。

クロソフト: <http://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=13255>

7.15 Excel ファイルでデータが認識されません。

この場合、必要なデータ構造が維持されていない可能性があります。たとえば、テーブルの先頭に空の列または空の行があります。最初の行にテキストとして列名が指定されていない場合も、列は空とみなされます。もう一度例を見てください

セクション1.3.2で説明します。

7.16 日付フィールドも 00:00:00 として指定されます。どうやってこれは削除できますか？

日付から時間を削除するには、フィールドで時刻/日付の書式設定を有効にし、適切な書式設定文字列を挿入する必要があります (セクション6.4 を参照)。たとえば、書式設定文字列「dd.MM.yyyy」(大文字と小文字が区別されます)は「06/16/2022」となります。たとえば、書式設定文字列「MM-dd-yyyy」の結果は次のようになります。

「06-16-2022」と「dd\MM\yyyy」、たとえば「16/06/2022」。詳細については、セクション3.3.8を参照してください。

7.17 データ ソース ファイル (Excel、CSV など) がある、または PDF ファイルを移動しました。私のBulkPDFはまだ動作しますか? ビジネス設定ファイル?

はい。ただし、データ ソースまたは PDF ファイルへの有効なファイル パスが含まれている場合に限られます。構成
ファイルを開くと、BulkPDF Business はファイルが見つからなかったことを通知し、そのファイルの新しいファイ
ル パスを選択できるようにします。その後、設定は再び通常どおりにロードされます。

7.18 バッチ スクリプト経由でコンソール アプリケーションを呼び出すと、ドイツ語のウムラウト などの文字が正しく転送されない

この場合、バッチスクリプト内に「コードページ」を定義する必要があります。

たとえば、ドイツ語のウムラウトの場合、これはスクリプトの先頭にあるコマンド「chcp 1252」で実行できます。

「コード ページ」の詳細については、<https://ss64.com/nt/chcp.html>を参照してください。

7.19 フィールドの複数の列の組み合わせ

BulkPDF Business では、関数を直接使用してデータ フィールドを結合することはできません。ただし、XLSX ファ
イルで Excel 関数を使用することはできます。データを結合するには、たとえば、複数のセルを 1 つに結合する
Excel 関数 CONCAT を使用できます。

単一セルの結合。ただし、システムによって関数名が異なる場合がありますので注意してください。目的のデータを新しい
列に結合した後、BulkPDF Business のソースとして使用できます。

PDF フォームフィールドの場合。

7.20 「チェックボックス」または「ラジオボタン」は、データおよび事前の要件に従っている必要があります。

ビューは XFA PDF で選択する必要がありますが、Acrobat で選択されていま
す
リーダー

これは、XFA との互換性が限られているためです。ただし、全員に「書き込み保護」を適用することで要素を保護する
ことは可能です

他の PDF 表示プログラムとの互換性を持たせるためです。この調整後要素は正しく選択されていますが、変更できなくなります。現在のところ、これらの XFA 要素を事前にロードする方法はわかりません。

XFA ドキュメントの場合は、特定の値を設定します。

7.21 生成された PDF の数値形式を変更するにはどうすればよいですか

正しい？テーブルに設定されている形式は維持されません。たとえば、小数点以下 2 桁の数値はどのようにして計算できるのでしょうか？

最後にユーロ記号はありますか？

Excel は数値を純粋な値として保存し、ユーロ記号などの追加の詳細はメタデータと見なされます。希望の形式を選択する 1 つの方法

BulkPDF Business では、番号をテキスト フィールドに変換します。

デル。これは、Excel 関数 =TEXT(A1;"#.##0,00 ") を使用して実現できます。

Excel の関数と形式オプションの詳細については、 <https://>を参照してください。

support.microsoft.com/en-gb/office/text-function-20d5ac4d-7b94-49fd-bb38-93d29371

8

参考文献

- <https://bulkpdf.de/>
[1] BulkPDF Webサイト
- [2] .NETの日付形式<https://docs.microsoft.com/en-us/dotnet/standard/base-types/custom-date-and-time-format-strings>
- [3] LibreOffice Writer で入力可能な PDF フォームを作成する方法
<https://www.linuxuprising.com/2019/02/how-to-create-fillable-pdf-forms-with.html>
- [4] オリジナルのオンライン無料 PDF エディターおよびフォーム入力ツール。
<https://www.pdfescape.com/>
- [5] JavaScript オブジェクト表記法
<https://en.wikipedia.org/wiki/JSON>

[6] 絶対パスと相対パス -ウィキペディア[https://
en.wikipedia.org/wiki/Path_\(computing\)#Absolute_and_relative_paths](https://en.wikipedia.org/wiki/Path_(computing)#Absolute_and_relative_paths)

[7] ExcelDataReader
<https://github.com/ExcelDataReader/ExcelDataReader>